

大磯町子ども笑顔かがやきプラン

～子育てで選ばれる町！おおいそ～

進行管理書《平成29年度》

大磯町

目 次

1. 実施計画進行状況		1
2. 事業一覧表		2
3. 進捗管理シート	進捗状況表の見方	 6
	基本目標1	 7
	基本目標2	 24
	基本目標3	 40
	基本目標4	 58
	基本目標5	 73
	基本目標6	 87
4. 量の見込みと確保方策	幼児期の教育・保育	 97
	地域子ども・子育て支援事業	 100

1. 実施計画進行状況

実施計画事業は毎年進行状況の管理を行います。

※ 進行状況の説明

- A …… おおむね順調に進展している。
- B …… 現状維持に留まっている。
- C …… 未着手または成果が上がっていない。

計画事業の進行状況一覧表(平成28年度)

基本目標	項 目	進行状況			事業数
		A	B	C	
1	子どもたちの生きる力を育む環境づくり	3	14	0	17
2	子どもの心豊かな成長を育む環境づくり	1	14	1	16
3	子育て家庭にとって安全で安心なまちづくり	1	16	1	18
4	地域が支える子育て環境づくり	3	11	1	15
5	子育てと仕事の両立支援	5	9	0	14
6	心配りが必要な子どもたちへの支援	0	10	0	10
計		13	74	3	90
		14.5%	82.2%	3.3%	

※各事業において、担当課ごとに進捗が分かれている場合は、評価の高いもので集計する。

2. 事業一覧表

基本目標	施策の方向	No.	通しNo.	事業名(具体的事業)	5年間の目標	区分	所管課
1. 子どもたちの生きる力を育む環境づくり	1-1 教育保育環境の整備	①	1	老朽化した設備の整備	・継続実施	継続	学校教育課
					・継続実施	継続	子育て支援課
		②	2	公立幼稚園・公立保育所のあり方についての検討	・公立幼稚園の統廃合 ・私立保育所または私立認定こども園の誘致	継続	子育て支援課
	1-2 質の高い学校教育・保育、地域子育て支援	①	3	保育士、教諭の質の向上(研修、人材育成)	・組織的な学校研究への取組実施率100%	継続	学校教育課
					・継続実施	継続	子育て支援課
		②	4	魅力ある教育・保育の推進	・継続実施	継続	学校教育課
					・継続実施	継続	子育て支援課
		③	5	少人数指導や外部人材の活用	・「地域ふれあい学習」協力者 延べ3,000人/年	継続	学校教育課
		④	6	職業体験学習などのキャリア教育の推進	・中学校3年間の学習の中で、全ての生徒が職業体験学習を行う	継続	学校教育課
	1-3 小学校教育への円滑な移行	①	7	子ども同士の交流	・継続実施	継続	子育て支援課
					・「地域ふれあい学習」協力者 延べ3,000人/年	継続	学校教育課
		②	8	幼稚園、保育所、小学校のネットワーク強化(円滑な移行)	・継続実施	継続	学校教育課
					・継続実施	継続	子育て支援課
	1-4 家庭教育への支援	①	9	親子同士のコミュニケーション講座	・継続実施	継続	生涯学習課
					・継続実施	継続	子育て支援課
		②	10	各園における相談環境の整備	・各子育て関連施設に1人(コーディネーター配置)	新規	子育て支援課
	1-5 思春期の心と体の健康づくり	①	11	乳幼児とのふれあい体験	・継続実施	継続	学校教育課
					・継続実施	継続	スポーツ健康課
		②	12	性に関する正しい知識の啓発	・継続実施	継続	学校教育課
		③	13	喫煙や薬物使用の知識啓発	・継続実施	継続	学校教育課
		④	14	犯罪に巻き込まれない対策	・各中学校1回/年(町内全中学校開催)	継続	学校教育課 町民課
					・大磯町園児・児童・生徒の防犯安全対策推進委員会1回/年	継続	
	1-6 食育の推進	①	15	規則正しい食生活の推進	・休日の夕食を大人と一緒に食べる子どもの割合100% ・3食必ず食べるように気を付けている子どもの割合90%	継続	スポーツ健康課
					・継続実施	継続	産業観光課
		②	16	食生活に関する講座の開催	・食育講座4回/年	継続	スポーツ健康課
		③	17	給食の充実	・小学校給食の地場産物(県内産)の使用割合30%	継続	学校教育課
					・継続実施	継続	子育て支援課

基本目標	施策の方向	No.	通しNo.	事業名(具体的事業)	5年間の目標	区分	所管課
2. 子どもの心豊かな成長を育む環境づくり	2-1 子どもの居場所づくり	①	18	学童保育の推進	・継続実施	継続	子育て支援課
		②	19	放課後子ども教室の推進	・実施回数の増加	継続	子育て支援課
		③	20	全ての子どもの居場所づくりの推進	・(仮称)放課後子ども総合プラン連絡調整会議2回/年	新規	子育て支援課
		④	21	公園等の整備	・町内42公園・緑地の樹木剪定 ・遊具点検及び修繕1回/年	継続	都市計画課
	2-2 世代間交流の充実	①	22	地域住民との交流事業	・継続実施	継続	子育て支援課
					・「地域ふれあい学習」協力者 延べ3,000人/年	継続	学校教育課
					・人材登録者数100人	継続	生涯学習課
					・継続実施	継続	福祉課
		②	23	青少年指導員活動	・自主事業3回/年	継続	生涯学習課
	2-3 スポーツ活動の推進	①	24	各園や学校におけるスポーツの取り組み	・継続実施	継続	学校教育課
					・継続実施	継続	子育て支援課
		②	25	スポーツ少年団活動やスポーツ推進委員の活動支援	・継続実施	継続	スポーツ健康課
		③	26	スポーツ大会や教室の開催	・継続実施	継続	スポーツ健康課
	2-4 文化・芸術活動の推進	①	27	地域の伝承文化に親しむ郷土愛の育成	・「児童生徒を対象とした学習指導」15回/年	継続	生涯学習課
		②	28	文化・芸術体験の機会の提供	・「青少年おもしろ講座」3回/年	継続	生涯学習課
					・継続実施	継続	学校教育課
		③	29	読書活動の推進	・児童書の団体貸出冊数1,500冊/年 ・団体貸出用児童書の購入冊数100冊/年 ・おはなし会の参加人数1,500名/年 ・ブックスタート乳児向き貸出用図書の購入冊数100冊/年	継続	生涯学習課
					・学校図書館の蔵書管理の電算化完成	継続	学校教育課
	2-5 子どもの健全育成	①	30	環境学習の推進	・新設リサイクルセンターに見学コース等設置	新規	環境課
		②	31	人権教育	・継続実施	継続	学校教育課
		③	32	平和学習	・継続実施	継続	総務課
	2-6 社会参加への支援	①	33	子どもの意見を反映する機会の充実	・継続実施	継続	政策課

基本目標	施策の方向	No.	通しNo.	事業名(具体的事業)	5年間の目標	区分	所管課
3. 子育て家庭にとって安全で安心なまちづくり	3-1 妊娠、出産から子育てまで切れ目ない支援	①	34	母子の健康保持、増進	・新生児(第1子)、未熟児訪問全戸訪問 ・妊婦健康診査受診率100%	継続	スポーツ健康課
		②	35	出産育児不安の解消(情報提供・訪問・子育て講座等)	・マタニティスクール16回/年	継続	スポーツ健康課
					・こんにちは赤ちゃん事業(乳幼児全戸訪問事業)訪問率100% ・2歳児全戸訪問事業「にこにこ子育て応援団」訪問率100% ・子育て講座「ベビーマッサージ」4回/年 ・健康に関する講座5回/年	拡充	子育て支援課
		③	36	不妊等への支援	・継続実施	継続	スポーツ健康課
		④	37	乳幼児健診、予防接種の推進	・受診率100% ・予防接種率100%	継続	スポーツ健康課
	3-2 医療体制の充実	①	38	救急医療の確保	・継続実施	継続	スポーツ健康課
		②	39	妊婦健康診査	・受診率100%	継続	スポーツ健康課
		③	40	周産期・小児医療の確保	・継続実施	継続	スポーツ健康課
	3-3 経済的な支援	①	41	児童手当の支給	・継続実施	継続	子育て支援課
		②	42	小児医療の助成	・継続実施	拡充	子育て支援課
		③	43	養育医療	・継続実施	継続	子育て支援課
		④	44	就園、就学援助	・継続実施	継続	学校教育課
					・国の動向に応じ、助成を実施	継続	子育て支援課
		⑤	45	ひとり親への援助	・継続実施	継続	子育て支援課
		⑥	46	障がいを持つ子どもへの援助	・継続実施	継続	子育て支援課
		⑦	47	保育料以外の実費負担への費用助成	・国の動向に応じ、助成を実施	新規	子育て支援課
	3-4 生活環境の整備	①	48	公園や道路等の環境整備、バリアフリー	・町内歩道整備延長L=943m (国府本郷西小機1号線、幹線28号線)	継続	建設課
					・町内すべての公園で点検・修繕、公園検査を実施	継続	都市計画課
		②	49	公共施設での子育て支援(授乳室やベビーベット等)	・赤ちゃんの駅の貸出12回以上/年	継続	子育て支援課
		③	50	通学路や公園などの安全確保	・町内の防犯灯の維持管理	継続	町民課
					・町内42公園・緑地の樹木剪定 ・遊具点検及び修繕1回/年	継続	都市計画課
					・継続実施	継続	学校教育課
		④	51	交通安全、防犯対策	・継続実施	継続	町民課
					・継続実施	継続	学校教育課
					・子どもSOS事業推進研修会1回/年	継続	生涯学習課
4. 地域が支える子育て環境づくり	4-1 子育て相談体制の充実	①	52	気軽に相談できる環境の整備	・継続実施	継続	スポーツ健康課
					・継続実施	継続	子育て支援課
		②	53	子どもの病気や発育の相談体制	・継続実施	継続	スポーツ健康課
					・継続実施	継続	子育て支援課
		③	54	各園等における育児相談	・各園1人ずつ配置(コーディネーター)	継続	子育て支援課
		④	55	妊婦、乳幼児訪問	・全数把握、全数訪問	継続	スポーツ健康課
					・こんにちは赤ちゃん事業(乳幼児全戸訪問事業)訪問率100% ・2歳児全戸訪問事業「にこにこ子育て応援団」訪問率100%	拡充	子育て支援課
		⑤	56	不登校やいじめの相談	・継続実施	継続	学校教育課
	4-2 子育て支援の充実	①	57	つどいの広場事業	・利用者数15,000人/年	継続	子育て支援課
		②	58	子育て支援センターの設置(東部)	・1か所設置(平成29年度)	継続	子育て支援課
		③	59	保育所開放保育、幼稚園施設開放	・体験入園1回/月実施	継続	子育て支援課
		④	60	一時預かりの促進	・公立幼稚園において週3回実施	拡充	子育て支援課
		⑤	61	子育て短期支援事業の充実	・設置数1か所(平成28年度)	継続	子育て支援課
		⑥	62	主任児童委員、民生委員・児童委員の活動	・継続実施	継続	福祉課
	4-3 子育て情報の発信	①	63	ネット等による情報発信	・継続実施	継続	子育て支援課
		②	64	子育て情報誌(ガイドブック)の発行	・継続実施	継続	子育て支援課
	4-4 子育て世代の社会参加への支援	①	65	保育ボランティアの活動支援	・継続実施	継続	子育て支援課
		②	66	ファミリー・サポート・センター事業の促進	・会員数の拡充	継続	子育て支援課

基本目標	施策の方向	No.	通しNo.	事業名(具体的事業)	5年間の目標	区分	所管課
5. 子育てと仕事の両立支援	5-1 多様な保育サービスの提供	①	67	待機児童解消(保育所・小規模保育の充実)	・待機児童数0人	拡充	子育て支援課
		②	68	保育所・小規模保育等の事業実施の支援	・民間保育所若しくは認定こども園 1園誘致	新規	子育て支援課
		③	69	認定こども園の普及	・認定こども園 1園誘致	新規	子育て支援課
		④	70	育休、産休明け保育の充実	・子育てコンシェルジュ 3か所配置	新規	子育て支援課
		⑤	71	延長、夜間、休日保育	・実施保育施設の増設	継続	子育て支援課
		⑥	72	病児、病後児保育	・実施施設数1か所	継続	子育て支援課
		⑦	73	保育士の確保	・継続実施	継続	子育て支援課
		⑧	74	利用者への支援(子育てコンシェルジュ等)	・子育てコンシェルジュ 3か所配置 ・コーディネーター 8人配置	新規	子育て支援課
	5-2 放課後児童対策の充実	①	75	学童保育の充実	・継続実施	継続	子育て支援課
		②	76	全ての子どもの居場所づくりの推進	・(仮称)放課後子ども総合プラン連絡調整会議2回/年	新規	子育て支援課
	5-3 仕事と生活の調和の実現	①	77	男女共同参画の講演会、講座	・「大磯町男女共同参画推進プラン」の見直し及び新プランの策定 ・男女共同参画講演会・講座を年1回以上実施	継続	町民課
					・継続実施	継続	学校教育課
					・継続実施	継続	生涯学習課
		②	78	男女が共に子育てに参加する環境づくりの推進	・マタニティー教室や研修会等 6回/年	継続	スポーツ健康課
					・ファミリー教室 3回/年	継続	生涯学習課
		③	79	事業所への啓発	・70事業所	継続	産業観光課
6. 心配りが必要な子どもたちへの支援	6-1 配慮が必要な子どもへの支援	①	81	(発達)障がいのある子どもへの支援	・継続実施	継続	スポーツ健康課
					・子ども発達支援会議3回以上/年	継続	子育て支援課
					・継続実施	継続	福祉課
		②	82	園や学校における人材配置や相談体制	・継続実施	継続	子育て支援課
					・継続実施	継続	学校教育課
		③	83	専門職による相談機能の充実	・相談件数100件/年	継続	子育て支援課
					・継続実施	継続	スポーツ健康課
					・継続実施	継続	福祉課
					・継続実施	継続	学校教育課
	6-2 児童虐待防止体制の充実	①	84	ネットワークの強化	・要保護児童対策地域協議会(代表者会議ほか)8回/年 ・研修会1回/年	継続	子育て支援課
		②	85	早期把握や支援(乳幼児訪問・養育支援訪問)	・継続実施	継続	スポーツ健康課
					・養育支援訪問実施(平成28年度)訪問率100%	継続	子育て支援課
		③	86	家事や育児への援助	・利用件数200件/年、会員数200人	拡充	子育て支援課
		④	87	地域の見守りの充実	・こんにちは赤ちゃん事業(乳児全戸訪問事業)訪問率100% ・2歳児全戸訪問事業「にこにこ子育て応援団」訪問率100%	拡充	子育て支援課
		⑤	88	児童虐待防止の予防	・継続実施	継続	子育て支援課
	6-3 いじめや不登校への対応	①	89	相談員、スクールカウンセラーの配置	・継続実施	継続	学校教育課
					・継続実施	継続	子育て支援課
		②	90	保護者、児童の相談体制	・継続実施	継続	学校教育課
					・継続実施	継続	子育て支援課

3. 進捗管理シート

進捗管理シートの見方

所管課名

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート

2

事業名	公立幼稚園・公立保育所のあり方についての検討		子育て支援課	
基本目標	1	子どもたちの生きる力を育む環境づくり		
施策の方向	1-1	教育保育環境の整備		

施策の方向
⇒基本目標を実現するための方向性

基本目標
⇒子育ての様々な課題の解決に向けて設定した目標

当初計画					
事業概要	・幼稚園の園区・定員を見直し、公立幼稚園の統廃合や、民間幼稚園等の誘致について検討します。 ・認定こども園の設置を目指し、子育てサービスの総合的かつ効率的な運営を図ることについて検討します。				
目標値	・公立幼稚園の統廃合 ・私立保育所または私立認定こども園の誘致		目標値 ⇒5年間で目指す取り組みの目標値		
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)	その他

年度別事業目標
⇒各年度ごとの実施目標

区分
⇒該当区分(新規・継続・拡充・完了・その他)を黄色で塗りつぶしてください。
(昨年度時点のものが塗りつぶされていますので、適宜修正してください。)

進捗状況				
年度	年度別事業目標	実績	評価	
平成27年度	・幼稚園の統廃合に伴い、保護者等への説明会を開催 ・平成28年度入園児募集(3歳入園児数を制限)	・保護者等への説明会(2回)を開催し、統廃合等の周知を図った。	A	
平成28年度	・認定こども園運営法人を公募及び選考 ・平成29年度入園児募集(3歳入園児数を制限)	・認定こども園の設置運営事業者の公募及び選定委員会を開催し、事業者を選定。 ・新園舎の基本設計・実施設計を実施。	A	
平成29年度	・認定こども園整備工事の着工 ・平成30年度入園児募集(認定こども園園児) ・認定こども園園舎完成 ・国府幼稚園とたかとり幼稚園を統廃合	・○○○○○ ・○○○○○	A	
平成30年度	・国府幼稚園園舎解体 ・認定こども園運営開始	実績 ⇒各年度ごとの事業実績		
平成31年度	・公立幼稚園、公立保育所のあり方についての検討			

評価Cの場合

未着手等の理由と今後の対応等

評価
⇒A:おおむね順調に進展している。
B:現状維持に留まっている。
C:未着手または成果が上がっていない。※
※評価Cの場合は、下段にその理由と今後の対応を記入。

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			1
事業名	老朽化した設備の整備		学校教育課 子育て支援課
基本目標	1	子どもたちの生きる力を育む環境づくり	
施策の方向	1-1	教育保育環境の整備	

当初計画					
事業概要	・安全で快適な学校及び園生活を送ることができるよう、施設、設備の維持管理を行うとともに、総合計画に基づいた計画的な整備を行います。				
目標値	・継続実施				
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)	その他

進捗状況		評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）			
年度		年度別事業目標	実績	評価	
平成27年度 (実績)	学校	・安全で快適な学校及び園生活を送ることができるよう、施設、設備の維持管理を行うとともに、総合計画に基づいた計画的な整備を行う。	学校施設運営のために必要な保守点検等を行い、施設・設備の修繕等の維持管理を行った。 また、総合計画に基づき大磯小学校グラウンド整備事業の他、26年度から引き続き国府中学校体育館耐震補強・施設改修工事を行った。	A	
	子育て	・大磯幼稚園トイレ改修工事の実施。 ・国府保育園自動火災報知設備更新工事の実施。	老朽化した大磯幼稚園のトイレ等の衛生面を改善する改修工事、国府保育園の自動火災報知設備更新工事を実施した他、各園で必要な修繕等を実施した。	A	
平成28年度 (実績)	学校	・安全で快適な学校及び園生活を送ることができるよう、施設、設備の維持管理を行うとともに、総合計画に基づいた計画的な整備を行う。	学校施設運営のために必要な保守点検等を行い、施設・設備の修繕等の維持管理を行った。 また、総合計画に基づき国府小学校校舎屋上防水工事の他、26年度から引き続き国府中学校体育館耐震補強・施設改修工事を行い、工事が完了した。	A	
	子育て	・大磯幼稚園ブランコ修繕工事の実施。	老朽化した大磯幼稚園のブランコの修繕工事、国府保育園の1階網戸張替及び給食調理員休憩室畳替え等修繕工事を実施した他、各園で必要な修繕等を実施した。	A	
平成29年度 (実績)	学校	・安全で快適な学校及び園生活を送ることができるよう、施設、設備の維持管理を行うとともに、総合計画に基づいた計画的な整備を行う。	学校施設運営のために必要な保守点検等を行い、施設・設備の修繕等の維持管理を行った。 また、総合計画に基づき大磯中学校3号館大規模改修基本設計の他、大磯小学校音楽室等空調基本実施設計委託を実施した。	A	
	子育て	・たかとり幼稚園雨水排水修繕工事、大磯幼稚園電話機借上げの実施。 ・国府保育園4歳児保育室フローリング修繕、0歳児(2階)及び4歳児(1階)エアコン設置工事の実施。	たかとり幼稚園の雨水排水修繕工事、大磯幼稚園電話機借上げ、国府保育園のエアコン設置工事等を実施した他、各園で必要な修繕等を実施した。	A	
平成30年度 (予定)	学校	・安全で快適な学校及び園生活を送ることができるよう、施設、設備の維持管理を行うとともに、総合計画に基づいた計画的な整備を行います。			
	子育て	・適切な維持管理に努める（具体的な修繕・改修工事は未定）。			
平成31年度 (予定)	学校	・安全で快適な学校及び園生活を送ることができるよう、施設、設備の維持管理を行うとともに、総合計画に基づいた計画的な整備を行う。			
	子育て	・適切な維持管理に努める（具体的な修繕・改修工事は未定）。			

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			2
事業名	公立幼稚園・公立保育所のあり方についての検討		子育て支援課
基本目標	1	子どもたちの生きる力を育む環境づくり	
施策の方向	1-1	教育保育環境の整備	

当初計画				
事業概要	・幼稚園の園区・定員を見直し、公立幼稚園の統廃合や、民間幼稚園等の誘致について検討します。 ・認定こども園の設置を目指し、子育てサービスの総合的かつ効率的な運営を図ることについて検討します。			
目標値	・公立幼稚園の統廃合 ・私立保育所または私立認定こども園の誘致			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了) その他

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	・幼稚園の統廃合に伴い、保護者等への説明会を開催。 ・平成28年度入園児募集（3歳入園児数を制限）。	・保護者等への説明会（2回／延べ85人参加）を開催し、統廃合等の周知を図った。 ・平成28年度入園児の3歳入園児数を制限。	A
平成28年度 (実績)	・認定こども園運営法人を公募及び選考。 ・平成29年度入園児募集（3歳入園児数を制限）。	・認定こども園設置運営事業者を公募し、選考委員会を2回開催し、選定した。 ・平成30年3月31日で閉園する町立国府幼稚園の定員を変更し、平成29年度入園児募集を行った。	A
平成29年度 (実績)	・国府幼稚園北側園舎を解体。 ・平成30年4月1日開園へ向け、私立認定こども園新設工事を実施。 ・平成30年度入園児募集（認定こども園園児）。 ・国府幼稚園をたかとり幼稚園へ統合。	・国府幼稚園北側園舎の解体工事及び私立認定こども園サンキッズ国府の新設工事に係る整備費補助を実施し、平成30年4月1日に国府幼稚園の廃止及びサンキッズ国府の開園に至る手続きを行った。	A
平成30年度 (予定)	・国府幼稚園南側園舎解体。 ・私立認定こども園運営開始。		
平成31年度 (予定)	・公立幼稚園、公立保育所のあり方についての検討。		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			3		
事業名	保育士、教諭の質の向上（研修、人材育成）		学校教育課 子育て支援課		
基本目標	1	子どもたちの生きる力を育む環境づくり			
施策の方向	1-2	質の高い学校教育・保育、地域子育て支援			
当初計画					
事業概要	学校	・教育研究所事業として、特別研究や学校・研究分・個人グループが行うさまざまな研究を支援し、教育研究の充実を図ります。			
	子育て	・質の高い幼児期の教育・保育を推進するために、保育士及び幼稚園教諭の質の向上を目指し、各種研修を行い人材育成の充実を図ります。			
目標値	学校	・組織的な学校研究への取組実施率100%			
	子育て	・継続実施			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)	その他
進捗状況 評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）					
年度	年度別事業目標			実績	評価
平成27年度 (実績)	学校	・教育研究所事業として、特別研究や学校・研究部・個人グループが行うさまざまな研究を支援し、教育研究の充実を図る。		・組織的な園及び学校研究への取組を全ての園、小・中学校にて実施。 ・研究部及び個人グループが行う8件の研究を支援し、教育研究の充実を図った。	B
	子育て	・町立幼稚園及び保育園の職員を対象に、教師としての資質向上を図る研修会を企画、実施。		・「魅力ある教師とは」をテーマに、講師を招き研修会を開催。 ・また、国の緊急経済対策として、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用し、講師を招き研修会を6回に分けて開催。	B
平成28年度 (実績)	学校	・教育研究所事業として、特別研究や学校・研究部・個人グループが行うさまざまな研究を支援し、教育研究の充実を図る。特に大磯の自然ガイドブック（植物編）改訂版の発行に向けて取り組む。		・研究部及び個人グループが行う12件の研究を支援し、教育研究の充実を図った。 ・大磯の自然ガイドブック改訂版を刊行し、主に町内幼稚園・保育園、小・中学校での活用を図った。	A
	子育て	・町立幼稚園及び保育園の職員を対象に、教師としての資質向上を図る研修会を企画、実施。		・「健やかな子どもを育てる保育者や環境のあり方」をテーマに、講師を招き研修会を開催。 ・「異年齢交流について」をテーマに講師を招き、研修会を4回に分けて開催。 ・「ペアレント・トレーニングを中心とした関わり」をテーマに講師を招き研修会を開催。	B
平成29年度 (実績)	学校	・教育研究所事業として、特別研究や学校・研究部・個人グループが行うさまざまな研究を支援し、教育研究の充実を図る。		・組織的な園及び学校研究への取組を全ての園、小・中学校にて実施。 ・研究部及び個人グループが行う9件の研究を支援し、教育研究の充実を図った。	B
	子育て	・町立幼稚園及び保育園の職員を対象に、教師としての資質向上を図る研修会を企画、実施。		・「幼児期の運動の重要性について」をテーマに星槎大学から講師を招き、職員研修を実施した。 ・「運動遊びの指導法」について講師を招き全4回資質向上研修を実施。 ・①乳幼児がおこりやすい病気やけがの初期対応及び子ども達の健康を学び、保育現場での専門性を高める、②打楽器表現・リズム遊び実技、③幼稚園教育要領の改訂をふまえて、④ムーブメント、⑤絵本が生まれるまで、⑥マット運動の指導方法の全6回研修会を実施。	B
平成30年度 (予定)	学校	・教育研究所事業として、特別研究や学校・研究部・個人グループが行うさまざまな研究を支援し、教育研究の充実を図る。			
	子育て	・町立幼稚園及び保育園の職員を対象に、教師としての資質向上を図る研修会を企画、実施。			
平成31年度 (予定)	学校	・教育研究所事業として、特別研究や学校・研究部・個人グループが行うさまざまな研究を支援し、教育研究の充実を図る。			
	子育て	・町立幼稚園及び保育園の職員を対象に、教師としての資質向上を図る研修会を企画、実施。			
評価Cの場合					
未着手等の理由と今後の対応等					

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			4
事業名	魅力ある教育・保育の推進		学校教育課 子育て支援課
基本目標	1	子どもたちの生きる力を育む環境づくり	
施策の方向	1-2	質の高い学校教育・保育、地域子育て支援	

当初計画	
事業概要	学校 - 電子黒板、デジタルテレビ、タブレットPC等 ICT関連機器を効果的に活用した教育を推進します。 - 小学校での外国語活動を通じて、異文化への興味・関心を深め、コミュニケーション能力の育成に努めます。 - 学校評議員等による外部からの意見を受け、次年度の教育計画に生かします。
	子育て - 幼稚園、保育所の子ども同士の交流や幼稚園の教育課程及び保育所の保育指針に基づき、幼児教育を推進します。 - 豊かな心を育むために芸術鑑賞の場を提供します。
目標値	継続実施
区分	新規 継続 拡充 完了（事業終了） その他

進捗状況		評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度		年度別事業目標	実績	評価
平成27年度（実績）	学校	- 電子黒板、デジタルテレビ、タブレットPC等 ICT関連機器を効果的に活用した教育を推進。 - 小学校での外国語活動を通じて、異文化への興味・関心を深め、コミュニケーション能力の育成に努める。 - 学校評議員等による外部からの意見を受け、次年度の教育計画に生かす。	- 各校のICT機器の利用状況についてまとめ、教員向けの研修会等で活用方法を周知するなどして日々の授業でICT機器を効果的に活用されるように努めた。 - 外国人英語指導助手2名を雇用し、小学校での外国語活動を通じて、異文化への興味・関心を深め、コミュニケーション能力の育成に努めた。 - 学校評議員等による外部からの意見を受け、次年度の教育計画に生かした。	B
	子育て	- 町立と私立、幼稚園と保育園を超えた年長児のふれあい交流を図る。 - 町立幼稚園の全児童を対象とした芸術鑑賞の場を提供。	- 平成26年度に合併60周年事業として実施した幼保交流事業「いそっこフェスティバル」を、国の緊急経済対策として、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用し、ゲストを招いて体操や手遊び等を行った。（200人参加） - 芸術鑑賞の場として、人形劇の公演を行った。（3園合計358人参加）	B
平成28年度（実績）	学校	- デジタルテレビ、タブレットPC等 ICT関連機器を効果的に活用した教育を推進。 - 小学校での外国語活動を通じて、異文化への興味・関心を深め、コミュニケーション能力の育成に努める。 - 学校評議員等による外部からの意見を受け、次年度の教育計画に生かす。	- 教員向けの研修会等を実施し、日々の授業でICT機器を効果的に活用されるように努めた。 - 外国人英語指導助手2名を雇用し、小学校での外国語活動を通じて、コミュニケーション能力の育成に努めた。 - 学校評議員等による外部からの意見を受け、次年度の教育計画に生かした。	B
	子育て	- 町立と私立、幼稚園と保育園を超えた年長児のふれあい交流を図る。 - 町立幼稚園の全児童を対象とした芸術鑑賞の場を提供。	- 平成26年度に合併60周年事業として実施した幼保交流事業「いそっこフェスティバル」を引き続き実施。平成28年4月1日に開園した認定こども園1園が新たに加わった。（8園合計215人参加） - 芸術鑑賞の場として、人形劇の公演を行った。（3園合計333人参加）	B
平成29年度（実績）	学校	- デジタルテレビ、タブレットPC等 ICT関連機器を効果的に活用した教育を推進。 - 小学校での外国語活動を通じて、異文化への興味・関心を深め、コミュニケーション能力の育成に努める。 - 学校評議員等による外部からの意見を受け、次年度の教育計画に生かす。	- 教員向けの研修会等を実施し、日々の授業でICT機器を効果的に活用されるように努めた。 - 外国人英語指導助手2名を雇用し、小学校での外国語活動を通じて、コミュニケーション能力の育成に努めた。 - 学校評議員等による外部からの意見を受け、次年度の教育計画に生かした。	B
	子育て	- 町立と私立、幼稚園と保育園を超えた年長児のふれあい交流を図る。 - 町立幼稚園の全児童を対象とした芸術鑑賞の場を提供。	- 平成26年度に合併60周年事業として実施した幼保交流事業「いそっこフェスティバル」を引き続き実施。（8園合計192人参加） - 芸術鑑賞の場として、人形劇の公演を行った。（4園合計373人参加）	B
平成30年度（予定）	学校	- デジタルテレビ、タブレットPC等 ICT関連機器を効果的に活用した教育を推進。 - 小学校での外国語活動を通じて、異文化への興味・関心を深め、コミュニケーション能力の育成に努める。 - 学校評議員等による外部からの意見を受け、次年度の教育計画に生かす。		
	子育て	- 町立と私立、幼稚園と保育園を超えた年長児のふれあい交流を図る。 - 町立幼稚園の全児童を対象とした芸術鑑賞の場を提供。 - 町立幼稚園において、試行的に満3歳児保育を実施。		
平成31年度（予定）	学校	- デジタルテレビ、タブレットPC等 ICT関連機器を効果的に活用した教育を推進。 - 小学校での外国語活動を通じて、異文化への興味・関心を深め、コミュニケーション能力の育成に努める。 - 学校評議員等による外部からの意見を受け、次年度の教育計画に生かす。		
	子育て	- 町立と私立、幼稚園と保育園を超えた年長児のふれあい交流を図る。 - 町立幼稚園の全児童を対象とした芸術鑑賞の場を提供。		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			5
事業名	少人数指導や外部人材の活用		学校教育課
基本目標	1	子どもたちの生きる力を育む環境づくり	
施策の方向	1-2	質の高い学校教育・保育、地域子育て支援	

当初計画				
事業概要	・少人数指導等学習形態を工夫し、基礎・基本の定着を図るとともに、35人学級編成を支援します。 ・豊富な知識や経験を有する人を指導協力者として依頼し、教育活動の一層の充実を図る「地域ふれあい学習」を実施します。 ・中学校部活動充実のため、地域指導者を活用します。			
目標値	・「地域ふれあい学習」協力者 延べ3,000人/年			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	・少人数指導等学習形態を工夫し、基礎・基本の定着を図るとともに、35人学級編成を支援。 ・豊富な知識や経験を有する人を指導協力者として依頼し、教育活動の一層の充実を図る「地域ふれあい学習」を実施。 ・中学校部活動充実のため、地域指導者を活用。	・少人数指導等学習形態を工夫し、基礎・基本の定着を図るとともに、35人学級編成を支援するため、小学校に2名の非常勤講師を配置。 ・豊富な知識や経験を有する人を指導協力者として依頼し（2,507人）、教育活動の一層の充実を図る「地域ふれあい学習」を実施。 ・中学校部活動充実のため、地域指導者（10人）を活用。	B
平成28年度 (実績)	・少人数指導等学習形態を工夫し、基礎・基本の定着を図るとともに、35人学級編成を支援。 ・豊富な知識や経験を有する人を指導協力者として依頼し、教育活動の一層の充実を図る「地域ふれあい学習」を実施。 ・中学校部活動充実のため、地域指導者を活用。	・豊富な知識や経験を有する人を指導協力者として依頼し（2,017人）、教育活動の一層の充実を図る「地域ふれあい学習」を実施。 ・中学校部活動充実のため、地域指導者（13人）を活用。	B
平成29年度 (実績)	・少人数指導等学習形態を工夫し、基礎・基本の定着を図るとともに、35人学級編成を支援。 ・豊富な知識や経験を有する人を指導協力者として依頼し、教育活動の一層の充実を図る「地域ふれあい学習」を実施。 ・中学校部活動充実のため、地域指導者を活用。	・豊富な知識や経験を有する人を指導協力者として依頼し（2,663人）、教育活動の一層の充実を図る「地域ふれあい学習」を実施。 ・中学校部活動充実のため、地域指導者（12人）を活用。	B
平成30年度 (予定)	・少人数指導等学習形態を工夫し、基礎・基本の定着を図るとともに、35人学級編成を支援。 ・豊富な知識や経験を有する人を指導協力者として依頼し、教育活動の一層の充実を図る「地域ふれあい学習」を実施。 ・中学校部活動充実のため、地域指導者を活用。		
平成31年度 (予定)	・少人数指導等学習形態を工夫し、基礎・基本の定着を図るとともに、35人学級編成を支援。 ・豊富な知識や経験を有する人を指導協力者として依頼し、教育活動の一層の充実を図る「地域ふれあい学習」を実施。 ・中学校部活動充実のため、地域指導者を活用。		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			6
事業名	職業体験学習などのキャリア教育の推進		学校教育課
基本目標	1	子どもたちの生きる力を育む環境づくり	
施策の方向	1-2	質の高い学校教育・保育、地域子育て支援	

当初計画				
事業概要	・将来の社会的・職業的自立に向けて、一人ひとりの児童生徒が目的を持って学べるようになることを目指し、各校種に応じたキャリア教育を推進します。			
目標値	・中学校3年間の学習の中で、全ての生徒が職業体験学習を行う			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）			
年度	年度別事業目標	実績	評価	
平成27年度 (実績)	・将来の社会的・職業的自立に向けて、一人ひとりの児童生徒が目的を持って学べるようになることを目指し、各校種に応じたキャリア教育を推進。	・将来の社会的・職業的自立に向けて、一人ひとりの児童生徒が目的を持って学べるようになることを目指し、各校種に応じたキャリア教育を推進。特に町内の中学生は、実際に地域の仕事場（保育園等）において、保育業務等の職場体験を実施。	B	
平成28年度 (実績)	・将来の社会的・職業的自立に向けて、一人ひとりの児童生徒が目的を持って学べるようになることを目指し、各校種に応じたキャリア教育を推進。	・将来の社会的・職業的自立に向けて、一人ひとりの児童生徒が目的を持って学べるようになることを目指し、各校種に応じたキャリア教育を推進。特に町内の中学生は、実際に地域の仕事場（保育園等）において、保育業務等の職場体験を実施。	B	
平成29年度 (実績)	・将来の社会的・職業的自立に向けて、一人ひとりの児童生徒が目的を持って学べるようになることを目指し、各校種に応じたキャリア教育を推進。	・将来の社会的・職業的自立に向けて、一人ひとりの児童生徒が目的を持って学べるようになることを目指し、各校種に応じたキャリア教育を推進。特に町内の中学生は、実際に地域の仕事場（保育園等）において、保育業務等の職場体験を実施。	B	
平成30年度 (予定)	・将来の社会的・職業的自立に向けて、一人ひとりの児童生徒が目的を持って学べるようになることを目指し、各校種に応じたキャリア教育を推進。			
平成31年度 (予定)	・将来の社会的・職業的自立に向けて、一人ひとりの児童生徒が目的を持って学べるようになることを目指し、各校種に応じたキャリア教育を推進。			

評価Cの場合				
未着手等の理由と今後の対応等				

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート					7		
事業名		子ども同士の交流			子育て支援課 学校教育課		
基本目標		1	子どもたちの生きる力を育む環境づくり				
施策の方向		1－3	小学校教育への円滑な移行				
当初計画							
事業概要		子育て 学校	・町内の全幼稚園、保育所の年長児が交流する「いそっこフェスティバル」開催など、園や地域の枠を超えた子ども同士の交流を図ります。 ・幼保小の連携活動の一環として、小学1年生が小学校に入学する予定の幼稚園・保育所の園児を学校に招待し、学校案内や遊びなどを通じての交流を図ります。 ・学校、家庭、地域社会が連携・協力し、子どもの「生きる力」を育むとともに、地域の教育力の再生・充実を目指し、子ども同士、大人同士、子どもと大人、そして幅広い年代の人々との交流活動や体験活動、学習活動（「地域ふれあい学習」）を推進していきます。				
目標値		子育て 学校	・継続実施 ・「地域ふれあい学習」協力者 延べ3,000人/年				
区分		新規		継続	拡充	完了 （事業終了）	その他
進捗状況		評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）					
年度		年度別事業目標			実績		評価
平成27年度 （実績）		子育て	・町立と私立、幼稚園と保育園を超えた年長児のふれあい交流を図る。			・平成26年度に合併60周年事業として実施した幼保交流事業「いそっこフェスティバル」を、国の緊急経済対策として、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用し、ゲストを招いて体操や手遊び等を行った。（200人参加） ・いそっこフェスティバルの運営は、各園の年長児童の担任等で構成する実行委員会形式で実施。	B
		学校	・幼保小の連携活動の一環として、小学1年生が小学校に入学する予定の幼稚園・保育所の園児を学校に招待し、学校案内や遊びなどを通じての交流を図る。 ・学校、家庭、地域社会が連携・協力し、子どもの「生きる力」を育むとともに、地域の教育力の再生・充実を目指し、子ども同士、大人同士、子どもと大人、そして幅広い年代の人々との交流活動や体験活動、学習活動（「地域ふれあい学習」）を推進。			・幼保小の連携活動の一環として、小学1年生が小学校に入学する予定の幼稚園・保育所の園児を学校に招待し、学校案内や遊びなどを通じての交流を図った。 ・学校、家庭、地域社会が連携・協力し、子どもの「生きる力」を育むとともに、地域の教育力の再生・充実を目指し、子ども同士、大人同士、子どもと大人、そして幅広い年代の人々との交流活動や体験活動、学習活動（「地域ふれあい学習」）を推進した。「地域ふれあい学習」協力者延べ人数2,507人/年	B
平成28年度 （実績）		子育て	・町立と私立、幼稚園と保育園を超えた年長児のふれあい交流を図る。 ・国府地区 町立幼稚園2園と保育園の3園で合同保育の実施を行う。 ・大磯地区 町立幼稚園と私立保育所の交流を図る。			・いそっこフェスティバルは、各園の年長児の担任等で運営委員会を構成し実施。平成28年度より認定こども園あおばとが増え、8園での参加となった。「みんなで遊ぼう」というサブタイトルで〇×ゲーム、綱引き、ボール送りゲームなど子どもたちが触れ合える内容にした。 ・国府地区 町立幼稚園2園と保育園の3園で合同保育を実施。 ・国府地区 町立幼稚園と町立保育園の年長で町立保育園の給食と一緒に食べる交流の実施。 ・大磯地区 町立幼稚園と私立保育所の2園で交流保育を実施。 ・大磯地区 町立幼稚園と小規模保育施設との交流の実施。	B
		学校	・幼保小の連携活動の一環として、小学1年生が小学校に入学する予定の幼稚園・保育所の園児を学校に招待し、学校案内や遊びなどを通じての交流を図る。 ・学校、家庭、地域社会が連携・協力し、子どもの「生きる力」を育むとともに、地域の教育力の再生・充実を目指し、子ども同士、大人同士、子どもと大人、そして幅広い年代の人々との交流活動や体験活動、学習活動（「地域ふれあい学習」）を推進。			・学校、家庭、地域社会が連携・協力し、子どもの「生きる力」を育むとともに、地域の教育力の再生・充実を目指し、子ども同士、大人同士、子どもと大人、そして幅広い年代の人々との交流活動や体験活動、学習活動（「地域ふれあい学習」）を推進した。「地域ふれあい学習」協力者延べ人数2,017人/年	B
平成29年度 （実績）		子育て	・町立と私立、幼稚園と保育園を超えた年長児のふれあい交流を図る。 ・国府地区 町立幼稚園2園と保育園の3園で合同保育の実施を行う。 ・大磯地区 町立幼稚園と私立保育所の交流を図る。			・「いそっこフェスティバル」を引き続き実施（8園合計192人参加）。前年度と同様に〇×ゲーム、綱引き、ボール送りゲームなど子どもたちが触れ合えるものとした。 ・国府地区 町立幼稚園2園と保育園の3園で合同保育を実施。 ・国府地区 町立幼稚園と町立保育園の年長で町立保育園の給食と一緒に食べる交流の実施。 ・大磯地区 町立幼稚園と私立保育所の2園で交流保育を実施。 ・大磯地区 町立幼稚園と小規模保育施設との交流の実施。	B
		学校	・幼保小の連携活動の一環として、小学1年生が小学校に入学する予定の幼稚園・保育所の園児を学校に招待し、学校案内や遊びなどを通じての交流を図る。 ・学校、家庭、地域社会が連携・協力し、子どもの「生きる力」を育むとともに、地域の教育力の再生・充実を目指し、子ども同士、大人同士、子どもと大人、そして幅広い年代の人々との交流活動や体験活動、学習活動（「地域ふれあい学習」）を推進。			・学校、家庭、地域社会が連携・協力し、子どもの「生きる力」を育むとともに、地域の教育力の再生・充実を目指し、子ども同士、大人同士、子どもと大人、そして幅広い年代の人々との交流活動や体験活動、学習活動（「地域ふれあい学習」）を推進した。「地域ふれあい学習」協力者延べ人数2,663人/年	B
平成30年度 （予定）		子育て	・町立と私立、幼稚園と保育園を超えた年長児のふれあい交流を図る。 ・国府地区 町立幼稚園2園と保育園の3園で合同保育の実施を行う。 ・大磯地区 町立幼稚園と私立保育所の交流を図る。				
		学校	・幼保小の連携活動の一環として、小学1年生が小学校に入学する予定の幼稚園・保育所の園児を学校に招待し、学校案内や遊びなどを通じての交流を図る。 ・学校、家庭、地域社会が連携・協力し、子どもの「生きる力」を育むとともに、地域の教育力の再生・充実を目指し、子ども同士、大人同士、子どもと大人、そして幅広い年代の人々との交流活動や体験活動、学習活動（「地域ふれあい学習」）を推進。				
平成31年度 （予定）		子育て	・町立と私立、幼稚園と保育園を超えた年長児のふれあい交流を図る。 ・国府地区 町立幼稚園2園と保育園の3園で合同保育の実施を行う。 ・大磯地区 町立幼稚園と私立保育所の交流を図る。				
		学校	・幼保小の連携活動の一環として、小学1年生が小学校に入学する予定の幼稚園・保育所の園児を学校に招待し、学校案内や遊びなどを通じての交流を図る。 ・学校、家庭、地域社会が連携・協力し、子どもの「生きる力」を育むとともに、地域の教育力の再生・充実を目指し、子ども同士、大人同士、子どもと大人、そして幅広い年代の人々との交流活動や体験活動、学習活動（「地域ふれあい学習」）を推進。				
評価Cの場合							
未着手等の理由と今後の対応等							

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			8
事業名	幼稚園、保育所、小学校のネットワーク強化（円滑な移行）		学校教育課 子育て支援課
基本目標	1	子どもたちの生きる力を育む環境づくり	
施策の方向	1－3	小学校教育への円滑な移行	

当初計画				
事業概要	- 職員間では保育参観や研修会を開催することで、相互の教育について理解を深めます。 - 小学校教員が保育参観をしたり、幼稚園・保育所職員が小学校の授業を参観したりすることにより、相互の教育について理解を深めます。 - 小学校入学前後に、小学校教員と幼稚園・保育所職員が円滑な移行のための連絡会を開催します。			
目標値	・継続実施			
区分	新規	継続	拡充	完了 （事業終了）

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）			
年度	年度別事業目標		実績	評価
平成27年度 （実績）	学校	- 職員間では保育参観や研修会を開催することで、相互の教育について理解を深める。 - 小学校教員が保育参観をしたり、幼稚園・保育所職員が小学校の授業を参観したりすることにより、相互の教育について理解を深める。 - 小学校入学前後に、小学校教員と幼稚園・保育所職員が円滑な移行のための連絡会を開催。	- 職員間では保育参観や研修会を開催することで、相互の教育について理解を深めた。 - 小学校教員が保育参観をしたり、幼稚園・保育所職員が小学校の授業を参観したりすることにより、相互の教育について理解を深めた。 - 小学校入学前後に、小学校教員と幼稚園・保育所職員が円滑な移行のための連絡会を開催。	B
	子育て	・相互の教育について理解を深め、幼稚園から小学校へ円滑な移行ができるようにする。	- 小学校授業参観や学校へ行く週間時の参加、小学校1年生担任との懇談。 - 学校行事参加（新1年生を迎える会など）、生活科部会への参加と情報交換。 - 小学校入学前後の連絡会の実施、就学時情報交換の開催。	B
平成28年度 （実績）	学校	- 職員間では保育参観や研修会を開催することで、相互の教育について理解を深める。 - 小学校教員が保育参観をしたり、幼稚園・保育所職員が小学校の授業を参観したりすることにより、相互の教育について理解を深める。 - 小学校入学前後に、小学校教員と幼稚園・保育所職員が円滑な移行のための連絡会を開催。	- 職員間では保育参観や研修会を開催することで、相互の教育について理解を深めた。 - 小学校教員が保育参観をしたり、幼稚園・保育所職員が小学校の授業を参観したりすることにより、相互の教育について理解を深めた。 - 小学校入学前後に、小学校教員と幼稚園・保育所職員が円滑な移行のための連絡会を開催。	B
	子育て	・相互の教育について理解を深め、幼稚園から小学校へ円滑な移行ができるようにする。	- 小学校授業参観や学校へ行く週間時の参加、1年生担任との懇談。 - 学校行事参加（新1年生を迎える会など）、生活科部会への参加と情報交換。 - 小学校入学前後の連絡会の実施、就学時情報交換の開催。	B
平成29年度 （実績）	学校	- 職員間では保育参観や研修会を開催することで、相互の教育について理解を深める。 - 小学校教員が保育参観をしたり、幼稚園・保育所職員が小学校の授業を参観したりすることにより、相互の教育について理解を深める。 - 小学校入学前後に、小学校教員と幼稚園・保育所職員が円滑な移行のための連絡会を開催。	- 職員間では保育参観や研修会を開催することで、相互の教育について理解を深めた。 - 小学校教員が保育参観をしたり、幼稚園・保育所職員が小学校の授業を参観したりすることにより、相互の教育について理解を深めた。 - 小学校入学前後に、小学校教員と幼稚園・保育所職員が円滑な移行のための連絡会を開催。	B
	子育て	・相互の教育について理解を深め、幼稚園から小学校へ円滑な移行ができるようにする。	- 小学校授業参観や学校へ行く週間時の参加、1年生担任との懇談。 - 学校行事参加（秋まつり、新1年生を迎える会など）、生活科部会への参加と情報交換。 - 小学校入学前後の連絡会の実施、就学時情報交換の開催。	B
平成30年度 （予定）	学校	- 職員間では保育参観や研修会を開催することで、相互の教育について理解を深める。 - 小学校教員が保育参観をしたり、幼稚園・保育所職員が小学校の授業を参観したりすることにより、相互の教育について理解を深める。 - 小学校入学前後に、小学校教員と幼稚園・保育所職員が円滑な移行のための連絡会を開催。		
	子育て	・相互の教育について理解を深め、幼稚園から小学校へ円滑な移行ができるようにする。		
平成31年度 （予定）	学校	- 職員間では保育参観や研修会を開催することで、相互の教育について理解を深める。 - 小学校教員が保育参観をしたり、幼稚園・保育所職員が小学校の授業を参観したりすることにより、相互の教育について理解を深める。 - 小学校入学前後に、小学校教員と幼稚園・保育所職員が円滑な移行のための連絡会を開催。		
	子育て	・相互の教育について理解を深め、幼稚園から小学校へ円滑な移行ができるようにする。		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			9
事業名	親子同士のコミュニケーション講座		生涯学習課 子育て支援課
基本目標	1	子どもたちの生きる力を育む環境づくり	
施策の方向	1-4	家庭教育への支援	

当初計画					
事業概要	・幼児及び小学生の子どもをもつ保護者及びその家庭を対象とした講座を開催し、子育て中に学習を行うことにより、親としてのあり方を考え家庭教育を実践するきっかけとします。				
目標値	・継続実施				
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)	その他

進捗状況		評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）			
年度		年度別事業目標	実績	評価	
平成27年度 (実績)	生涯	・ファミリー教室を年3回開催。	・子育て世帯を対象にファミリー教室を年3回開催。 ①「笑顔で子育て&子育て」5月9日 37人 ②「親子たいそう」6月15日 19人 ③「コミュニケーション力をのばす」9月10日 26人	B	
	子育て	・子育て講座、母親講座等を24回以上/年開催。 ・イクメン講座の開催。	・やさしい子育て練習講座 ダイジェスト版2回/年 23人、通常講座2期12回/年 61人 ・母親講座 茶道2期10回/年 50人 フラワーアレンジメント2回/年 17人 利き脳お片づけ2期6回/年 27人 ・子育て講座「親子で楽しもうリトミック」20回/年 393人 ・子育て講座「学べるリトミック」2回/年 69人 ・イクメン講座2回/年 28人	B	
平成28年度 (実績)	生涯	・ファミリー教室を年3回開催。	・子育て世帯を対象にファミリー教室を年3回開催。 ①「みんなで育てよう！地域の子どもたち」5月14日 32人 ②「お家でできる自然療法の知恵」7月5日 8人 ③「子どものコミュニケーション力を育てるために」9月16日・23日 16人	B	
	子育て	・子育て講座、母親講座等を24回以上/年開催。 ・イクメン講座の開催。	・お母さんのためのペアレント・トレーニング 8回/年 25人 ・母親講座 茶道2期10回/年 60人 フラワーアレンジメント2回/年 19人 利き脳お片づけ2期6回/年 38人 ・子育て講座「親子で楽しもうリトミック」20回/年 419人 ・子育て講座「学べるリトミック」2回/年 143人 ・子育て講座「ベビーマッサージ」4回/年 184人 ・健康に関する子育て講座5回/年 49人 ・イクメン講座3回/年 33人 ・ファミリーコンサート1回/年 47人	B	
平成29年度 (実績)	生涯	・ファミリー教室を年3回開催。	・子育て世帯を対象にファミリー教室を年3回開催。 ①「子どもの安全なインターネット・スマートフォンの利用方法」5月13日 35人 ②「思春期の子とのコミュニケーション術」7月6日・13日 37人 ③「親子で楽しく歌いましょう」11月23日 15人	B	
	子育て	・子育て講座、母親講座等を24回以上/年開催。 ・イクメン講座の開催。	・お母さんのためのペアレント・トレーニング 8回/年 28人 ・母親講座 茶道2期10回/年 51人 フラワーアレンジメント2回/年 12人 利き脳お片づけ2期6回/年 22人 ・子育て講座「親子で楽しもうリトミック」20回/年 259人 ・子育て講座「学べるリトミック」2回/年 146人 ・子育て講座「ベビーマッサージ」4回/年 180人 ・健康に関する子育て講座4回/年 33人 ・イクメン講座3回/年 49人 ・ファミリーコンサート1回/年 61人	B	
平成30年度 (予定)	生涯	・ファミリー教室を年3回開催。			
	子育て	・子育て講座、母親講座等を24回以上/年開催。 ・イクメン講座の開催。			
平成31年度 (予定)	生涯	・ファミリー教室を年3回開催。			
	子育て	・子育て講座、母親講座等を24回以上/年開催。 ・イクメン講座の開催。			

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			10
事業名	各園における相談環境の整備		子育て支援課
基本目標	1	子どもたちの生きる力を育む環境づくり	
施策の方向	1-4	各園における相談環境の整備	

当初計画				
事業概要	・ 保育所・幼稚園において、専門的な知識と豊富な経験を持つ職員等に、気軽に相談できる環境を整えるなど、社会全体で子育てを支える環境づくりに取り組みます。 ・ 各園等に勤務している子育て関係者を対象に、母子保健制度などを学ぶ認定講座などを開催し、コーディネーターを養成し、配置していきます。			
目標値	・ 各子育て関連施設に1人（コーディネーター）配置			
区分	新規	継続	拡充	完了 （事業終了）

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 （実績）	・ 町内保育所・幼稚園等において、研修等で得た専門的な知識と豊富な経験を持つ職員等を中心に、子育て家庭からの子どものしつけ等についての相談体制、支援体制づくりを進める。	・ 研修講座等受講者の各園配置状況 大磯幼稚園 2人 国府幼稚園 2人 たかとり幼稚園 2人 国府保育園 3人 ・ 研修受講者を中心に、子どものしつけ等について講演を実施。 幼稚園で保育参観時に実施。 子育て支援総合センターで土曜日に実施。	B
平成28年度 （実績）	・ 町内保育所・幼稚園等において、研修等で得た専門的な知識と豊富な経験を持つ職員等を中心に、子育て家庭からの子どものしつけ等についての相談体制、支援体制づくりを進める。	・ 研修講座等受講者の各園配置状況 大磯幼稚園 3人 国府幼稚園 3人 たかとり幼稚園 3人 国府保育園 3人 ・ 研修受講者を中心に、子どものしつけ等について講演を実施。 幼稚園で保育参観時に実施。 子育て支援総合センターで土曜日に実施。	B
平成29年度 （実績）	・ 町内保育所・幼稚園等において、研修等で得た専門的な知識と豊富な経験を持つ職員等を中心に、子育て家庭からの子どものしつけ等についての相談体制、支援体制づくりを進める。 幼児版ライセンスの取得に向けた取り組みを進める。	・ 研修講座等受講者の各園配置状況 大磯幼稚園 4人 国府幼稚園 4人 たかとり幼稚園 4人 国府保育園 4人 ・ 研修受講者を中心に、子どものしつけ等について講演を実施。 幼稚園で保育参観時に実施。 子育て支援総合センターで土曜日に実施。	B
平成30年度 （予定）	・ 町内保育所・幼稚園等において、研修等で得た専門的な知識と豊富な経験を持つ職員等を中心に、子育て家庭からの子どものしつけ等についての相談体制、支援体制づくりを進める。 幼児版ライセンスの取得に向けた取り組みを進め、ライセンス取得者をコーディネーターとして配置していく。		
平成31年度 （予定）	・ 町内保育所・幼稚園等において、研修等で得た専門的な知識と豊富な経験を持つ職員等を中心に、子育て家庭からの子どものしつけ等についての相談体制、支援体制づくりを進める。 幼児版ライセンスの取得に向けた取り組みを進め、ライセンス取得者をコーディネーターとして配置していく。		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			11
事業名	乳幼児とのふれあい体験		学校教育課 スポーツ健康課
基本目標	1	子どもたちの生きる力を育む環境づくり	
施策の方向	1-5	思春期の心と体の健康づくり	

当初計画						
事業概要	学校	・中学校の家庭科で乳幼児の心身の発達についての理解を深める学習を行い、町立幼稚園、保育所を訪問して保育実習を行います。				
	スポーツ	・助産師の講話（受精から出産まで）や、命の大切さを学ぶための思春期ふれあい体験事業（妊婦体験バス・赤ちゃん人形の抱っこ体験等）を町立中学校2校3年生を対象に実施します。				
目標値	学校	・継続実施				
	スポーツ	・継続実施				
区分	新規		継続	拡充	完了 (事業終了)	その他

進捗状況		評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）			
年度		年度別事業目標	実績	評価	
平成27年度 (実績)	学校	・中学校の家庭科で乳幼児の心身の発達についての理解を深める学習を行い、町立幼稚園、保育所を訪問して保育実習を行う。	・中学校の家庭科で乳幼児の心身の発達についての理解を深める学習を行い、実際に中学生が町立幼稚園、保育所を訪問して保育実習を行った。	B	
	スポーツ	・思春期ふれあい体験。	・町立中学校3年生 294名参加。	B	
平成28年度 (実績)	学校	・中学校の家庭科で乳幼児の心身の発達についての理解を深める学習を行い、町立幼稚園、保育所を訪問して保育実習を行う。	・中学校の家庭科で乳幼児の心身の発達についての理解を深める学習を行い、実際に中学生が町立幼稚園、保育所を訪問して保育実習を行った。	B	
	スポーツ	・いのちのはなし授業（H27とほぼ同様の内容で小学校2校にも実施）	・町立小学校5、6年生 276名参加。 ・町立中学校3年生 234名参加。	B	
平成29年度 (実績)	学校	・中学校の家庭科で乳幼児の心身の発達についての理解を深める学習を行い、町立幼稚園、保育所を訪問して保育実習を行う。	・中学校の家庭科で乳幼児の心身の発達についての理解を深める学習を行い、実際に中学生が町立幼稚園、保育所を訪問して保育実習を行った。	B	
	スポーツ	・いのちのはなし授業	・町立小学校5、6年生 273名参加。 ・町立中学校3年生 261名参加。	B	
平成30年度 (予定)	学校	・中学校の家庭科で乳幼児の心身の発達についての理解を深める学習を行い、町立幼稚園、保育所を訪問して保育実習を行う。			
	スポーツ	・いのちのはなし授業			
平成31年度 (予定)	学校	・中学校の家庭科で乳幼児の心身の発達についての理解を深める学習を行い、町立幼稚園、保育所を訪問して保育実習を行う。			
	スポーツ	・いのちのはなし授業			

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			12
事業名	性に関する正しい知識の啓発		スポーツ健康課
基本目標	1	子どもたちの生きる力を育む環境づくり	
施策の方向	1-5	思春期の心と体の健康づくり	

当初計画				
事業概要	小、中学校では、性や性感染症について、保健の指導等により正しい知識の定着を図ります。 - 児童生徒の発達段階に即して指導計画を作成し、性教育の指導を実施します。			
目標値	継続実施			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了) その他

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	思春期ふれあい体験	町立中学校3年生 294名参加。	B
平成28年度 (実績)	いのちのはなし授業（H27とほぼ同様の内容で小学校2校にも実施）	- 町立小学校5、6年生 276名参加。 - 町立中学校3年生 234名参加。	B
平成29年度 (実績)	いのちのはなし事業	- 町立小学校5、6年生 276名参加。 - 町立中学校3年生 235名参加。	B
平成30年度 (予定)	いのちのはなし事業		
平成31年度 (予定)	いのちのはなし事業		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			13
事業名	喫煙や薬物使用の知識啓発		学校教育課
基本目標	1	子どもたちの生きる力を育む環境づくり	
施策の方向	1-5	思春期の心と体の健康づくり	

当初計画				
事業概要	・小、中学校において、飲酒・喫煙・薬物乱用防止教育に取り組みます。			
目標値	・継続実施			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	・小、中学校において、飲酒・喫煙・薬物乱用防止教育に取り組む。	・小、中学校において、保健の指導等により、飲酒・喫煙・薬物乱用防止教育に取り組んだ。	B
平成28年度 (実績)	・小、中学校において、飲酒・喫煙・薬物乱用防止教育に取り組む。	・小、中学校において、保健の指導等により、飲酒・喫煙・薬物乱用防止教育に取り組んだ。	B
平成29年度 (実績)	・小、中学校において、飲酒・喫煙・薬物乱用防止教育に取り組む。	・小、中学校において、保健の指導等により、飲酒・喫煙・薬物乱用防止教育に取り組んだ。	B
平成30年度 (予定)	・小、中学校において、飲酒・喫煙・薬物乱用防止教育に取り組む。		
平成31年度 (予定)	・小、中学校において、飲酒・喫煙・薬物乱用防止教育に取り組む。		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			14
事業名	犯罪に巻き込まれない対策		町民課 学校教育課
基本目標	1	子どもたちの生きる力を育む環境づくり	
施策の方向	1-5	思春期の心と体の健康づくり	

当初計画					
事業概要	町民	・犯罪に巻き込まれないよう、家庭・学校・関係機関等が一体となってモラル教育を行います。			
	学校	・教職員の防犯安全講習会を実施し、子どもたちの安全確保を図ります。 ・学校、保護者、地域が連携して、登下校を含めた学校内外の安全保持に努めます。 ・情報モラル教育を実施し、インターネット被害に巻き込まれないようにします。 ・「大磯町園児・児童・生徒の防犯安全対策推進委員会」を開催し、関係諸機関との連携を深めます。			
目標値	町民	・各中学校 1 回/年（町内全中学校開催）			
	学校	・大磯町園児・児童・生徒の防犯安全対策推進委員会 1 回/年			
区分	新規	継続	拡充	完了 （事業終了）	その他

進捗状況		評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）			
年度		年度別事業目標	実績	評価	
平成27年度 （実績）	町民	・犯罪被害未然防止講座等の実施。	・小中学生を対象に、各校において不審者対応訓練やインターネット被害未然防止講座を実施。（年1回程度）（学校教育課共同）	B	
	学校	・教職員の防犯安全講習会を実施し、子どもたちの安全確保を図る。 ・学校、保護者、地域が連携して、登下校を含めた学校内外の安全保持に努める。 ・情報モラル教育を実施し、インターネット被害に巻き込まれないようにする。 ・「大磯町園児・児童・生徒の防犯安全対策推進委員会」を開催し、関係諸機関との連携を深める。	・防犯安全講習会を実施し、子どもたちの安全確保のために、不審者に遭遇した際の対応等を学んだ。 ・各校で通学路点検や集団下校を実施。また、学校安全ボランティアを登用し、校内の安全確保に努めた。 ・各校でインターネット、スマホの取り扱いについての利用教室を実施。 ・「大磯町園児・児童・生徒の防犯安全対策推進委員会」を年2回開催し、関係諸機関との連携を深め、通学路に関する安全確保について協議した。	B	
平成28年度 （実績）	町民	・犯罪被害未然防止講座等の実施。	・防犯安全講習会を実施し、不審者対応等を学んだ。	B	
	学校	・教職員の防犯安全講習会を実施し、子どもたちの安全確保を図る。 ・学校、保護者、地域が連携して、登下校を含めた学校内外の安全保持に努める。 ・情報モラル教育を実施し、インターネット被害に巻き込まれないようにする。 ・「大磯町園児・児童・生徒の防犯安全対策推進委員会」を開催し、関係諸機関との連携を深める。	・各校で通学路点検や集団下校を実施。また、学校安全ボランティアを登用し、校内の安全確保に努めた。 ・各校でインターネット、スマホ教室を実施。 ・「大磯町園児・児童・生徒の防犯安全対策推進委員会」を年2回開催。		
平成29年度 （実績）	町民	・犯罪被害未然防止講座等の実施	・自治会を対象に消費者被害未然防止講座を実施した（5地区）。	A	
	学校	・教職員の防犯安全講習会を実施し、子どもたちの安全確保を図る。 ・学校、保護者、地域が連携して、登下校を含めた学校内外の安全保持に努める。 ・情報モラル教育を実施し、インターネット被害に巻き込まれないようにする。 ・「大磯町園児・児童・生徒の防犯安全対策推進委員会」を開催し、関係諸機関との連携を深める。	・防犯安全講習会を実施し、不審者対応等を学んだ。 ・各校で通学路点検や集団下校を実施。また、学校安全ボランティアを登用し、校内の安全確保に努めた。 ・各校でインターネット、スマホ教室を実施。 ・「大磯町園児・児童・生徒の防犯安全対策推進委員会」を年2回開催。	B	
平成30年度 （予定）	町民	・犯罪被害未然防止講座等の実施			
	学校	・教職員の防犯安全講習会を実施し、子どもたちの安全確保を図る。 ・学校、保護者、地域が連携して、登下校を含めた学校内外の安全保持に努める。 ・情報モラル教育を実施し、インターネット被害に巻き込まれないようにする。 ・「大磯町園児・児童・生徒の防犯安全対策推進委員会」を開催し、関係諸機関との連携を深める。			
平成31年度 （予定）	町民	・犯罪被害未然防止講座等の実施			
	学校	・教職員の防犯安全講習会を実施し、子どもたちの安全確保を図る。 ・学校、保護者、地域が連携して、登下校を含めた学校内外の安全保持に努める。 ・情報モラル教育を実施し、インターネット被害に巻き込まれないようにする。 ・「大磯町園児・児童・生徒の防犯安全対策推進委員会」を開催し、関係諸機関との連携を深める。			

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			15
事業名	規則正しい食生活の推進		スポーツ健康課 産業観光課
基本目標	1	子どもたちの生きる力を育む環境づくり	
施策の方向	1-6	食育の推進	

当初計画	
事業概要	スポーツ ・平成26年3月に策定した「第2次大磯町食育推進計画」に基づき、町と関係機関が連携して、家庭・教育・地域などで食に関する講座や地産地消など食からの健康づくりを推進します。また、食育・健康づくりに関する情報やサービスを集約し、楽しく効率的に発信することができるよう、食育情報誌「磯食だより」を発行し、食育の普及・啓発に努めます。
	産観 ・農協と連携して親子農業体験教室を開催し、食育と地産地消の普及啓発を図ります。
目標値	スポーツ ・休日の夕食を大人と一緒に食べる子どもの割合100% ・3食必ず食べるように気を付けている子どもの割合90%以上
	産観 ・継続実施
区分	新規 継続 拡充 完了 (事業終了) その他

進捗状況		評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）			
年度		年度別事業目標	実績	評価	
平成27年度 (実績)	スポーツ	・かぞく教室実施。 ・磯食だより発行。	・家族でクッキング教室実施(1回9組21人)。 ・磯食だより 2回発行(全戸配布)。	B	
	産観	・親子農業収穫体験を実施し、食育と地産地消の普及啓発を図る。	・親子農業体験(さつまいも掘り)を実施。親子7組15名参加。	B	
平成28年度 (実績)	スポーツ	・みんなでクッキング教室。 ・磯食だより発行。 ・第3次食育推進計画は、スポーツ健康増進計画に統合する。	・家族でクッキング教室実施(1回13組40人)。 ・磯食だより 2回発行(全戸配布)。 ・「けんこうプラン大磯」を策定。	A	
	産観	・親子農業収穫体験を実施し、食育と地産地消の普及啓発を図る。	・親子農業体験(さつまいも掘り)を実施。親子7組16名参加。	B	
平成29年度 (実績)	スポーツ	・かぞく教室実施。 ・磯食だより発行。	・みんなでクッキング教室実施(1回12組29人)。 ・磯食だより 1回発行(全戸配布)。	B	
	産観	・親子農業収穫体験を実施し、食育と地産地消の普及啓発を図る。	・親子農業体験(さつまいも掘り)を実施。親子5組13名参加。	B	
平成30年度 (予定)	スポーツ	・かぞく教室実施。 ・磯食だより発行。			
	産観	・親子農業収穫体験を実施し、食育と地産地消の普及啓発を図る。			
平成31年度 (予定)	スポーツ	・かぞく教室実施。 ・磯食だより発行。			
	産観	・親子農業収穫体験を実施し、食育と地産地消の普及啓発を図る。			

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			16
事業名	食生活に関する講座の開催		スポーツ健康課
基本目標	1	子どもたちの生きる力を育む環境づくり	
施策の方向	1-6	食育の推進	

当初計画				
事業概要	・2～3歳児とその保護者を対象に、「型抜き」「混ぜる」「切る」などを一緒に調理体験することで、食への関心を高め、みんなで食事をするマナーを学ぶ幼児親子クッキング教室や、親子でコミュニケーションを深めながら、食べることの大切さを理解し、基本的な食習慣と自ら健康を考えて食事する力を身につけるための夏休み親子クッキング教室を開催します。			
目標値	・食育講座4回/年			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	- 幼児親子クッキング教室。 - 夏休み親子クッキング教室。	- 幼児親子クッキング教室開催(4回35組73名) 2～3歳児対象3回26組52名 幼稚園児対象1回9組21名 - 夏休み親子クッキング教室開催(2回30組65名)	B
平成28年度 (実績)	- 幼児親子クッキング教室。 - 夏休み親子クッキング教室。	- 幼児親子クッキング教室開催(5回37組75名) 3歳児対象4回29組58名 幼稚園児対象1回8組17名 - 夏休み親子クッキング教室開催(2回29組70名)	B
平成29年度 (実績)	- 幼児親子クッキング教室。 - 夏休み親子クッキング教室。	- 幼児親子クッキング教室開催(3回24組50名) 3歳児対象2回15組30名 幼稚園児対象1回9組20名 - 夏休み親子クッキング教室開催(2回13組37名)	B
平成30年度 (予定)	- 幼児親子クッキング教室。 - 夏休み親子クッキング教室。		
平成31年度 (予定)	- 幼児親子クッキング教室。 - 夏休み親子クッキング教室。		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			17
事業名	給食の充実		学校教育課 子育て支援課
基本目標	1	子どもたちの生きる力を育む環境づくり	
施策の方向	1-6	食育の推進	

当初計画						
事業概要	学校	・小学校給食への地場産物（県内産）の利用を促進します。 ・中学校給食の実現を目指します。				
	子育て	・保育所では、集団で食事をする給食の時間を通じて、食べることへの意欲や食べたいもの、好きなものを増やし、仲間と一緒に食べる楽しさを育むように取り組みます。 ・定期的な給食食材の放射性物質濃度の検査、個別のアレルギー対応等、食の安心・安全にも考慮します。				
目標値	学校	・小学校給食の地場産物（県内産）の使用割合30%以上				
	子育て	・継続実施				
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)	その他	

進捗状況		評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）				
年度		年度別事業目標	実績	評価		
平成27年度 (実績)	学校	・小学校給食への地場産物（県内産）の利用の促進。 ・中学校給食の実現を目指す。	・小学校給食への地場産物（県内産）の利用を促進した。 ・平成28年1月より、調理配送委託方式の中学校給食を開始した。	A		
	子育て	・定期的な給食食材の放射性物質濃度検査の実施。 ・個別のアレルギー対応等に努める。	・毎週金曜日に1週間分の給食食材の放射性物質濃度検査を東海大学工学部原子力工学科において実施。ホームページにおいて結果を周知。 ・栄養管理システムを導入し、町職員（栄養士）により献立表を作成。個別のアレルギー対応、栄養バランスのとれた給食提供に努める。	B		
平成28年度 (実績)	学校	・小中学校給食への地場産物（県内産）の利用の促進。 ・よりよい中学校給食に向け、改善を進める。	・食育担当者等で、地場産物の利用及び食育への活用について周知した。 ・毎月献立会議を実施し、給食・食育担当者とともに、生徒にとっておいしく食べやすいものとなるよう、改善に努めた。	B		
	子育て	・定期的な給食食材の放射性物質濃度検査の実施。 ・個別のアレルギー対応等に努める。	・毎月、1週間分の給食食材の放射性物質濃度検査を東海大学工学部原子力工学科において実施。ホームページにおいて結果を周知。 ・栄養管理システムで、町職員（栄養士）により献立表を作成。個別のアレルギー対応、栄養バランスのとれた給食提供に努める。	B		
平成29年度 (実績)	学校	・小中学校給食への地場産物（県内産）の利用の促進。 ・よりよい中学校給食に向け、改善を進める。	・町の食育担当者会で、地場産物の利用及び食育への活用について周知した。 ・平成29年10月にデリバリー方式の中学校給食は中止。中学校給食は休止。11月に今後の給食のあり方について「大磯町立中学校給食に関する懇話会」を開催した。	C		
	子育て	・定期的な給食食材の放射性物質濃度検査の実施。 ・個別のアレルギー対応等に努める。	・毎月、1週間分の給食食材の放射性物質濃度検査を東海大学工学部原子力工学科において実施。ホームページにおいて結果を周知。 ・栄養管理システムで、町職員（栄養士）により献立表を作成。地場産物の供給、個別のアレルギー対応、栄養バランスのとれた給食提供に努める。	B		
平成30年度 (予定)	学校	・小中学校給食への地場産物（県内産）の利用の促進。 ・よりよい中学校給食に向け、改善を進める。				
	子育て	・定期的な給食食材の放射性物質濃度検査の実施。 ・個別のアレルギー対応等に努める。				
平成31年度 (予定)	学校	・小中学校給食への地場産物（県内産）の利用の促進。 ・よりよい中学校給食に向け、改善を進める。				
	子育て	・定期的な給食食材の放射性物質濃度検査の実施。 ・個別のアレルギー対応等に努める。				

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	平成29年10月16日より休止している中学校給食については、調査業務を行い、大磯町立中学校給食実施方式に関する検討会（仮）等の意見をふまえ、給食提供方式を検討し、実施再開に向けて取り組んでいく。

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			18
事業名	学童保育の推進		子育て支援課
基本目標	2	子どもの心豊かな成長を育む環境づくり	
施策の方向	2-1	子どもの居場所づくり	

当初計画				
事業概要	・保護者が就労などの理由により昼間家庭にいない小学生に対し、学校の授業終了後等に適切な生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ります。 ・子どもの情緒面や安全性を配慮し、おおむね40人のグループに有資格者を含めて2名以上の職員を配置します。			
目標値	・継続実施			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）			
年度	年度別事業目標	実績	評価	
平成27年度 (実績)	・労働などにより昼間保護者が家庭にいない小学校の児童に対し、放課後や学校休業時の長期休暇中などに、保護者に代わって保育を実施。（小学校6年生までの保育を実施） ・子どもの情緒面や安全性を配慮し、おおむね40人のグループに有資格者を含めて2名以上の職員を配置。	・大磯学童クラブ 105人 ・国府学童クラブ 79人	B	
平成28年度 (実績)	・労働などにより昼間保護者が家庭にいない小学校の児童に対し、放課後や学校休業時の長期休暇中などに、保護者に代わって保育を実施。（小学校6年生までの保育を実施） ・子どもの情緒面や安全性を配慮し、おおむね40人のグループに有資格者を含めて2名以上の職員を配置。	・大磯学童クラブ 107人 ・国府学童クラブ 81人	B	
平成29年度 (実績)	・労働などにより昼間保護者が家庭にいない小学校の児童に対し、放課後や学校休業時の長期休暇中などに、保護者に代わって保育を実施。（小学校6年生までの保育を実施） ・子どもの情緒面や安全性を配慮し、おおむね40人のグループに有資格者を含めて2名以上の職員を配置。	・大磯学童クラブ 120人 ・国府学童クラブ 85人	B	
平成30年度 (予定)	・労働などにより昼間保護者が家庭にいない小学校の児童に対し、放課後や学校休業時の長期休暇中などに、保護者に代わって保育を実施。（小学校6年生までの保育を実施） ・子どもの情緒面や安全性を配慮し、おおむね40人のグループに有資格者を含めて2名以上の職員を配置する。			
平成31年度 (予定)	・労働などにより昼間保護者が家庭にいない小学校の児童に対し、放課後や学校休業時の長期休暇中などに、保護者に代わって保育を実施。（小学校6年生までの保育を実施） ・子どもの情緒面や安全性を配慮し、おおむね40人のグループに有資格者を含めて2名以上の職員を配置。			

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			19
事業名	放課後子ども教室の推進		子育て支援課
基本目標	2	子どもの心豊かな成長を育む環境づくり	
施策の方向	2-1	子どもの居場所づくり	

当初計画				
事業概要	・小学校の敷地内の諸施設や余裕教室などを利用し、安全・安心な子どもの活動拠点を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共にスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等を推進します。			
目標値	・実施回数の増加			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）			
年度	年度別事業目標	実績		評価
平成27年度 (実績)	・放課後における児童の安全な居場所の確保として、小学校の教室、校庭、体育館などを活用し、地域の方々によるスポーツ、文化活動などの交流や学びの場を提供する。町立小学校2校において放課後子ども教室を実施する。	・大磯小学校 31回 参加人数 1,993人 ・国府小学校 38回 参加人数 3,881人		B
平成28年度 (実績)	・放課後における児童の安全な居場所の確保として、小学校の教室、校庭、体育館などを活用し、地域の方々によるスポーツ、文化活動などの交流や学びの場を提供する。町立小学校2校において放課後子ども教室を実施する。	・大磯小学校 28回 参加人数 2,350人 ・国府小学校 31回 参加人数 3,361人		B
平成29年度 (実績)	・放課後における児童の安全な居場所の確保として、小学校の教室、校庭、体育館などを活用し、地域の方々によるスポーツ、文化活動などの交流や学びの場を提供する。町立小学校2校において放課後子ども教室を実施する。	・大磯小学校 28回 参加人数 3,015人 ・国府小学校 30回 参加人数 3,734人		B
平成30年度 (予定)	・放課後における児童の安全な居場所の確保として、小学校の教室、校庭、体育館などを活用し、地域の方々によるスポーツ、文化活動などの交流や学びの場を提供する。町立小学校2校において放課後子ども教室を実施する。			
平成31年度 (予定)	・放課後における児童の安全な居場所の確保として、小学校の教室、校庭、体育館などを活用し、地域の方々によるスポーツ、文化活動などの交流や学びの場を提供する。町立小学校2校において放課後子ども教室を実施する。			

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			20
事業名	全ての子どもの居場所づくりの推進		子育て支援課
基本目標	2	子どもの心豊かな成長を育む環境づくり	
施策の方向	2-1	子どもの居場所づくり	

当初計画				
事業概要	国の「放課後子ども総合プラン」に基づき、「放課後子ども教室推進事業」と「放課後児童健全育成事業（学童クラブ）」を一体的あるいは連携して実施する、総合的な放課後対策事業の実施に向けて（仮称）放課後子ども総合プラン連絡調整会議を設置し、検討を進めます。			
目標値	（仮称）放課後子ども総合プラン連絡調整会議2回/年			
区分	新規	継続	拡充	完了 （事業終了）

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 （実績）	国の「放課後子ども総合プラン」に基づき、「放課後子ども教室推進事業」と「放課後児童健全育成事業（学童クラブ）」を一体的あるいは連携して実施する、総合的な放課後対策事業の実施に向けて放課後子ども総合プラン連絡調整会議を設置し、検討を進める。	放課後子ども総合プラン連絡調整会議2回開催	B
平成28年度 （実績）	国の「放課後子ども総合プラン」に基づき、「放課後子ども教室推進事業」と「放課後児童健全育成事業（学童クラブ）」を一体的あるいは連携して実施する、総合的な放課後対策事業の実施に向けて検討を進める。	放課後子ども総合プラン連絡調整会議1回開催	B
平成29年度 （実績）	国の「放課後子ども総合プラン」に基づき、「放課後子ども教室推進事業」と「放課後児童健全育成事業（学童クラブ）」を一体的あるいは連携して実施する、総合的な放課後対策事業の実施に向けて検討を進める。	放課後子ども総合プラン連絡調整会議1回開催	B
平成30年度 （予定）	国の「放課後子ども総合プラン」に基づき、「放課後子ども教室推進事業」と「放課後児童健全育成事業（学童クラブ）」を一体的あるいは連携して実施する、総合的な放課後対策事業の実施に向けて検討を進める。		
平成31年度 （予定）	国の「放課後子ども総合プラン」に基づき、「放課後子ども教室推進事業」と「放課後児童健全育成事業（学童クラブ）」を一体的あるいは連携して実施する、総合的な放課後対策事業の実施に向けて検討を進める。		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			21
事業名	公園等の整備		都市計画課
基本目標	2	子どもの心豊かな成長を育む環境づくり	
施策の方向	2-1	子どもの居場所づくり	

当初計画				
事業概要	・子どもの安全性を確保するために、公園内を明るく保つことや、内外から見通しを良くするため、公園灯周辺の樹木の剪定や生垣の間伐などを実施します。 ・公園遊具の定期点検を実施するとともに安全な遊具の再整備を進めます。			
目標値	・公園・緑地の樹木剪定の実施 ・遊具点検及び修繕 1 回/年			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）			
年度	年度別事業目標	実績	評価	
平成27年度 (実績)	・公園・緑地の樹木の剪定を年間を通して実施する。 ・前年度の公園遊具の安全点検の結果に基づき、修繕が必要な公園遊具の修繕を行う。 ・その後、翌年度に向けて、公園遊具の安全点検を行う。	・35公園、7緑地・緑道の計42箇所の剪定を業務委託により行った。 ・5公園の5遊具の修繕を行い、内1公園で遊具の新設を行った。36公園の遊具の安全点検を行い、6公園で修繕が必要な7遊具の予算計上を行った。	B	
平成28年度 (実績)	・前年度に引き続き、公園・緑地の樹木の剪定を年間を通して実施する。 ・同じく、不具合な公園遊具の修繕を行い、その後に翌年度修繕を要する遊具の調査を行う。	・35公園、7緑地・緑道の計42箇所の剪定を業務委託により行った。 ・6公園の6遊具の修繕を行った。 ・36公園の遊具の安全点検を行い、6公園で修繕が必要な6遊具について、翌年度予算の確保を行った。	B	
平成29年度 (実績)	・前年度に引き続き、公園・緑地の樹木の剪定を年間を通して実施する。 ・同じく、不具合な公園遊具の修繕を行い、その後に翌年度修繕を要する遊具の調査を行う。	・35公園、7緑地・緑道の計42箇所の剪定を業務委託により行った。 ・6公園の6遊具の修繕を行った。 ・36公園、1児童遊園の遊具の安全点検を行い、2公園で修繕が必要な2遊具について、翌年度予算の確保を行い、緊急性の高い遊具については、直ちに修繕を行った。	B	
平成30年度 (予定)	・前年度に引き続き、公園・緑地の樹木の剪定を年間を通して実施する。 ・同じく、不具合な公園遊具の修繕を行い、その後に翌年度修繕を要する遊具の調査を行う。			
平成31年度 (予定)	・前年度に引き続き、公園・緑地の樹木の剪定を年間を通して実施する。 ・同じく、不具合な公園遊具の修繕を行い、その後に翌年度修繕を要する遊具の調査を行う。			

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			22
事業名	地域住民との交流事業		子育て支援課・学校教育課 生涯学習課・福祉課
基本目標	2	子どもの心豊かな成長を育む環境づくり	
施策の方向	2-2	世代間交流の充実	

当初計画					
事業概要	子育て支援総合センターを中心に地域・年齢を超えたつながりを持ち、相互理解を図るために、ハッピー3世代交流会を実施します。				
	豊富な知識や経験を有する人を指導協力者として依頼し、教育活動の一層の充実を図る「地域ふれあい学習」を実施します。				
	子どもたちが豊かな心と社会性を育むために、地域において子どもたちと様々な世代の人が交流できるよう、生涯学習を支援できる人材を確保し、高齢者等との世代間交流活動を推進します。				
	高齢者の社会参加活動の中で、保育所・幼稚園・小学校などと交流し、世代間の交流を図ります。				
目標値	継続実施				
	「地域ふれあい学習」協力者 延べ3,000人/年				
	人材登録者数100人				
	継続実施				
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)	その他

進捗状況		評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）			
年度		年度別事業目標	実績	評価	
平成27年度 (実績)	子育て支援総合センター	・ハッピー3世代交流会の開催。	・ハッピー3世代交流会の開催（4回/年）。	B	
	学校	・豊富な知識や経験を有する人を指導協力者として依頼し、教育活動の一層の充実を図る「地域ふれあい学習」を実施。	・豊富な知識や経験を有する人を指導協力者として依頼し、教育活動の一層の充実を図る「地域ふれあい学習」を実施（延べ人数2,507人/年）。	B	
	生涯学習	・生涯学習人材登録者数100人。	・生涯学習人材登録者数94人。	B	
	福祉	・保育所・幼稚園・小学校などと交流し、世代間の交流を図る。	・世代交流センターでの世代交流イベントの実施（シルバー人材センター協力）。 ・シルバー人材センター：ボラ菜園・放課後学習・植木剪定・ふれあいバザー参加等の実施。 ・老人クラブ：保育園等訪問交流・登下校見守り活動等の実施。	B	
平成28年度 (実績)	子育て支援総合センター	・ハッピー3世代交流会の開催。	・ハッピー3世代交流会の開催（4回/年）	B	
	学校	・豊富な知識や経験を有する人を指導協力者として依頼し、教育活動の一層の充実を図る「地域ふれあい学習」を実施。	・豊富な知識や経験を有する人を指導協力者として依頼し、教育活動の充実を図る「地域ふれあい学習」を実施（延べ人数2,017人/年）。	B	
	生涯学習	・生涯学習人材登録者数100人。	・生涯学習人材登録者数99人。	B	
	福祉	・保育所・幼稚園・小学校などと交流し、世代間の交流を図る。	・世代交流センターでの世代交流イベントの実施（シルバー人材センター協力）。 ・シルバー人材センター：ボラ菜園・放課後学習・植木剪定・ふれあいバザー参加等の実施。 ・老人クラブ：保育園等訪問交流・登下校見守り活動等の実施。	B	
平成29年度 (実績)	子育て支援総合センター	・ハッピー3世代交流会の開催。	・ハッピー3世代交流会の開催（4回/年）	B	
	学校	・豊富な知識や経験を有する人を指導協力者として依頼し、教育活動の一層の充実を図る「地域ふれあい学習」を実施。	・豊富な知識や経験を有する人を指導協力者として依頼し、教育活動の充実を図る「地域ふれあい学習」を実施（延べ人数2,663人/年）。	B	
	生涯学習	・生涯学習人材登録者数100人。	・生涯学習人材登録者数88人。	B	
	福祉	・保育所・幼稚園・小学校などと交流し、世代間の交流を図る。	・世代交流センターでの世代交流イベントの実施（シルバー人材センター協力）。 ・シルバー人材センター：ボラ菜園・放課後学習・植木剪定・ふれあいバザー参加等の実施。 ・老人クラブ：保育園等訪問交流・登下校見守り活動等の実施。	B	
平成30年度 (予定)	子育て支援総合センター	・ハッピー3世代交流会の開催。			
	学校	・豊富な知識や経験を有する人を指導協力者として依頼し、教育活動の一層の充実を図る「地域ふれあい学習」を実施。			
	生涯学習	・生涯学習人材登録者数100人。			
	福祉	・保育所・幼稚園・小学校などと交流し、世代間の交流を図る。			
平成31年度 (予定)	子育て支援総合センター	・ハッピー3世代交流会の開催。			
	学校	・豊富な知識や経験を有する人を指導協力者として依頼し、教育活動の一層の充実を図る「地域ふれあい学習」を実施。			
	生涯学習	・生涯学習人材登録者数100人。			
	福祉	・保育所・幼稚園・小学校などと交流し、世代間の交流を図る。			

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			23
事業名	青少年指導員活動		生涯学習課
基本目標	2	子どもの心豊かな成長を育む環境づくり	
施策の方向	2-2	世代間交流の充実	

当初計画					
事業概要	- 地域の青少年の健全育成を図ります。 - 自主事業を企画・実施することにより、地域青少年との交流機会を持ちます。				
目標値	・自主事業3回/年				
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)	その他

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 （実績）	・ 自主事業を年3回実施する。	・ 自主事業を年3回実施。（ナイトミュージアム&ハイク32人、デイキャンプ「ダンボールオープンでピザを焼こう！」19人、第5回大磯チャレンジライブ87人）	B
平成28年度 （実績）	・ 自主事業を年3回実施する。	・ 自主事業を年3回実施。（ミステリーナイト&ハイク36人、デイキャンプ「ダンボールオープンでピザを焼こう！」16人、第6回大磯チャレンジライブ81人）	B
平成29年度 （実績）	・ 自主事業を年3回実施する。	・ 自主事業を年2回実施。（高麗クラフトキャンプ（1泊2日）8人、第7回大磯チャレンジライブ 56人）	B
平成30年度 （予定）	・ 自主事業を集約した形で年2回実施する。		
平成31年度 （予定）	・ 自主事業を年3回実施する。		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			24
事業名	各園や学校におけるスポーツの取り組み		学校教育課 子育て支援課
基本目標	2	子どもの心豊かな成長を育む環境づくり	
施策の方向	2-3	スポーツ活動の推進	

当初計画						
事業概要	学校	・「大磯町学校教育における子どもの体力向上に向けた取組指針」に基づき、児童体育委員会主催のスポーツ大会や学年主催の球技大会、ベルマーレのサッカー教室など各園・学校においてスポーツ活動の推進を図ります。 ・中学校において、地域指導者の活用により、部活動の充実を図ります。				
	子育て	・幼稚園、保育所において、子どもたちが外遊びに親しめる環境づくりを進め、体力増進を図ります。				
目標値	学校	・継続実施				
	子育て	・継続実施				
区分		新規	継続	拡充	完了 (事業終了)	その他

進捗状況		評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）			
年度		年度別事業目標	実績	評価	
平成27年度 (実績)	学校	「大磯町学校教育における子どもの体力向上に向けた取組指針」に基づき、児童体育委員会主催のスポーツ大会や学年主催の球技大会、ベルマーレのサッカー教室など各園・学校においてスポーツ活動の推進を図る。 - 中学校において、地域指導者の活用により、部活動の充実を図る。	「大磯町学校教育における子どもの体力向上に向けた取組指針」に基づき、児童体育委員会主催のスポーツ大会や学年主催の球技大会、ベルマーレのサッカー教室など各園・学校においてスポーツ活動の推進を図った。 - 中学校において、地域指導者（10人）の活用により、部活動の充実を図った。	B	
	子育て	子ども達が体をいっぱい使って遊ぶ機会を増やす。	- 鬼ごっこやドッジボール、縄跳びなど、発達段階に応じ、戸外でのびのび体を動かして遊ぶ機会を多くもった。 - ボランティアや地域の方の協力を得て、体操教室・ラグビー教室・サッカー教室を、幼保3園交流スポーツ大会・園内マラソン大会なども実施。 - 園外のお散歩などを含め、定期的に身体を動かす運動遊びを取り入れた。	B	
平成28年度 (実績)	学校	「大磯町学校教育における子どもの体力向上に向けた取組指針」に基づき、児童体育委員会主催のスポーツ大会や学年主催の球技大会、ベルマーレのサッカー教室など各園・学校においてスポーツ活動の推進を図る。 - 中学校において、地域指導者の活用により、部活動の充実を図る。	「大磯町学校教育における子どもの体力向上に向けた取組指針」に基づき、児童体育委員会主催のスポーツ大会や学年主催の球技大会、ベルマーレのサッカー教室など各園・学校においてスポーツ活動の推進を図った。 - 中学校において地域指導者（13人）の活用により部活動の充実を図った。	B	
	子育て	子ども達が体をいっぱい使って遊ぶ機会を増やす。	- 鬼ごっこやドッジボール、縄跳びなど、発達段階に応じ、戸外でのびのび体を動かして遊ぶ機会を多くもった。 - ボランティアや地域の方の協力を得て、体操教室・ラグビー教室・サッカー教室・ヨガ教室を、幼保3園交流スポーツ大会・園内マラソン大会なども実施。 - 園外のお散歩などを含め、定期的に身体を動かす運動遊びを取り入れた。	B	
平成29年度 (実績)	学校	「大磯町学校教育における子どもの体力向上に向けた取組指針」に基づき、児童体育委員会主催のスポーツ大会や学年主催の球技大会、ベルマーレのサッカー教室など各園・学校においてスポーツ活動の推進を図る。 - 中学校において、地域指導者の活用により、部活動の充実を図る。	「大磯町学校教育における子どもの体力向上に向けた取組指針」に基づき、児童体育委員会主催のスポーツ大会や学年主催の球技大会、ベルマーレのサッカー教室など各園・学校においてスポーツ活動の推進を図った。 - 中学校において地域指導者（12人）の活用により部活動の充実を図った。	B	
	子育て	子ども達が体をいっぱい使って遊ぶ機会を増やす。	- 鬼ごっこやドッジボール、縄跳びなど、発達段階に応じ、戸外でのびのび体を動かして遊ぶ機会を多くもった。 - ボランティアや地域の方の協力を得て、体操教室・ラグビー教室・サッカー教室・ヨガ教室を、幼保3園交流スポーツ大会・園内マラソン大会なども実施。 - 園外のお散歩などを含め、定期的に身体を動かす運動遊びを取り入れた。	B	
平成30年度 (予定)	学校	「大磯町学校教育における子どもの体力向上に向けた取組指針」に基づき、児童体育委員会主催のスポーツ大会や学年主催の球技大会、ベルマーレのサッカー教室など各園・学校においてスポーツ活動の推進を図る。 - 中学校において、地域指導者の活用により、部活動の充実を図る。			
	子育て	子ども達が体をいっぱい使って遊ぶ機会を増やす			
平成31年度 (予定)	学校	「大磯町学校教育における子どもの体力向上に向けた取組指針」に基づき、児童体育委員会主催のスポーツ大会や学年主催の球技大会、ベルマーレのサッカー教室など各園・学校においてスポーツ活動の推進を図る。 - 中学校において、地域指導者の活用により、部活動の充実を図る。			
	子育て	子ども達が体をいっぱい使って遊ぶ機会を増やす。			

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			25
事業名	スポーツ少年団活動やスポーツ推進委員の活動支援		スポーツ健康課
基本目標	2	子どもの心豊かな成長を育む環境づくり	
施策の方向	2-3	スポーツ活動の推進	

当初計画				
事業概要	・大磯町スポーツ少年団・スポーツ推進委員の活動を支援することにより、子どもたちのスポーツ活動を推進します。			
目標値	・継続実施			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	・大磯町の青少年を対象とするスポーツの推進を図るため大磯町スポーツ少年団（剣道・柔道・サッカー・ミニバス）の活動に対し補助金を交付。 ・スポーツ推進委員協議会が子ども達を対象にした自主事業「はじめてのサッカー教室」に対し、交付金を交付し活動を支援。	・スポーツ少年団4団体 交付額 98,000円。 ・スポーツ推進委員協議会主催事業「はじめてのサッカー教室」2回開催（31名参加）。	B
平成28年度 (実績)	・大磯町の青少年を対象とするスポーツの推進を図るため大磯町スポーツ少年団（剣道・柔道・サッカー・ミニバス）の活動に対し補助金を交付。 ・スポーツ推進委員協議会が子ども達を対象にした自主事業「親子ボール運動教室」に対し、交付金を交付し活動を支援。	・スポーツ少年団4団体 交付額 98,000円。 ・スポーツ推進委員協議会主催事業「親子ボール運動教室」開催（29組58名参加）。	B
平成29年度 (実績)	・大磯町の青少年を対象とするスポーツの推進を図るため大磯町スポーツ少年団（柔道・サッカー・ミニバス）の活動に対し補助金を交付。 ・スポーツ推進委員協議会が子ども達を対象にした自主事業「親子ボール運動教室」に対し、交付金を交付し活動を支援。	・スポーツ少年団3団体 交付額 70,000円。 ・スポーツ推進委員協議会主催事業「親子ボール運動教室」開催（21組42名参加）。	B
平成30年度 (予定)	・大磯町の青少年を対象とするスポーツの推進を図るため大磯町スポーツ少年団（剣道・柔道・サッカー・ミニバス）の活動に対し補助金を交付。 ・スポーツ推進委員協議会が子ども達を対象にした自主事業「はじめてのサッカー教室」に対し、交付金を交付し活動を支援。		
平成31年度 (予定)	・大磯町の青少年を対象とするスポーツの推進を図るため大磯町スポーツ少年団（剣道・柔道・サッカー・ミニバス）の活動に対し補助金を交付。 ・スポーツ推進委員協議会が子ども達を対象にした自主事業「はじめてのサッカー教室」に対し、交付金を交付し活動を支援。		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			26
事業名	スポーツ大会や教室の開催		スポーツ健康課
基本目標	2	子どもの心豊かな成長を育む環境づくり	
施策の方向	2-3	スポーツ活動の推進	

当初計画				
事業概要	・民間学校法人、スポーツクラブと連携してスポーツ教室等を開催し、小・中学生を対象とした活動の場を提供します。			
目標値	・継続実施			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	各種スポーツ教室の開催 ・子ども水泳教室 ・キッズテニス教室 ・キッズビーチテニス教室 ・キッズ体操教室 ・リズムDEスポーツ教室 ・小学生水泳記録会	・3日間延べ参加人数 206名 ・テニス参加延べ人数 130名 ・キッズビーチテニス教室 27名 ・キッズ体操教室延べ人数 58名 ・キッズリズム教室 51名 ・水泳記録会参加人数 20名	B
平成28年度 (実績)	各種スポーツ教室の開催 ・子ども水泳教室 ・キッズテニス教室 ・キッズビーチテニス教室 ・キッズ体操教室 ・リズムDEスポーツ教室 ・ビーチサッカー教室	・水泳教室3日間延べ参加人数 310名 ・キッズテニス参加延べ人数 52名 ・キッズビーチテニス教室 15名 ・リズムDEスポーツ教室 28名 ・ビーチサッカー教室 10名	B
平成29年度 (実績)	各種スポーツ教室の開催 ・子ども水泳教室 ・キッズテニス教室 ・かけっこ教室 ・キッズバドミントン教室 ・リズムDEスポーツ教室	・水泳教室3日間延べ参加人数 327名 ・キッズテニス参加延べ人数 32名 ・かけっこ教室 30名 ・キッズバドミントン教室 14名 ・リズムDEスポーツ教室 18名	B
平成30年度 (予定)	各種スポーツ教室の開催 ・子ども水泳教室 ・キッズテニス教室 ・キッズビーチテニス教室 ・キッズ体操教室 ・リズムDEスポーツ教室 ・小学生水泳記録会		
平成31年度 (予定)	各種スポーツ教室の開催 ・子ども水泳教室 ・キッズテニス教室 ・キッズビーチテニス教室 ・キッズ体操教室 ・リズムDEスポーツ教室 ・小学生水泳記録会		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			27
事業名	地域の伝承文化に親しむ郷土愛の育成		生涯学習課
基本目標	2	子どもの心豊かな成長を育む環境づくり	
施策の方向	2-4	文化・芸術活動の推進	

当初計画				
事業概要	・生涯学習を支援できる人材を確保し、高齢者等との世代間交流活動も含め、伝統文化継承を推進していきます。 ・郷土に関する「児童生徒を対象とした学習指導」を行います。			
目標値	・「児童生徒を対象とした学習指導」15回/年			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）			
年度	年度別事業目標	実績	評価	
平成27年度 (実績)	・幼稚園・保育園、小学校、中学校から地域の歴史、文化、自然に関する学習指導の依頼があった場合、郷土資料館職員が学習指導を行う。	・郷土資料館においての学習指導（郷土資料館の展示見学及び郷土資料を通しての学習指導） 幼稚園・保育園5回、小学生4回、中学生2回 ・学校及び町内各所においての学習指導（郷土資料館の職員派遣による学習指導） 小学生8回、中学生2回 合計21回	B	
平成28年度 (実績)	・幼稚園・保育園、小学校、中学校から地域の歴史、文化、自然に関する学習指導の依頼があった場合、郷土資料館職員が学習指導を行う。	・郷土資料館においての学習指導（郷土資料館の展示見学及び郷土資料を通しての学習指導） 幼稚園・保育園6回、小学生2回、中学生1回 ・学校及び町内各所においての学習指導（郷土資料館の職員派遣による学習指導） 幼稚園・保育園1回、小学生9回、中学生2回 合計21回	B	
平成29年度 (実績)	・幼稚園・保育園、小学校、中学校から地域の歴史、文化、自然に関する学習指導の依頼があった場合、郷土資料館職員が学習指導を行う。	・郷土資料館においての学習指導（郷土資料館の展示見学及び郷土資料を通しての学習指導） 幼稚園・保育園5回、小学生3回、中学生2回 ・学校及び町内各所においての学習指導（郷土資料館の職員派遣による学習指導） 幼稚園・保育園1回、小学生12回、中学生2回 合計25回	B	
平成30年度 (予定)	・幼稚園・保育園、小学校、中学校から地域の歴史、文化、自然に関する学習指導の依頼があった場合、郷土資料館職員が学習指導を行う。			
平成31年度 (予定)	・幼稚園・保育園、小学校、中学校から地域の歴史、文化、自然に関する学習指導の依頼があった場合、郷土資料館職員が学習指導を行う。			

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			28
事業名	文化・芸術体験の機会の提供		生涯学習課 学校教育課
基本目標	2	子どもの心豊かな成長を育む環境づくり	
施策の方向	2-4	文化・芸術活動の推進	

当初計画						
事業概要	生涯	・人材登録制度を活用し、小・中学生を対象とした文化・芸術体験の場を提供します。				
	学校	・各学校で音楽会や合唱コンクールの開催、芸術鑑賞会の実施などにより、子どもたちの文化・芸術に対する関心を高めます。				
目標値	生涯	・「青少年おもしろ講座」3回/年				
	学校	・継続実施				
区分	新規		継続	拡充	完了 (事業終了)	その他

進捗状況		評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度		年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 （実績）	生涯	・「青少年おもしろ講座」を年3回開催。	・「青少年おもしろ講座」を年4回開催。 （移動科学教室42人、ストリートダンス6人、ロボコンにチャレンジしよう10人、ペットボトルロケット飛ばし17人）	B
	学校	・各学校で音楽会や合唱コンクールの開催、芸術鑑賞会の実施などにより、子どもたちの文化・芸術に対する関心を高める。	・各学校で音楽会や合唱コンクールを開催し、また芸術鑑賞会を実施することで、子どもたちの文化・芸術に対する関心を高めた。	B
平成28年度 （実績）	生涯	・「青少年おもしろ講座」を年4回開催。	・「青少年おもしろ講座」を年4回開催。 （けん玉に挑戦25人、ミステリーナイト&ハイク36人、エコな電気でたのしく遊ぼう23人、五色百人一首に挑戦13人）	B
	学校	・各学校で音楽会や合唱コンクールの開催、芸術鑑賞会の実施などにより、子どもたちの文化・芸術に対する関心を高める。	・各学校で音楽会や合唱コンクールを開催し、また芸術鑑賞会を実施することで、子どもたちの文化・芸術に対する関心を高めた。	B
平成29年度 （実績）	生涯	・「青少年おもしろ講座」を年4回開催。	・「青少年おもしろ講座」を年3回開催。 （人工の雲をつくろう！16人、高麗山自然観察ハイキング16人、ペットボトルロケット飛ばし〔荒天中止〕）	B
	学校	・各学校で音楽会や合唱コンクールの開催、芸術鑑賞会の実施などにより、子どもたちの文化・芸術に対する関心を高める。	・各学校で音楽会や合唱コンクールを開催し、また芸術鑑賞会を実施することで、子どもたちの文化・芸術に対する関心を高めた。	B
平成30年度 （予定）	生涯	・「青少年おもしろ講座」を年4回開催。		
	学校	・各学校で音楽会や合唱コンクールの開催、芸術鑑賞会の実施などにより、子どもたちの文化・芸術に対する関心を高める。		
平成31年度 （予定）	生涯	・「青少年おもしろ講座」を年4回開催。		
	学校	・各学校で音楽会や合唱コンクールの開催、芸術鑑賞会の実施などにより、子どもたちの文化・芸術に対する関心を高める。		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			29
事業名	読書活動の推進		生涯学習課 学校教育課
基本目標	2	子どもの心豊かな成長を育む環境づくり	
施策の方向	2-4	文化・芸術活動の推進	

当初計画						
事業概要	生涯	・団体貸出の活用や図書館見学等により町の図書館と学校との連携を深めます。また、読んだ本を記録できる読書通帳の導入を検討します。 ・「子ども読書活動推進計画」に基づき、「おはなし会」「読書案内」等を行い、読書活動を推進させます。 ・0歳児とその保護者すべてを対象に、「赤ちゃん絵本を開く時間の大切さ」などのメッセージを直接伝えながら、絵本の読み聞かせを行い、本やブックリスト、図書館の利用案内等が入った「ブックスタート・バック」を手渡します。 ・事業に協力するボランティアを養成します。 ・「ブックスタート・フォローアップ事業」として0歳児向き及び児童関係図書の実施を図ります。				
	学校	・読書活動の推進のため、学校図書館の整備と学校図書館司書の配置の充実を図ります。 ・学校図書館の蔵書管理の電子化を進めます。				
目標値	生涯	・児童書の団体貸出冊数1,500冊/年（H31年度） ・団体貸出用児童書の購入冊数100冊/年（H31年度） ・おはなし会参加1,500名/年（H31年度） ・ブックスタート乳児向き貸出用図書の購入冊数100冊/年（H31年度）				
	学校	・学校図書館の蔵書管理の電算化完成（H28年度）				
区分	新規		継続	拡充	完了 (事業終了)	その他

進捗状況		評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）				
年度		年度別事業目標		実績		評価
平成27年度 (実績)	生涯	・児童書の団体貸出冊数1,500冊/年。 ・団体貸出用児童書の購入冊数30冊/年。 ・おはなし会の参加人数1,500人/年。 ・ブックスタート乳児向き貸出用図書の購入冊数50冊/年。		・児童書の団体貸出冊数1,774冊/年 ・団体貸出用児童書の購入冊数30冊/年 ・おはなし会の参加人数1,317人/年 ・ブックスタート乳児向き貸出用図書の購入冊数4冊/年		B
	学校	・読書活動の推進のため、学校図書館の整備と学校図書館司書の配置の充実を図る。 ・学校図書館の蔵書管理の電子化を進める。		・読書活動の推進のため、学校図書館を整備し、4名配置の学校図書館司書の勤務時間数を増やし、その充実を図った。 ・学校図書館の蔵書管理の電子化を進め、すべての蔵書にバーコードをつける作業が完了した。		A
平成28年度 (実績)	生涯	・児童書の団体貸出冊数1,500冊/年。 ・団体貸出用児童書の購入冊数30冊/年。 ・おはなし会の参加人数1,500人/年。 ・ブックスタート乳児向き貸出用図書の購入冊数50冊/年。		・児童書の団体貸出冊数2,323冊/年 ・団体貸出用児童書の購入冊数11冊/年 ・おはなし会の参加人数1,108人/年 ・ブックスタート乳児向き貸出用図書の購入冊数33冊/年		B
	学校	・読書活動の推進のため、学校図書館の整備とさらなる充実を図る。		・読書活動の推進のため、学校図書館を整備し、4名配置の学校図書館司書の環境充実を図った。 ・授業での学校図書館活用を支援するために、学校図書館司書を通じて関連図書の整備や町図書館との連携を図り、子どもたちへの図書資料の提供を推進した。		B
平成29年度 (実績)	生涯	・児童書の団体貸出冊数1,500冊/年。 ・団体貸出用児童書の購入冊数30冊/年。 ・おはなし会の参加人数1,500人/年。 ・ブックスタート乳児向き貸出用図書の購入冊数50冊/年。		・児童書の団体貸出冊数2,211冊/年 ・団体貸出用児童書の購入冊数41冊/年 ・おはなし会の参加人数1,146人/年 ・ブックスタート乳児向き貸出用図書の購入冊数46冊		B
	学校	・読書活動の推進のため、学校図書館の整備とさらなる充実を図る。		・読書活動の推進のため、学校図書館を整備し、4名配置の学校図書館司書の環境充実を図った。 ・授業での学校図書館活用を支援するために、学校図書館司書を通じて関連図書の整備や町図書館との連携を図り、子どもたちへの図書資料の提供を推進した。		B
平成30年度 (予定)	生涯	・児童書の団体貸出冊数1,500冊/年。 ・団体貸出用児童書の購入冊数30冊/年。 ・おはなし会の参加人数1,500人/年。 ・ブックスタート乳児向き貸出用図書の購入冊数50冊/年。				
	学校	・読書活動の推進のため、学校図書館の整備とさらなる充実を図る。				
平成31年度 (予定)	生涯	・児童書の団体貸出冊数1,500冊/年。 ・団体貸出用児童書の購入冊数30冊/年。 ・おはなし会の参加人数1,500人/年。 ・ブックスタート乳児向き貸出用図書の購入冊数50冊/年。				
	学校	・読書活動の推進のため、学校図書館の整備とさらなる充実を図る。				

評価Cの場合						
未着手等の理由と今後の対応等						

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			30
事業名	環境学習の推進		環境課
基本目標	2	子どもの心豊かな成長を育む環境づくり	
施策の方向	2-5	子どもの健全育成	

当初計画				
事業概要	・平塚市、大磯町、二宮町の1市2町ごみ処理広域化に伴い、大磯町に建設予定の（仮称）リサイクルセンターに、施設見学コースや環境学習施設を設置します。			
目標値	—			
区分	新規	継続	拡充	完了 （事業終了）

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 （実績）	・事業者の選定、契約の締結、ごみ焼却施設の解体など、施設見学コースや環境学習施設等を併設したリサイクルセンター建設に向けた準備を進める。	・事業者を選定、契約の締結、ごみ焼却施設の解体など、環境学習施設等を併設したリサイクルセンター建設に向けて、当初の計画通り事業に着手し、順調に完了。	A
平成28年度 （実績）	・環境学習施設等の設置を盛り込んだ事業者の提案に基づき、設計、工事着工、各種手続き（契約事務等）を実施。	・環境学習機能を設置するリサイクルセンターの建設に向け、事業者の提案内容を基に設計協議を重ね、予定通りに建設工事に着手し、工程を順調に消化することが出来た。	A
平成29年度 （実績）	・施設見学コースや環境学習施設等を併設した（仮称）リサイクルセンターの工事を実施。	・28年度から引続き建設工事を行い、当初の計画、工程に遅れることなく施設見学コースや環境学習機能を備えたリサイクルセンターが完成した。	A
平成30年度 （予定）	・施設見学コースや環境学習施設等を併設した（仮称）リサイクルセンターを運営し、ごみの減量化や資源化に対する環境学習に取り組む。		
平成31年度 （予定）	・施設見学コースや環境学習施設等を併設した（仮称）リサイクルセンターを運営し、ごみの減量化や資源化に対する環境学習に取り組む。		

評価Cの場合			
未着手等の理由と今後の対応等			

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			31
事業名	人権教育		学校教育課
基本目標	2	子どもの心豊かな成長を育む環境づくり	
施策の方向	2-5	子どもの健全育成	

当初計画				
事業概要	・小、中学校において人権教育研究事業を実施し、人権教室や講演会を開催するなど、人権教育の充実に努めます。			
目標値	・継続実施			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	・小、中学校において人権教育研究事業を実施し、人権教室や講演会を開催するなど、人権教育の充実に努める。	・小、中学校において人権教育研究事業を実施し、人権教室や講演会を開催するなど、人権教育の充実に努めた。	B
平成28年度 (実績)	・小、中学校において人権教育研究事業を実施し、人権教室や講演会を開催するなど、人権教育の充実に努める。	・小、中学校において人権教育研究事業を実施し、人権教室や講演会を開催するなど、人権教育の充実に努めた。	B
平成29年度 (実績)	・小、中学校において人権教育研究事業を実施し、人権教室や講演会を開催するなど、人権教育の充実に努める。	・小、中学校において人権教育研究事業を実施し、人権教室や講演会を開催するなど、人権教育の充実に努めた。	B
平成30年度 (予定)	・小、中学校において人権教育研究事業を実施し、人権教室や講演会を開催するなど、人権教育の充実に努める。		
平成31年度 (予定)	・小、中学校において人権教育研究事業を実施し、人権教室や講演会を開催するなど、人権教育の充実に努める。		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			32
事業名	平和学習		総務課
基本目標	2	子どもの心豊かな成長を育む環境づくり	
施策の方向	2-5	子どもの健全育成	

当初計画				
事業概要	・ 小学校6年生に、原爆体験談などの講話を実施することで平和に関する意識の高揚を図ります。			
目標値	・ 継続実施			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了) その他

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	・ 小学校6年生を対象に、原爆体験談などの講話を実施。 ・ 戦後70年にあたり、PTAを通じて保護者にも対象を広げて実施。	平和講話開催（被爆者の体験談を語る） ・ 11/18大磯小学校150人（うち保護者5人） ・ 11/30国府小学校122人（うち保護者2人）	B
平成28年度 (実績)	・ 小学校6年生を対象に、原爆体験談などの講話を実施。	平和講話開催（被爆者の体験談を語る） ・ 11/22大磯小学校142人 ・ 12/12国府小学校115人	B
平成29年度 (実績)	・ 小学校6年生を対象に、原爆体験談などの講話を実施。	平和講話開催（被爆者の体験談を語る） ・ 11/21大磯小学校149人 ・ 11/10国府小学校127人	B
平成30年度 (予定)	・ 小学校6年生を対象に、原爆体験談などの講話を実施。		
平成31年度 (予定)	・ 小学校6年生を対象に、原爆体験談などの講話を実施。		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			33
事業名	子どもの意見を反映する機会の充実		政策課
基本目標	2	子どもの心豊かな成長を育む環境づくり	
施策の方向	2-6	社会参加への支援	

当初計画				
事業概要	・子どもの町に対する要望や意見などを聴取し、その意見や提案を町が行う施策や事業に反映するとともに、子どもがまちづくりに参画する意欲の増進を図り、責任ある社会人となるための自覚を促すため、子ども議会を開催します。			
目標値	・継続実施			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	・小学生を対象とした「子ども議会」を開催。	「子ども議会」を開催 【開催日】平成27年8月22日（土） 【参加者】5グループ 17名 （大磯小学校10名、国府小学校7名） 【議題数】7問	B
平成28年度 (実績)	・中学生を対象とした「町長の意見交換会」を開催。 ※平成28年度から、子どもの町に対する要望や意見などを聴取する機会を「子ども議会」から「意見交換会」に変更し開催。	「中学校生徒会と町長の意見交換会」を開催 【開催日】大磯中学校 平成28年10月18日（火） 国府中学校 平成28年10月20日（木） 【参加者】大磯中学校 10名 国府中学校 7名 【テーマ】「あなたが考える、あなたたちの時代の大磯町」	B
平成29年度 (実績)	・子どもの町に対する要望や意見などを聴取する機会としての「意見交換会」を開催。	未実施	C
平成30年度 (予定)	・子どもの町に対する要望や意見などを聴取する機会としての「意見交換会」を開催。		
平成31年度 (予定)	・子どもの町に対する要望や意見などを聴取する機会としての「意見交換会」を開催。		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	学校との日程調整がつかず未実施。

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			34
事業名	母子の健康保持、増進		スポーツ健康課
基本目標	3	子育て家庭にとって安全で安心なまちづくり	
施策の方向	3-1	妊娠、出産から子育てまで切れ目ない支援	

当初計画				
事業概要	・妊娠中から母子の健康保持増進を図るため、母子健康手帳の交付時等に保健師面接による保健指導を行い、リスクの高い妊産婦については医療機関等と連携を図ります。出産後においても新生児訪問指導・未熟児訪問指導などにより、切れ目なく継続した支援を行います。			
目標値	・新生児（第1子）、未熟児訪問全数訪問 ・妊婦健康診査受診率100%			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	・新生児訪問・未熟児訪問。	・新生児訪問 85回 ・多胎児 1回 ・(第2子以降の)未熟児訪問 12回 ・町保健師訪問 38回	B
平成28年度 (実績)	・新生児訪問・未熟児訪問。	・新生児訪問 90回 ・多胎児 なし ・(第2子以降の)未熟児訪問 4回 ・(第2子以降の)町保健師訪問 9回	B
平成29年度 (実績)	・新生児訪問・未熟児訪問。	・新生児訪問 80回 ・多胎児 1回 ・(第2子以降の)未熟児訪問 3回 ・(第2子以降の)町保健師訪問 9回	B
平成30年度 (予定)	・新生児訪問・未熟児訪問。		
平成31年度 (予定)	・新生児訪問・未熟児訪問。		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			35
事業名	出産育児不安の解消（情報提供・訪問・子育て講座等）		スポーツ健康課 子育て支援課
基本目標	3	子育て家庭にとって安全で安心なまちづくり	
施策の方向	3-1	妊娠、出産から子育てまで切れ目ない支援	

当初計画	
事業概要	スポーツ ・安心して妊娠、出産、育児に臨めるように知識を普及するとともに、仲間づくりの機会を提供することを目的に各種講座・教室を開催します。 ・妊娠中から児童の虐待の予防や育児不安の解消が図られるよう、父親の育児参加を促進する保健事業を展開していきます。 ・夫婦で出産を楽しみにしつつ、「親になること」のイメージを広げていけるよう、また、妊娠をきっかけに家族の健康を見直し、家庭が健康づくりの基盤であることを実感できるように、妊婦とその家族を対象に教室を開催します。 子育て ・「こんにちは赤ちゃん事業」として、民生委員・児童委員や主任児童委員が第2子以降の人を訪問し、育児の不安などを聞き、必要に応じて保健師等が訪問指導します。そのフォローとして、2歳児全戸訪問事業「にこにこ子育て応援団」を実施します。 ・父親の育児参加を推進・啓発するなど、ニーズに応じた講座等を開催します。
目標値	スポーツ ・マタニティスクール16回/年 子育て ・こんにちは赤ちゃん事業（乳児全戸訪問事業）訪問率100% ・子育て講座「ベビーマッサージ」4回/年 ・2歳児全戸訪問事業「にこにこ子育て応援団」訪問率100% ・健康に関する講座5回/年
区分	新規 継続 拡充 完了 （事業終了） その他

進捗状況		評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度		年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 （実績）	スポーツ	・マタニティスクールの実施。	・マタニティスクール 18回 104人	B
	子育て	・こんにちは赤ちゃん事業・2歳児全戸訪問事業 訪問率100%。 ・妊婦や乳幼児の保護者を対象とした子育て講座やイクメン講座の開催 10回以上/年。	・こんにちは赤ちゃん事業 訪問率72.9% ・2歳児全戸訪問事業 訪問率90.4% ・子育て講座「ベビーマッサージ」4回/年 ・健康に関する講座5回/年 ・イクメン講座 2回/年	B
平成28年度 （実績）	スポーツ	・マタニティスクールの実施。	・マタニティスクール 18回 105人	B
	子育て	・こんにちは赤ちゃん事業・2歳児全戸訪問事業 訪問率100%。 妊婦や乳幼児の保護者を対象とした子育て講座やイクメン講座の開催 10回以上/年。	・こんにちは赤ちゃん事業 訪問率63.8% ・2歳児全戸訪問事業 訪問率87.7% ・子育て講座「ベビーマッサージ」4回/年 ・健康に関する講座5回/年 ・イクメン講座 3回/年	B
平成29年度 （実績）	スポーツ	・マタニティスクールの実施。	・マタニティスクール 18回 137人	B
	子育て	・こんにちは赤ちゃん事業・2歳児全戸訪問事業 訪問率100%。 ・妊婦や乳幼児の保護者を対象とした子育て講座やイクメン講座の開催 10回以上/年。	・こんにちは赤ちゃん事業 訪問率87.8% ・2歳児全戸訪問事業 訪問率85.1% ・子育て講座「ベビーマッサージ」4回/年 ・健康に関する講座4回/年 ・イクメン講座 3回/年	B
平成30年度 （予定）	スポーツ	・マタニティスクールの実施。		
	子育て	・こんにちは赤ちゃん事業・2歳児全戸訪問事業 訪問率100%。 ・妊婦や乳幼児の保護者を対象とした子育て講座やイクメン講座の開催 10回以上/年。		
平成31年度 （予定）	スポーツ	・マタニティスクール。		
	子育て	・こんにちは赤ちゃん事業・2歳児全戸訪問事業 訪問率100%。 ・妊婦や乳幼児の保護者を対象とした子育て講座やイクメン講座の開催 10回以上/年。		

評価Cの場合
未着手等の理由と今後の対応等

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			36
事業名	不妊等への支援		スポーツ健康課
基本目標	3	子育て家庭にとって安全で安心なまちづくり	
施策の方向	3-1	妊娠、出産から子育てまで切れ目ない支援	

当初計画				
事業概要	子どもを持つことを望み、不妊・不育治療を必要とする夫婦が安心して治療を受けられるよう、治療費助成や情報提供、相談体制の充実に努めます。			
目標値	継続実施			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	- 特定不妊治療費助成の実施 - 不育症治療費助成の実施。	- 特定不妊治療費助成 16件 - 不育症治療費助成 0件	B
平成28年度 (実績)	- 特定不妊治療費助成の実施 - 不育症治療費助成の実施。	- 特定不妊治療費助成 17件 - 不育症治療費助成 1件	B
平成29年度 (実績)	- 特定不妊治療費助成の実施 - 不育症治療費助成の実施。	- 特定不妊治療費助成 11件 - 不育症治療費助成 0件	B
平成30年度 (予定)	- 特定不妊治療費助成の実施 - 不育症治療費助成の実施。		
平成31年度 (予定)	- 特定不妊治療費助成の実施 - 不育症治療費助成の実施。		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			37
事業名	乳幼児健診、予防接種の推進		スポーツ健康課
基本目標	3	子育て家庭にとって安全で安心なまちづくり	
施策の方向	3-1	妊娠、出産から子育てまで切れ目ない支援	

当初計画				
事業概要	・乳幼児の発育・発達を確認するとともに、育児不安の解消や育児支援も含めて子どもと保護者が心身ともに健康に生活することを目指して、乳幼児を対象とした各種健康診査、健康相談を実施し、健診結果によりフォロー教室やこども発達相談を勧奨します。各種健康診査の結果、疾病や障がい疑われ精密検査が必要とされた場合には、精密検査受診券を発行し受診結果を把握していきます。 ・学校、教育機関との連携により正しい予防接種の知識を保護者に提供し、予防接種率の向上を図り、感染症に対する免疫を確保し、疾病の発生及び流行を予防します。			
目標値	・受診率100% ・予防接種率100%			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	・4か月児健診の実施。 ・8～10か月児健診の実施。 ・1歳6か月児健診の実施。 ・2歳児歯科健診の実施。 ・3歳児健診の実施。	・4か月児健診 172名 96.1% ・8～10か月児健診 165名 93.8% ・1歳6か月児健診 181名 99.5% ・2歳児歯科健診 197名 88.3% ・3歳児健診 194名 91.5%	B
平成28年度 (実績)	・4か月児健診の実施。 ・8～10か月児健診の実施。 ・1歳6か月児健診の実施。 ・2歳児歯科健診の実施。 ・3歳児健診の実施。	・4か月児健診 188名 99.5% ・8～10か月児健診 172名 91.5% ・1歳6か月児健診 186名 96.4% ・2歳児歯科健診 168名 90.8% ・3歳児健診 224名 91.8%	B
平成29年度 (実績)	・4か月児健診の実施。 ・8～10か月児健診の実施。 ・1歳6か月児健診の実施。 ・2歳児歯科健診の実施。 ・3歳児健診の実施。	・4か月児健診 203名 99.0% ・8～10か月児健診 178名 92.2% ・1歳6か月児健診 197名 97.5% ・2歳児歯科健診 184名 91.1% ・3歳児健診 196名 98.5%	B
平成30年度 (予定)	・4か月児健診の実施。 ・8～10か月児健診の実施。 ・1歳6か月児健診の実施。 ・2歳児歯科健診の実施。 ・3歳児健診の実施。		
平成31年度 (予定)	・4か月児健診の実施。 ・8～10か月児健診の実施。 ・1歳6か月児健診の実施。 ・2歳児歯科健診の実施。 ・3歳児健診の実施。		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			38
事業名	救急医療の確保		スポーツ健康課
基本目標	3	子育て家庭にとって安全で安心なまちづくり	
施策の方向	3-2	医療体制の充実	

当初計画				
事業概要	・休日、夜間の急患、診療体制を確保していきます。			
目標値	・継続実施			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 （実績）	・ 休日、夜間の急患、診療体制を確保。	・ 二宮町と共同して、在宅当番医制事業を中郡医師会に委託し、休日昼間（9時～12時、14時～17時）の初期救急体制を確保。 ・ 東海大学大磯病院に補助金を支出し夜間（17時から22時）の一次救急医療を確保。 ・ 平塚市、二宮町と共同で、休日及び土曜昼夜と平日夜間の二次救急医療を確保。	B
平成28年度 （実績）	・ 休日、夜間の急患、診療体制を確保。	・ 二宮町と共同して、在宅当番医制事業を中郡医師会に委託し、休日昼間（9時～12時、14時～17時）の初期救急体制を確保。 ・ 東海大学大磯病院に補助金を支出し夜間（17時から22時）の一次救急医療を確保。 ・ 平塚市、二宮町と共同で、休日及び土曜昼夜と平日夜間の二次救急医療を確保。	B
平成29年度 （実績）	・ 休日、夜間の急患、診療体制を確保。	・ 二宮町と共同して、在宅当番医制事業を中郡医師会に委託し、休日昼間（9時～12時、14時～17時）の初期救急体制を確保。 ・ 東海大学大磯病院に補助金を支出し夜間（17時から22時）の一次救急医療を確保。 ・ 平塚市、二宮町と共同で、休日及び土曜昼夜と平日夜間の二次救急医療を確保。	B
平成30年度 （予定）	・ 休日、夜間の急患、診療体制を確保。		
平成31年度 （予定）	・ 休日、夜間の急患、診療体制を確保。		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			39
事業名	妊婦健康診査		スポーツ健康課
基本目標	3	子育て家庭にとって安全で安心なまちづくり	
施策の方向	3-2	医療体制の充実	

当初計画				
事業概要	・すこやかな妊娠と出産のため、妊娠中に受ける妊婦健康診査（14回分）の費用補助を行い、確実な受診を勧めます。また、産科医療機関との連携窓口となり、健診結果等からフォローが必要とされる場合には、対応します。			
目標値	・受診率100%			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	・受診率100%。	・母子健康手帳交付 210件(受診率92%) ・妊婦健康診査 延べ2,267件	B
平成28年度 (実績)	・受診率100%。	・母子健康手帳交付 197件(受診率86%) ・妊婦健康診査 延べ2,265件	B
平成29年度 (実績)	・受診率100%。	・母子健康手帳交付 188件(受診率94%) ・妊婦健康診査 延べ2,427件	B
平成30年度 (予定)	・受診率100%。		
平成31年度 (予定)	・受診率100%。		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			40
事業名	周産期・小児医療の確保		スポーツ健康課
基本目標	3	子育て家庭にとって安全で安心なまちづくり	
施策の方向	3-2	医療体制の充実	

当初計画				
事業概要	平成22年4月以来、休止となっている東海大学医学部附属大磯病院の産科の再開を含め、周産期・小児の医療体制の確保に努めます。			
目標値	継続実施			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	平成22年4月以来、休止となっている東海大学医学部附属大磯病院の産科の再開を含め、周産期・小児の医療体制の確保に努める。	産科再開にむけ、町民ニーズ調査を実施。（85%が町内に産科があったほうがよい、76%が東海大学医学部附属大磯病院の産科再開を希望）。	B
平成28年度 (実績)	平成22年4月以来、休止となっている東海大学医学部附属大磯病院の産科の再開を含め、周産期・小児の医療体制の確保に努める。	町担当と東海大磯病院との話し合いは定期的に継続している。東海大学側の状況は把握しており、今後、産科を再開することは困難との見解を得ているが、継続して再開の希望は伝えていく。	B
平成29年度 (実績)	平成22年4月以来、休止となっている東海大学医学部附属大磯病院の産科の再開を含め、周産期・小児の医療体制の確保に努める。	町担当と東海大磯病院との話し合いは定期的に継続している。東海大学側の状況は把握しており、現状では産科を再開することは困難との見解を確認した。	B
平成30年度 (予定)	平成22年4月以来、休止となっている東海大学医学部附属大磯病院の産科の再開を含め、周産期・小児の医療体制の確保に努める。		
平成31年度 (予定)	平成22年4月以来、休止となっている東海大学医学部附属大磯病院の産科の再開を含め、周産期・小児の医療体制の確保に努める。		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			41
事業名	児童手当の支給		子育て支援課
基本目標	3	子育て家庭にとって安全で安心なまちづくり	
施策の方向	3-3	経済的な支援	

当初計画				
事業概要	・子育て家庭における生活の安定と次代の社会をになう児童の健全な育成、資質の向上を図るため、児童手当法により、中学校3年生以下の児童を養育している人に手当を支給します。			
目標値	・継続実施			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	・家庭における生活の安定と次代の社会を担う児童の健全な育成、資質の向上を目的として、児童を養育している人に手当を支給する。	・対象延べ児童数：43,952人 ・支給額：456,865,000円 国：315,540,998円 県：70,661,998円 町：70,662,004円	B
平成28年度 (実績)	・家庭における生活の安定と次代の社会を担う児童の健全な育成、資質の向上を目的として、児童を養育している人に手当を支給する。	・対象延べ児童数：43,041人 ・支給額：444,555,000円 国：306,701,999円 県：68,926,499円 町：68,926,502円	B
平成29年度 (実績)	・家庭における生活の安定と次代の社会を担う児童の健全な育成、資質の向上を目的として、児童を養育している人に手当を支給する。	・対象延べ児童数：42,570人 ・支給額：440,405,000円 国：306,304,665円 県：68,190,165円 町：65,910,170円	B
平成30年度 (予定)	・家庭における生活の安定と次代の社会を担う児童の健全な育成、資質の向上を目的として、児童を養育している人に手当を支給する。		
平成31年度 (予定)	・家庭における生活の安定と次代の社会を担う児童の健全な育成、資質の向上を目的として、児童を養育している人に手当を支給する。		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			42
事業名	小児医療の助成		子育て支援課
基本目標	3	子育て家庭にとって安全で安心なまちづくり	
施策の方向	3-3	経済的な支援	

当初計画				
事業概要	・小学生までの児童の入院及び通院に係る医療費と中学生の児童の入院に係る医療費を助成し、病気の早期発見と治療を促進し、児童の保健及び福祉の向上と増進を図ります。			
目標値	・継続実施			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	・小学生までの児童の入院及び通院に係る医療費と中学生の児童の入院に係る医療費を助成し、病気の早期発見と治療を促進し、児童の保健及び福祉の向上と増進を図る。	対象乳幼児数：2,705人 支給額：74,853,306円 県対象分：1,333人 県補助分：60,613,295円 町対象分：1,372人 町補助分：14,240,011円 ※平成27年10月より、所得制限の緩和を実施し、医療費の一部助成対象者の拡充を図った。	B
平成28年度 (実績)	・小学生までの児童の入院及び通院に係る医療費と中学生の児童の入院に係る医療費を助成し、病気の早期発見と治療を促進し、児童の保健及び福祉の向上と増進を図る。	対象乳幼児数：2,682人 支給額：75,543,220円 県対象分：1,361人 県補助分：47,952,096円 町対象分：1,321人 町補助分：27,591,124円	B
平成29年度 (実績)	・小学生までの児童の入院及び通院に係る医療費と中学生の児童の入院に係る医療費を助成し、病気の早期発見と治療を促進し、児童の保健及び福祉の向上と増進を図る。	対象乳幼児数：2,715人 支給額：73,705,276円 県対象分：1,326人 県補助分：41,351,208円 町対象分：1,389人 町補助分：32,354,068円	B
平成30年度 (予定)	・小学生までの児童の入院及び通院に係る医療費と中学生の児童の入院に係る医療費を助成し、病気の早期発見と治療を促進し、児童の保健及び福祉の向上と増進を図る。		
平成31年度 (予定)	・小学生までの児童の入院及び通院に係る医療費と中学生の児童の入院に係る医療費を助成し、病気の早期発見と治療を促進し、児童の保健及び福祉の向上と増進を図る。		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			43
事業名	養育医療		子育て支援課
基本目標	3	子育て家庭にとって安全で安心なまちづくり	
施策の方向	3-3	経済的な支援	

当初計画				
事業概要	・病院または診療所に入院することを必要とする未熟児（出生体重2000g以下の乳児、または指定医療機関の医師が養育医療の対象と認めた乳児）に対し、その養育に必要な医療を助成します。			
目標値	・継続実施			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	・病院または診療所に入院することを必要とする未熟児（出生体重2000g以下の乳児、または指定医療機関の医師が養育医療の対象と認めた乳児）に対し、その養育に必要な医療を助成。	・対象者数： 2人 ・支給額：640,958円 - 国：320,479円 - 県：160,239円 - 町：160,240円	B
平成28年度 (実績)	・病院または診療所に入院することを必要とする未熟児（出生体重2000g以下の乳児、または指定医療機関の医師が養育医療の対象と認めた乳児）に対し、その養育に必要な医療を助成。	・対象者数： 4人 ・支給額：1,249,819円 - 国： 624,909円 - 県： 312,454円 - 町： 312,456円	B
平成29年度 (実績)	・病院または診療所に入院することを必要とする未熟児（出生体重2000g以下の乳児、または指定医療機関の医師が養育医療の対象と認めた乳児）に対し、その養育に必要な医療を助成。	・対象者数： 6人 ・支給額：1,276,091円 - 国： 638,045円 - 県： 319,022円 - 町： 319,024円	B
平成30年度 (予定)	・病院または診療所に入院することを必要とする未熟児（出生体重2000g以下の乳児、または指定医療機関の医師が養育医療の対象と認めた乳児）に対し、その養育に必要な医療を助成。		
平成31年度 (予定)	・病院または診療所に入院することを必要とする未熟児（出生体重2000g以下の乳児、または指定医療機関の医師が養育医療の対象と認めた乳児）に対し、その養育に必要な医療を助成。		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			44
事業名	就園、就学援助		学校教育課 子育て支援課
基本目標	3	子育て家庭にとって安全で安心なまちづくり	
施策の方向	3-3	経済的な支援	

当初計画	
事業概要	学校 ・経済的事情により私立高校等への就学が困難な者または就学の継続が困難で諸条件を満たした者に対し、補助金を交付します。 ・経済的事情により就学が困難な家庭に対し、学用品などの費用の一部を助成します。
	子育て ・施設型給付を受けない私立幼稚園に就園している園児の保護者の経済的負担の軽減と幼児教育の振興を図るため、世帯の課税状況に応じて保育料等の一部を補助します。
目標値	学校 ・継続実施
	子育て ・国の動向に応じ、助成を実施
区分	新規 継続 拡充 完了 (事業終了) その他

進捗状況		評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度		年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	学校	・経済的事情により私立高校等への就学が困難な者または、就学の継続が困難で諸条件を満たした者に対し、補助金を交付。 ・経済的事情により就学が困難な家庭に対し、学用品などの費用の一部を援助。	・私立高校就学支援補助金を支給(1人)。 ・就学援助費を支給(小学校:95人、中学校59人)	B
	子育て	・大磯町私立幼稚園就園補助金交付要綱に基づき、補助を実施。	・子ども子育て支援新制度に移行していない私立幼稚園に就園している園児の保護者に保育料等の一部を補助。(実績：12園・92人)	B
平成28年度 (実績)	学校	・経済的事情により私立高校等への就学が困難な者または、就学の継続が困難で諸条件を満たした者に対し、補助金を交付。 ・経済的事情により就学が困難な家庭に対し、学用品などの費用の一部を援助。	・私立高校就学支援補助金を支給(2人)。 ・就学援助費を支給(小学校:95人、中学校57人)	B
	子育て	・国の動向に応じ、大磯町私立幼稚園就園補助金交付要綱に基づき、補助を実施。	・子ども子育て支援新制度に移行していない私立幼稚園に就園している園児の保護者に保育料等の一部を補助。(実績：12園・80人)	B
平成29年度 (実績)	学校	・経済的事情により私立高校等への就学が困難な者または、就学の継続が困難で諸条件を満たした者に対し、補助金を交付。 ・経済的事情により就学が困難な家庭に対し、学用品などの費用の一部を援助。	・私立高校就学支援補助金を支給(3人) ・就学援助費を支給(小学校102人、中学校67人)	B
	子育て	・国の動向に応じ、大磯町私立幼稚園就園補助金交付要綱に基づき、補助を実施。 ・個人番号導入に伴い要綱変更	・子ども子育て支援新制度に移行していない私立幼稚園に就園している園児の保護者に保育料等の一部を補助。(実績：13園・92人)	B
平成30年度 (予定)	学校	・経済的事情により私立高校等への就学が困難な者または、就学の継続が困難で諸条件を満たした者に対し、補助金を交付。 ・経済的事情により就学が困難な家庭に対し、学用品などの費用の一部を援助。		
	子育て	・国の動向に応じ、大磯町私立幼稚園就園補助金交付要綱に基づき、補助を実施。		
平成31年度 (予定)	学校	・経済的事情により私立高校等への就学が困難な者または、就学の継続が困難で諸条件を満たした者に対し、補助金を交付。 ・経済的事情により就学が困難な家庭に対し、学用品などの費用の一部を援助。		
	子育て	・国の動向に応じ、大磯町私立幼稚園就園補助金交付要綱に基づき、補助を実施。		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			45	
事業名	ひとり親への援助		子育て支援課	
基本目標	3	子育て家庭にとって安全で安心なまちづくり		
施策の方向	3-3	経済的な支援		
当初計画				
事業概要	・ひとり親家庭等の生活の安定と自立を促進し、児童の福祉の増進を図ります。 ・18歳になった日以降の最初の3月31日まで（中度以上の障がいがある場合は20歳未満）の児童を監護している母、父、又は、母もしくは父に代わって児童を養育している人に手当を支給します。 ・母子、父子家庭の母または父と児童（18歳になった日以降の最初の3月31日までの児童）が病院などの受診時に支払う健康保健の自己負担額を公費で助成します。 ・4月1日現在、町に6か月以上居住し、住民基本台帳に登録されている方で、その年の4月に小学校・中学校・高校に入学したひとり親家庭の児童（支給要件に該当する児童）を養育している方に助成金を支給します。 ・ひとり親家庭等の子どもの保育所入所の際、保育料軽減を実施します。 ・一時保育、延長保育、特定保育の料金の負担を軽減します。			
目標値	・継続実施			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)
進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）			
年度	年度別事業目標	実績	評価	
平成27年度 (実績)	・ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援するため、医療費の自己負担分を助成し、福祉の増進を図る。	ひとり親医療 ・対象者世帯：192世帯(473人) ・負担額：15,243,681円 ひとり親助成金 ・対象世帯：32世帯 ・支給人数：35人 ・支給額：1,020,000円 児童扶養手当 ・対象受給者数：215人 ・新規認定数：26人 ・転入認定数：2人 ・父子認定数：1人	B	
平成28年度 (実績)	・ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援するため、医療費の自己負担分を助成し、福祉の増進を図る。	ひとり親医療 ・対象者世帯：183世帯(445人) ・負担額：15,185,498円 ひとり親助成金 ・対象世帯：30世帯 ・支給人数：33人 ・支給額：990,000円 児童扶養手当 ・対象受給者数：211人 ・新規認定数：9人 ・転入認定数：4人 ・父子認定数：1人	B	
平成29年度 (実績)	・ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援するため、医療費の自己負担分を助成し、福祉の増進を図る。	ひとり親医療 ・対象者世帯：175世帯(425人) ・負担額：14,866,996円 ひとり親助成金 ・対象世帯：20世帯 ・支給人数：21人 ・支給額：630,000円 児童扶養手当 ・対象受給者数：218人 ・新規認定数：26人 ・転入認定数：5人 ・父子認定数：2人	B	
平成30年度 (予定)	・ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援するため、医療費の自己負担分を助成し、福祉の増進を図る。			
平成31年度 (予定)	・ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援するため、医療費の自己負担分を助成し、福祉の増進を図る。			
評価Cの場合				
未着手等の理由と今後の対応等				

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			46
事業名	障がいを持つ子どもへの援助		子育て支援課
基本目標	3	子育て家庭にとって安全で安心なまちづくり	
施策の方向	3-3	経済的な支援	

当初計画				
事業概要	障がいのある20歳未満の児童を扶養している人に手当を支給し、障がい児家庭の生活の安定と福祉の増進を図ります。			
目標値	継続実施			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	障がいのある20歳未満の児童を扶養している人に手当を支給し、障がい児家庭の生活の安定と福祉の増進を図る。	- 受給資格者数：41件 - 新規認定数：5件 - 転入認定数：0件	B
平成28年度 (実績)	障がいのある20歳未満の児童を扶養している人に手当を支給し、障がい児家庭の生活の安定と福祉の増進を図る。	- 受給資格者数：45件 - 新規認定数：5件 - 転入認定数：0件	B
平成29年度 (実績)	障がいのある20歳未満の児童を扶養している人に手当を支給し、障がい児家庭の生活の安定と福祉の増進を図る。	- 受給資格者数：48件 - 新規認定数：5件 - 転入認定数：0件	B
平成30年度 (予定)	障がいのある20歳未満の児童を扶養している人に手当を支給し、障がい児家庭の生活の安定と福祉の増進を図る。		
平成31年度 (予定)	障がいのある20歳未満の児童を扶養している人に手当を支給し、障がい児家庭の生活の安定と福祉の増進を図る。		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			47
事業名	保育料以外の実費負担への費用助成		子育て支援課
基本目標	3	子育て家庭にとって安全で安心なまちづくり	
施策の方向	3-3	経済的な支援	

当初計画				
事業概要	・ 保育料以外の実費負担の部分について、低所得者の負担軽減を図るための補助を検討していきます。			
目標値	・ 国の動向に応じ、助成を実施			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)
				その他

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	・ 認可外保育施設への町単独補助などを検討	・ 未着手	C
平成28年度 (実績)	・ 認可外保育施設への町単独補助などを検討	・ 未着手	C
平成29年度 (実績)	・ 認可外保育施設への町単独補助などを検討	・ 他の自治体では、子ども子育て支援新制度に移行していない私立幼稚園への補助（私立幼稚園就園補助金）を幼稚園に準じた認可外保育施設に適用して独自補助する制度があるが、幼児教育無償化となった場合は、町単独補助の適用外となるため、国の動向等に注視し、検討していくこととした。	C
平成30年度 (予定)	・ 認可外保育施設への町単独補助などを検討		
平成31年度 (予定)	・ 認可外保育施設への町単独補助などを検討		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	子ども・子育て支援新制度に移行していない認可外保育施設へ入所する児童は、町が定める保育料が適用されていないため、保護者負担の軽減に対する手立てとして、町独自の補助を検討する必要があるが、新制度に移行して間もないため、未着手となっている。

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			48
事業名	公園や道路等の環境整備、バリアフリー		建設課 都市計画課
基本目標	3	子育て家庭にとって安全で安心なまちづくり	
施策の方向	3-4	生活環境の整備	

当初計画						
事業概要	建設	・交通量が多い町道等への歩道の整備や危険個所の改修を進め、歩きやすい歩道など歩行者の安全確保に努めます。 ・国県道における通学時等の危険な場所の改善を要望し、国・県・町それぞれの道路管理者が一体となって整備に取り組んでいきます。				
	都計	・公共施設、公共機関のバリアフリー化を推進し、高齢者や障がい者、幼児連れなどをはじめすべての人に対してやさしい環境づくりをめざします。				
目標値	建設	・町内歩道整備延長L=943m（国府本郷西小磯1号線、幹線28号線）				
	都計	・町内すべての公園で点検・修繕、公園検査を実施				
区分	新規		継続	拡充	完了 （事業終了）	その他

進捗状況		評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）				
年度		年度別事業目標		実績		評価
平成27年度 （実績）	建設	・交通量が多い町道等への歩道の整備を進めた。 ・国県道における通学路等の危険な場所の改善を要望した。		・歩道整備工事を実施。27年度整備延長=30m		A
	都計	・町内すべての公園・緑地で毎月2回の清掃を実施する。翌日に清掃検査を実施。 ・専門業者による遊具の安全点検を実施し、不具合のある遊具について、修繕を実施した。		・毎月第1・3月曜日に町内50箇所の公園・緑地の清掃を実施し、翌日に検査を行った。 ・遊具の設置してある36公園で安全点検を実施し、修繕料の翌年度の予算の確保を行った。		B
平成28年度 （実績）	建設	・交通量が多い町道等への歩道の整備を進めた。 ・国県道における通学路等の危険な場所の改善を要望した。		・用地買収及び道路拡幅工事（L=約300m）を行った。		A
	都計	・町内すべての公園・緑地で毎月2回の清掃を実施する。翌日に清掃検査を実施。 ・専門業者による遊具の安全点検を実施し、不具合のある遊具について、修繕を実施した。		・毎月第1・3月曜日に町内50箇所の公園・緑地の清掃を実施し、翌日に検査を行った。 ・遊具の設置してある36公園で安全点検を実施し、修繕が必要な箇所について、翌年度予算の確保を行った。		B
平成29年度 （実績）	建設	・交通量が多い町道等への歩道の整備を進めた。 ・国県道における通学路等の危険な場所の改善を要望した。		・道路拡幅工事（L=約145m）を行った。 ・通学路合同点検の結果を踏まえ、国・県に改善を要望した。		A
	都計	・町内すべての公園・緑地で毎月2回の清掃を実施する。翌日に清掃検査を実施。 ・専門業者による遊具の安全点検を実施し、不具合のある遊具について、修繕を実施した。		・毎月第1・3月曜日に町内50箇所の公園・緑地の清掃を実施し、翌日に検査を行った。 ・遊具の設置してある36公園で安全点検を実施し、修繕が必要な箇所について、翌年度予算の確保を行い、緊急性の高い遊具については、直ちに修繕を行った。		B
平成30年度 （予定）	建設	・交通量が多い町道等への歩道の整備を進めた。 ・国県道における通学路等の危険な場所の改善を要望した。				
	都計	・町内すべての公園・緑地で毎月2回の清掃を実施する。翌日に清掃検査を実施。 ・専門業者による遊具の安全点検を実施し、不具合のある遊具について、修繕を実施した。				
平成31年度 （予定）	建設	・交通量が多い町道等への歩道の整備を進めた。 ・国県道における通学路等の危険な場所の改善を要望した。				
	都計	・町内すべての公園・緑地で毎月2回の清掃を実施する。翌日に清掃検査を実施。 ・専門業者による遊具の安全点検を実施し、不具合のある遊具について、修繕を実施した。				

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			49
事業名	公共施設での子育て支援（授乳室やベビーベッド等）		子育て支援課
基本目標	3	子育て家庭にとって安全で安心なまちづくり	
施策の方向	3-4	生活環境の整備	

当初計画				
事業概要	- 子育て中の親子が公共施設を利用しやすいようにベビーベッドを置くなど、授乳やおむつ交換ができるスペースの確保を推進します。 - 親子でイベントに参加しやすいように移動式赤ちゃんの駅を町内イベント主催者に貸出します。			
目標値	・赤ちゃんの駅の貸出12回以上/年			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	・赤ちゃんの駅の貸出12回以上/年	・赤ちゃんの駅の貸出2回/年	C
平成28年度 (実績)	・赤ちゃんの駅の貸出12回以上/年	・赤ちゃんの駅の貸出3回/年 ・赤ちゃんの駅を必要とするイベントに限られていることや利用時の設置スペースや、人の配置等の課題があげられるが、H28年度は町ホームページや広報等で周知を行い、町主催行事以外の貸出しの利用もあり、今後も引き続き利用の促進を図っていく。	B
平成29年度 (実績)	・赤ちゃんの駅の貸出12回以上/年	・赤ちゃんの駅の貸出2回/年 ・赤ちゃんの駅を必要とするイベントに限られていることや利用時の設置スペースや、人の配置等の課題があげられるが、H29年度も町ホームページや広報等で周知を行い、町主催行事以外の貸出しの利用もあり、今後も引き続き利用の促進を図っていく。	B
平成30年度 (予定)	・赤ちゃんの駅の貸出12回以上/年		
平成31年度 (予定)	・赤ちゃんの駅の貸出12回以上/年		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			50
事業名	通学路や公園などの安全確保		町民課・都市計画課 学校教育課
基本目標	3	子育て家庭にとって安全で安心なまちづくり	
施策の方向	3-4	生活環境の整備	

当初計画						
事業概要	町民	・交通事故危険箇所において、ストップマークや啓発看板の設置を進めます。 ・防犯灯を整備します。				
	都計	・子どもの安全性を確保するために、公園内を明るく保つことや、内外から見通しを良くするため、公園灯周辺の樹木の剪定や生垣の間伐などを実施します。 ・公園遊具の定期点検を実施するとともに、安全な遊具の再整備を進めます。				
	学校	・各小学校において、地域や保護者の協力のもと、通学路の安全確保のため、危険箇所の点検調査などを行います。点検調査の結果、改善の必要な箇所は、各学校から提出された通学路改善要望に基づき、関係機関と連携し改善に努めます。				
目標値	町民	・町内約3,770基（平成26年度時点）の防犯灯の維持管理				
	都計	・公園・緑地の樹木剪定の実施、遊具修繕及び遊具点検1回/年				
	学校	・継続実施				
区分		新規	継続	拡充	完了 (事業終了)	その他

進捗状況		評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）				
年度		年度別事業目標	実績	評価		
平成27年度 (実績)	町民	・ストップマークや交通安全啓発看板の設置。 ・防犯灯の整備。	・交通事故危険箇所において、ストップマークや交通安全啓発看板を設置した。 ・防犯灯の新設、移設、撤去を行った。（21件）	B		
	都計	・公園・緑地の敷地からはみ出している樹木の剪定を、年間を通して行う。 ・遊具の安全点検を年1回実施し、必要な遊具の修繕を行う。	・町内42箇所の公園・緑地の樹木の剪定を実施。 ・36公園の遊具の安全点検を行い、6公園7遊具の修繕が必要な遊具の予算計上を行った。	B		
	学校	・各小学校において、地域や保護者の協力のもと、通学路の安全確保のため、危険箇所の点検調査などを行う。点検調査の結果、改善の必要な箇所は、各学校から提出された通学路改善要望に基づき、関係機関と連携し改善に努める。	・防犯安全対策推進委員会を開催し、各校から出された通学路改善要望を元に協議を行った。必要に応じて、町の関係各課及び警察等の関係機関と共に改善に向けて連携した。	B		
平成28年度 (実績)	町民	・ストップマークや交通安全啓発看板の設置。 ・防犯灯の整備。	・交通事故危険箇所において、ストップマークや交通安全啓発看板を設置した。 ・防犯灯の新設、移設、撤去を行った。（23件）	B		
	都計	・公園・緑地の敷地からはみ出している樹木の剪定を、年間を通して行う。 ・遊具の安全点検を年1回実施し、必要な遊具の修繕を行う。	・町内42箇所の公園・緑地の樹木の剪定を実施。 ・36公園の遊具の安全点検を行い、6公園6遊具の修繕が必要な遊具について翌年度予算の確保を行った。	B		
	学校	・各小学校において、地域や保護者の協力のもと、通学路の安全確保のため、危険箇所の点検調査などを行う。点検調査の結果、改善の必要な箇所は、各学校から提出された通学路改善要望に基づき、関係機関と連携し改善に努める。	・防犯安全対策推進委員会を開催し、各校から出された通学路改善要望を元に協議を行った。必要に応じて、町の関係各課及び警察等の関係機関と共に改善に向けて連携した。	B		
平成29年度 (実績)	町民	・ストップマークや交通安全啓発看板の設置。 ・防犯灯の整備。	・交通事故危険箇所において、ストップマークや交通安全啓発看板を設置した。 ・防犯灯の新設、移設、撤去を行った。（22件）	B		
	都計	・公園・緑地の敷地からはみ出している樹木の剪定を、年間を通して行う。 ・遊具の安全点検を年1回実施し、必要な遊具の修繕を行う。	・町内42箇所の公園・緑地の樹木の剪定を実施。 ・36公園の遊具の安全点検を行い、2公園の修繕が必要な2遊具について翌年度予算の確保を行い、緊急性の高い遊具については、直ちに修繕を行った。	B		
	学校	・各小学校において、地域や保護者の協力のもと、通学路の安全確保のため、危険箇所の点検調査などを行う。点検調査の結果、改善の必要な箇所は、各学校から提出された通学路改善要望に基づき、関係機関と連携し改善に努める。	・防犯安全対策推進委員会を開催し、各校から出された通学路危険箇所を元に協議を行った。必要に応じて、町の関係各課及び警察等の関係機関と共に改善に向けて連携した。	B		
平成30年度 (予定)	町民	・ストップマークや交通安全啓発看板の設置。 ・防犯灯の整備。				
	都計	・公園・緑地の敷地からはみ出している樹木の剪定を、年間を通して行う。 ・遊具の安全点検を年1回実施し、必要な遊具の修繕を行う。				
	学校	・各小学校において、地域や保護者の協力のもと、通学路の安全確保のため、危険箇所の点検調査などを行う。点検調査の結果、改善の必要な箇所は、各学校から提出された通学路改善要望に基づき、関係機関と連携し改善に努める。				
平成31年度 (予定)	町民	・ストップマークや交通安全啓発看板の設置。 ・防犯灯の整備。				
	都計	・公園・緑地の敷地からはみ出している樹木の剪定を、年間を通して行う。 ・遊具の安全点検を年1回実施し、必要な遊具の修繕を行う。				
	学校	・各小学校において、地域や保護者の協力のもと、通学路の安全確保のため、危険箇所の点検調査などを行う。点検調査の結果、改善の必要な箇所は、各学校から提出された通学路改善要望に基づき、関係機関と連携し改善に努める。				

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			51
事業名	交通安全、防犯対策		町民課・学校教育課 生涯学習課
基本目標	3	子育て家庭にとって安全で安心なまちづくり	
施策の方向	3-4	生活環境の整備	

当初計画						
事業概要	町民	・学校・地域・関係団体と協力して交通安全・防犯教育を進めます。 ・交通事故・犯罪の未然防止を図るため、学校・地域・関係団体と協力して子どもの見守り活動を進めます。 ・交通安全・防犯対策の情報を広報や町ホームページ等により学校・地域・関係団体に情報を提供します。				
	学校	・子どもを犯罪等の被害から守るため、関係機関・団体との情報交換を充実し、町ホームページや電子メール等により保護者、地域、関係団体に情報提供します。 ・子どもが交通事故や犯罪の被害に遭わないようするための講習を実施します。 ・学校、保護者、地域が連携して、登下校を含めた学校内外の安全保持に努めます。				
	生涯	・PTA主催により、登下校途中の児童・生徒が緊急時に立ち寄ることができる「子どもSOS」家庭を引き続き募集、防犯ボランティア活動を支援します。				
	町民 学校 生涯	・継続実施 ・継続実施 ・子どもSOS事業推進研修会 1回/年				
区分	新規		継続	拡充	完了 (事業終了)	その他

進捗状況		評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）				
年度		年度別事業目標			実績	評価
平成27年度 (実績)	町民	・交通安全、防犯出前講座の実施。 ・学校・地域・関係団体と協力し子どもの見守り活動の実施。			・出前講座の開催（2回） ・交通安全街頭見守りの実施（春・秋 2回） ・関係団体と合同パトロール、啓発活動を実施した。	B
	学校	・子どもを犯罪等の被害から守るために、関係機関・団体との情報交換を充実し、不審者情報等を町のホームページや電子メール等により保護者や地域、関係団体に情報提供。 ・子どもが交通事故や犯罪の被害に遭わないようするための講習を実施。 ・学校、保護者、地域が連携して、登下校を含めた学校内外の安全保持に努める。			・学校警察連絡協議会から情報提供された不審者情報を、区長会や民生委員等の関係団体、保護者や地域住民に情報提供した。 ・各校において、交通安全教室や不審者侵入防止訓練等を実施した。 ・各校で通学路点検や地域フォーラム等を実施し、学校内外の安全保持について情報交換を行った。	B
	生涯	・子どもSOS事業推進研修会を年1回開催する。			・子どもSOS事業推進研修会を2月8日に開催。	B
平成28年度 (実績)	町民	・交通安全、防犯出前講座の実施。 ・学校・地域・関係団体と協力し子どもの見守り活動の実施。 ・交通安全・防犯対策、犯罪発生状況などの情報提供			・出前講座の開催（2回） ・交通安全街頭見守りの実施（春・秋 2回） ・関係団体と合同パトロール、啓発活動を実施した。	B
	学校	・子どもを犯罪等の被害から守るために、関係機関・団体との情報交換を充実し、不審者情報等を町のホームページや電子メール等により保護者や地域、関係団体に情報提供。 ・子どもが交通事故や犯罪の被害に遭わないようするための講習を実施。 ・学校、保護者、地域が連携して、登下校を含めた学校内外の安全保持に努める。			・学校警察連絡協議会から情報提供された不審者情報を、区長会や民生委員等の関係団体、保護者や地域住民に情報提供した。 ・各校において、交通安全教室や不審者侵入防止訓練等を実施した。 ・各校で通学路点検や地域フォーラム等を実施し、学校内外の安全保持について情報交換を行った。	B
	生涯	・子どもSOS事業推進研修会を年1回開催する。			・子どもSOS事業推進研修会を2月14日に開催。	B
平成29年度 (実績)	町民	・交通安全、防犯出前講座の実施。 ・学校・地域・関係団体と協力し子どもの見守り活動の実施。 ・交通安全・防犯対策、犯罪発生状況などの情報提供			・小学生自転車交通安全教室の開催（2回） ・交通安全街頭見守りの実施（春・秋 2回） ・関係団体と合同パトロール、啓発活動を実施した。	B
	学校	・子どもを犯罪等の被害から守るために、関係機関・団体との情報交換を充実し、不審者情報等を町のホームページや電子メール等により保護者や地域、関係団体に情報提供。 ・子どもが交通事故や犯罪の被害に遭わないようするための講習を実施。 ・学校、保護者、地域が連携して、登下校を含めた学校内外の安全保持に努める。			・学校警察連絡協議会から情報提供された不審者情報を、区長会や民生委員等の関係団体、保護者や地域住民に情報提供した。 ・各校において、交通安全教室や不審者侵入防止訓練等を実施した。 ・各校で通学路点検や地域フォーラム等を実施し、学校内外の安全保持について情報交換を行った。	B
	生涯	・子どもSOS事業推進研修会を年1回開催する。			・子どもSOS事業推進研修会を2月8日に開催。	B
平成30年度 (予定)	町民	・交通安全、防犯出前講座の実施。 ・学校・地域・関係団体と協力し子どもの見守り活動の実施。 ・交通安全・防犯対策、犯罪発生状況などの情報提供				
	学校	・子どもを犯罪等の被害から守るために、関係機関・団体との情報交換を充実し、不審者情報等を町のホームページや電子メール等により保護者や地域、関係団体に情報提供。 ・子どもが交通事故や犯罪の被害に遭わないようするための講習を実施。 ・学校、保護者、地域が連携して、登下校を含めた学校内外の安全保持に努める。				
	生涯	・子どもSOS事業推進研修会を年1回開催する。				
平成31年度 (予定)	町民	・交通安全、防犯出前講座の実施。 ・学校・地域・関係団体と協力し子どもの見守り活動の実施。 ・交通安全・防犯対策、犯罪発生状況などの情報提供				
	学校	・子どもを犯罪等の被害から守るために、関係機関・団体との情報交換を充実し、不審者情報等を町のホームページや電子メール等により保護者や地域、関係団体に情報提供。 ・子どもが交通事故や犯罪の被害に遭わないようするための講習を実施。 ・学校、保護者、地域が連携して、登下校を含めた学校内外の安全保持に努める。				
	生涯	・子どもSOS事業推進研修会を年1回開催する。				

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			52
事業名	気軽に相談できる環境の整備		スポーツ健康課 子育て支援課
基本目標	4	地域が支える子育て環境づくり	
施策の方向	4-1	子育て相談体制の充実	

当初計画						
事業概要	スポーツ ・対象年齢毎の乳幼児健康診査や健康相談以外にも、保健センターに常駐する保健師・管理栄養士が随時電話や訪問（つどいの広場等）、面接などにより保健指導を行います。					
	子育て ・子育て情報などの問い合わせなどをインターネット等で気軽に行えるような体制づくりを進めます。また、つどいの広場でも子育てアドバイザーのほか、保健師や子ども発達相談員による育児相談を行います。					
目標値	スポーツ ・継続実施					
	子育て ・継続実施					
区分	<table><tr><td>新規</td><td>継続</td><td>拡充</td><td>完了 （事業終了）</td><td>その他</td></tr></table>	新規	継続	拡充	完了 （事業終了）	その他
新規	継続	拡充	完了 （事業終了）	その他		

進捗状況		評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）			
年度		年度別事業目標	実績	評価	
平成27年度 (実績)	スポーツ	・面接、電話、文書による健康相談及び保健指導。	・妊婦 231人、産婦209人 ・未熟児 9人、乳児241人、幼児170人	B	
	子育て	・つどいの広場の開催（めばえ・東部）10日/週 ・つどいの広場「保健師の育児相談」12回/年 ・つどいの広場「子ども発達相談員の育児相談」12回/年	・つどいの広場（めばえ・東部）10日/週 （めばえ291回 14,175人、東部203回 3,667人） ・つどいの広場「保健師の育児相談」24回/年 （めばえ12回 45人、東部12回 29人） ・つどいの広場「子ども発達相談員の育児相談」24回/年 （めばえ12回 10人、東部12回 13人）	B	
平成28年度 (実績)	スポーツ	・面接、電話、文書による健康相談及び保健指導。	・妊婦 361人、産婦199人 ・未熟児22人、乳児210人、幼児109人	B	
	子育て	・つどいの広場の開催（めばえ・東部）10日/週 ・つどいの広場「保健師等の育児相談」12回/年 ・つどいの広場「子ども発達相談員の育児相談」12回/年	・つどいの広場（めばえ・東部）10日/週 （めばえ293回 13,636人、東部204回 3,526人） ・つどいの広場「保健師の育児相談」24回/年 （めばえ12回 33人、東部12回 24人） ・つどいの広場「子ども発達相談員の育児相談」24回/年 （めばえ12回 7人、東部12回 15人）	B	
平成29年度 (実績)	スポーツ	・面接、電話、文書による健康相談及び保健指導	・妊婦 308人、産婦260人 ・未熟児26人、乳児174人、幼児82人	B	
	子育て	・つどいの広場の開催（めばえ・東部）10日/週 ・つどいの広場「保健師等の育児相談」12回/年 ・つどいの広場「子ども発達相談員の育児相談」12回/年	・つどいの広場（めばえ・東部）10日/週 （めばえ293回 9,780人、東部201回 4,011人） ・つどいの広場「保健師の育児相談」24回/年 （めばえ12回 25人、東部12回 22人） ・つどいの広場「子ども発達相談員の育児相談」24回/年 （めばえ12回 6人、東部12回 13人）	B	
平成30年度 (予定)	スポーツ	・面接、電話、文書による健康相談及び保健指導			
	子育て	・つどいの広場の開催（めばえ・東部）10日/週 ・つどいの広場「保健師等の育児相談」12回/年 ・つどいの広場「子ども発達相談員の育児相談」12回/年			
平成31年度 (予定)	スポーツ	・面接、電話、文書による健康相談及び保健指導			
	子育て	・つどいの広場の開催（めばえ・東部）10日/週 ・つどいの広場「保健師等の育児相談」12回/年 ・つどいの広場「子ども発達相談員の育児相談」12回/年			

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			53
事業名	子どもの病気や発育の相談体制		スポーツ健康課 子育て支援課
基本目標	4	地域が支える子育て環境づくり	
施策の方向	4-1	子育て相談体制の充実	

当初計画						
事業概要	スポーツ	・対象年齢毎の乳幼児健康診査や健康相談以外にも、保健センターに常駐する保健師・管理栄養士が随時電話や訪問（つどいの広場等）、面接などにより保健指導を行います。				
	子育て	・子育て支援総合センターに専門の相談員を常駐させることにより、子育て中で生じるさまざまな問題などに対して適切な対応を行います。				
目標値	スポーツ	・継続実施				
	子育て	・継続実施				
区分		新規	継続	拡充	完了 (事業終了)	その他

進捗状況		評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）			
年度		年度別事業目標	実績	評価	
平成27年度 (実績)	スポーツ	・面接、電話、文書による健康相談及び保健指導。	・妊婦 231人、産婦209人 ・未熟児 9人、乳児241人、幼児170人	B	
	子育て	・子ども発達相談 100件/年。	・子ども発達相談 192件/年	B	
平成28年度 (実績)	スポーツ	・面接、電話、文書による健康相談及び保健指導。	・妊婦 361人、産婦199人 ・未熟児22人、乳児210人、幼児109人	B	
	子育て	・子ども発達相談 100件/年。	・子ども発達相談 218件/年	B	
平成29年度 (実績)	スポーツ	・面接、電話、文書による健康相談及び保健指導。	・妊婦 308人、産婦260人 ・未熟児26人、乳児174人、幼児82人	B	
	子育て	・子ども発達相談 100件/年。	・子ども発達相談 265件/年	B	
平成30年度 (予定)	スポーツ	・面接、電話、文書による健康相談及び保健指導。			
	子育て	・子ども発達相談 100件/年。			
平成31年度 (予定)	スポーツ	・面接、電話、文書による健康相談及び保健指導。			
	子育て	・子ども発達相談 100件/年。			

評価Cの場合	
未着手等の理由と 今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			54
事業名	各園等における育児相談		子育て支援課
基本目標	4	地域が支える子育て環境づくり	
施策の方向	4-1	子育て相談体制の充実	

当初計画				
事業概要	・気軽に相談できる環境を整えるために、町内の保育所、幼稚園において、研修等で得た専門的な知識と豊富な経験を持つ職員等をコーディネーターやそだれんトレーナーとして配置し、子育て家庭を支援する体制づくりを進めます。			
目標値	・各園1人ずつ配置（コーディネーター）			
区分	新規	継続	拡充	完了 （事業終了）

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）			
年度	年度別事業目標	実績	評価	
平成27年度 （実績）	・町内保育所・幼稚園等において、研修等で得た専門的な知識と豊富な経験を持つ職員等を中心に、子育て家庭からの子どものしつけ等についての相談体制、支援体制づくりを進める。	・研修講座等受講者の各園配置状況 大磯幼稚園 2人 国府幼稚園 2人 たかとり幼稚園 2人 国府保育園 3人 ・研修受講者を中心に、子どものしつけ等について講演を実施。 幼稚園で保育参観時に実施。 子育て支援総合センターで土曜日に実施。	B	
平成28年度 （実績）	・町内保育所・幼稚園等において、研修等で得た専門的な知識と豊富な経験を持つ職員等を中心に、子育て家庭からの子どものしつけ等についての相談体制、支援体制づくりを進める。	・研修講座等受講者の各園配置状況 大磯幼稚園 3人 国府幼稚園 3人 たかとり幼稚園 4人 国府保育園 3人 ・研修受講者を中心に、子どものしつけ等について講演を実施。 幼稚園で保育参観時に実施。 子育て支援総合センターで土曜日に実施。	B	
平成29年度 （実績）	・町内保育所・幼稚園等において、研修等で得た専門的な知識と豊富な経験を持つ職員等を中心に、子育て家庭からの子どものしつけ等についての相談体制、支援体制づくりを進める。 ・幼児版ライセンスの取得に向けた取り組みを進める。	・研修講座等受講者の各園配置状況 大磯幼稚園 4人 国府幼稚園 4人 たかとり幼稚園 4人 国府保育園 4人 ・研修受講者を中心に、子どものしつけ等について講演を実施。 幼稚園で保育参観時に実施。 子育て支援総合センターで土曜日に実施。	B	
平成30年度 （予定）	・町内保育所・幼稚園等において、研修等で得た専門的な知識と豊富な経験を持つ職員等を中心に、子育て家庭からの子どものしつけ等についての相談体制、支援体制づくりを進める。 ・幼児版ライセンスの取得に向けた取り組みを進め、ライセンス取得者をコーディネーターとして配置していく。			
平成31年度 （予定）	・町内保育所・幼稚園等において、研修等で得た専門的な知識と豊富な経験を持つ職員等を中心に、子育て家庭からの子どものしつけ等についての相談体制、支援体制づくりを進める。 ・幼児版ライセンスの取得に向けた取り組みを進め、ライセンス取得者をコーディネーターとして配置していく。			

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			55
事業名	妊婦、乳幼児訪問		スポーツ健康課 子育て支援課
基本目標	4	地域が支える子育て環境づくり	
施策の方向	4-1	子育て相談体制の充実	

当初計画						
事業概要	スポーツ	・初めて出産した方を助産師が訪問し、乳児の発育・発達状況、母親の産後の健康管理や育児について保健指導を行います。第2子以降の方へも希望があれば訪問します。				
	子育て	・「こんにちは赤ちゃん事業」として、民生委員・児童委員や主任児童委員が第2子以降の方を訪問し、育児の不安などを聞き、必要に応じて保健師等が訪問指導します。 ・2歳児のいる家庭を民生委員児童委員や主任児童委員が訪問（2歳児全戸訪問事業「にこにこ子育て応援団」）することで、育児の不安や悩みをお聞きし必要に応じて関係機関と連携し、地域社会とつながり、子育て支援に関する情報提供等を行っていきます。				
目標値	スポーツ	・全数把握、全数訪問				
	子育て	・こんにちは赤ちゃん事業（乳児全戸訪問事業）訪問率100% ・2歳児全戸訪問事業「にこにこ子育て応援団」訪問率100%				
区分		新規	継続	拡充	完了 （事業終了）	その他

進捗状況		評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）			
年度		年度別事業目標	実績	評価	
平成27年度 (実績)	スポーツ	新生児・未熟児訪問の実施。	- 新生児訪問 85回 - 多胎児 1回 (第2子以降の)未熟児訪問 12回 - 町保健師訪問 38回	B	
	子育て	「こんにちは赤ちゃん事業」として、民生委員・児童委員や主任児童委員が第2子以降の方を訪問し、育児の不安などを聞き、必要に応じて保健師等が訪問指導。 2歳児のいる家庭を民生委員児童委員や主任児童委員が訪問（2歳児全戸訪問事業「にこにこ子育て応援団」）することで、育児の不安や悩みをお聞きし必要に応じて関係機関と連携し、地域社会とつながり、子育て支援に関する情報提供等を行う。	- こんにちは赤ちゃん事業 訪問率74.7% 2歳児全戸訪問事業 訪問率90.4%	B	
平成28年度 (実績)	スポーツ	新生児・未熟児訪問の実施。	- 新生児訪問 90回 - 多胎児 なし (第2子以降の)未熟児訪問 4回 (第2子以降の)町保健師訪問 9回	B	
	子育て	「こんにちは赤ちゃん事業」として、民生委員・児童委員や主任児童委員が第2子以降の方を訪問し、育児の不安などを聞き、必要に応じて保健師等が訪問指導。 2歳児のいる家庭を民生委員児童委員や主任児童委員が訪問（2歳児全戸訪問事業「にこにこ子育て応援団」）することで、育児の不安や悩みをお聞きし必要に応じて関係機関と連携し、地域社会とつながり、子育て支援に関する情報提供等を行う。	- こんにちは赤ちゃん事業 訪問率87.8% 2歳児全戸訪問事業 訪問率87.7%	B	
平成29年度 (実績)	スポーツ	新生児・未熟児訪問の実施。	- 新生児訪問 80回 - 多胎児 1回 - 町保健師訪問 17回	B	
	子育て	「こんにちは赤ちゃん事業」として、民生委員・児童委員や主任児童委員が第2子以降の方を訪問し、育児の不安などを聞き、必要に応じて保健師等が訪問指導。 2歳児のいる家庭を民生委員児童委員や主任児童委員が訪問（2歳児全戸訪問事業「にこにこ子育て応援団」）することで、育児の不安や悩みをお聞きし必要に応じて関係機関と連携し、地域社会とつながり、子育て支援に関する情報提供等を行う。	- こんにちは赤ちゃん事業 訪問率87.8% 2歳児全戸訪問事業 訪問率85.1%	B	
平成30年度 (予定)	スポーツ	新生児・未熟児訪問の実施。			
	子育て	「こんにちは赤ちゃん事業」として、民生委員・児童委員や主任児童委員が第2子以降の方を訪問し、育児の不安などを聞き、必要に応じて保健師等が訪問指導。 2歳児のいる家庭を民生委員児童委員や主任児童委員が訪問（2歳児全戸訪問事業「にこにこ子育て応援団」）することで、育児の不安や悩みをお聞きし必要に応じて関係機関と連携し、地域社会とつながり、子育て支援に関する情報提供等を行う。			
平成31年度 (予定)	スポーツ	新生児・未熟児訪問の実施。			
	子育て	「こんにちは赤ちゃん事業」として、民生委員・児童委員や主任児童委員が第2子以降の方を訪問し、育児の不安などを聞き、必要に応じて保健師等が訪問指導。 2歳児のいる家庭を民生委員児童委員や主任児童委員が訪問（2歳児全戸訪問事業「にこにこ子育て応援団」）することで、育児の不安や悩みをお聞きし必要に応じて関係機関と連携し、地域社会とつながり、子育て支援に関する情報提供等を行う。			

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			56
事業名	不登校やいじめの相談		学校教育課
基本目標	4	地域が支える子育て環境づくり	
施策の方向	4-1	子育て相談体制の充実	

当初計画				
事業概要	・心理的・情緒的問題を抱えて学校に登校できない児童・生徒及びその保護者に対する支援や指導を行うため「適応指導教室」を運営します。 ・「大磯町いじめ防止基本方針」に基づき、学校や教育研究所で、いじめに係る相談を実施します。			
目標値	・継続実施			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）			
年度	年度別事業目標	実績	評価	
平成27年度 (実績)	・心理的・情緒的問題を抱えて学校に登校できない児童・生徒及びその保護者に対する支援や指導を行うため「適応指導教室」を運営する。 ・「大磯町いじめ防止基本方針」に基づき、学校や教育研究所で、いじめに係る相談を実施。	・心理的・情緒的問題を抱えて学校に登校できない児童・生徒及びその保護者に対する支援や指導を行うため「適応指導教室」を運営し、子ども達が再び学校に登校できるよう支援した。 ・「大磯町いじめ防止基本方針」に基づき、学校ではアンケートや面談、教育研究所では、教育相談と関連していじめに係る相談を実施した。	B	
平成28年度 (実績)	・心理的・情緒的問題を抱えて学校に登校できない児童・生徒及びその保護者に対する支援や指導を行うため「適応指導教室」を運営する。 ・「大磯町いじめ防止基本方針」に基づき、学校や教育研究所で、いじめに係る相談を実施。	・心理的・情緒的問題を抱えて学校に登校できない児童・生徒及びその保護者に対する支援や指導を行うため「適応指導教室」を運営し、子ども達が再び学校に登校できるよう支援した。 ・「大磯町いじめ防止基本方針」に基づき、学校ではアンケートや面談、教育研究所では、教育相談と関連していじめに係る相談を実施した。	B	
平成29年度 (実績)	・心理的・情緒的問題を抱えて学校に登校できない児童・生徒及びその保護者に対する支援や指導を行うため「適応指導教室」を運営する。 ・「大磯町いじめ防止基本方針」に基づき、学校や教育研究所で、いじめに係る相談を実施。	・心理的・情緒的問題を抱えて学校に登校できない児童・生徒及びその保護者に対する支援や指導を行うため「適応指導教室」を運営し、子ども達が再び学校に登校できるよう支援した。 ・「大磯町いじめ防止基本方針」に基づき、学校ではアンケートや面談、教育研究所では、教育相談と関連していじめに係る相談を実施した。	B	
平成30年度 (予定)	・心理的・情緒的問題を抱えて学校に登校できない児童・生徒及びその保護者に対する支援や指導を行うため「適応指導教室」を運営する。 ・「大磯町いじめ防止基本方針」に基づき、学校や教育研究所で、いじめに係る相談を実施。			
平成31年度 (予定)	・心理的・情緒的問題を抱えて学校に登校できない児童・生徒及びその保護者に対する支援や指導を行うため「適応指導教室」を運営する。 ・「大磯町いじめ防止基本方針」に基づき、学校や教育研究所で、いじめに係る相談を実施。			

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			57
事業名	つどいの広場事業		子育て支援課
基本目標	4	地域が支える子育て環境づくり	
施策の方向	4-2	子育て支援の充実	

当初計画				
事業概要	・乳幼児を子育て中の親子が気軽に集まって子育てに関する情報を交換したり、悩みを分かち合ったりすることができる子育て支援総合センターにおいて「つどいの広場」を開設し、東部地区に「つどいの広場」を設置します。また、子育てアドバイザー等による育児相談を行います。 ・東部つどいの広場を生涯学習館、地域の会館、保健センターで実施します。			
目標値	・利用者数15,000人/年			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）			
年度	年度別事業目標	実績	評価	
平成27年度 (実績)	・利用者数 15,000人/年	・利用者数 17,842件/年 (めばえ：14,175人/年、東部：3,667件/年)	B	
平成28年度 (実績)	・利用者数 15,000人/年	・利用者数 17,162件/年 (めばえ：13,636人/年、東部：3,526件/年)	B	
平成29年度 (実績)	・利用者数 15,000人/年	・利用者数 15,670件/年 (めばえ：11,659人/年、東部：4,011件/年)	B	
平成30年度 (予定)	・利用者数 15,000人/年			
平成31年度 (予定)	・利用者数 15,000人/年			

評価Cの場合				
未着手等の理由と 今後の対応等				

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			58
事業名	子育て支援センターの設置（東部）		子育て支援課
基本目標	4	地域が支える子育て環境づくり	
施策の方向	4-2	子育て支援の充実	

当初計画				
事業概要	東部地区で臨時的に実施しているつどいの広場を集約し、子育てに関する事業を総合的に実施する施設を東部地区に設置します。			
目標値	1 か所設置（平成29年度）			
区分	新規	継続	拡充	完了 （事業終了）

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 （実績）	（仮称）東部子育て支援センター整備事業に向けた準備を進める。	未設置	C
平成28年度 （実績）	（仮称）東部子育て支援センター整備事業に向けた準備を進める。	次年度以降の整備内容（敷地境界確定測量、建物解体工事等）の実現に向けた検討・調整を行った。	B
平成29年度 （実績）	敷地境界確定測量、建物解体工事、外構取壊工事、敷地整地作業	整備予定地の敷地測量及び境界確定を実施し、既存建物を解体撤去工事を行い敷地整地を行った。	B
平成30年度 （予定）	設計及び整備工事、運営事業者の選定		
平成31年度 （予定）	供用開始		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			59
事業名	保育所開放保育、幼稚園施設開放		子育て支援課
基本目標	4	地域が支える子育て環境づくり	
施策の方向	4-2	子育て支援の充実	

当初計画				
事業概要	・保育所や幼稚園の施設機能や保育士及び幼稚園教諭の人材を活用し、地域の親子を対象とした遊び場の提供や育児相談などの取り組みを推進します。			
目標値	・体験入園月1回実施			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）			
年度	年度別事業目標	実績	評価	
平成27年度 (実績)	・町立幼稚園及び国府保育園、私立保育所における園庭開放を実施。 ・町立幼稚園において、体験入園、遊び場開放を実施。	・町立幼稚園において、曜日と時間を定め、園庭開放を実施。 ・町立幼稚園において、土・日・休日・長期休業中に遊び場を開放。 ・町立幼稚園及び私立こいそ幼稚園において、事前申し込みにより体験入園を月1回実施。	B	
平成28年度 (実績)	・町立幼稚園及び国府保育園、私立保育所等における園庭開放を実施。 ・町立幼稚園及び私立幼稚園・認定こども園において、体験入園、遊び場開放を実施。	・町立幼稚園及び認定こども園あおばとにおいて、園で曜日と時間を定め、園庭開放を実施。 ・町立幼稚園において、土・日・休日・長期休業中に遊び場を開放。 ・町立幼稚園、私立こいそ幼稚園及び認定こども園あおばとにおいて、事前申し込みにより体験入園を月1回実施。	A	
平成29年度 (実績)	・町立幼稚園及び国府保育園、私立保育所等における園庭開放を実施。 ・町立幼稚園及び私立幼稚園・認定こども園において、体験入園、遊び場開放を実施。	・町立幼稚園及び認定こども園あおばとにおいて、園で曜日と時間を定め、園庭開放を実施。 ・町立幼稚園において、土・日・休日・長期休業中に遊び場を開放。 ・町立幼稚園、私立こいそ幼稚園及び認定こども園あおばとにおいて、事前申し込みにより体験入園を月1回実施。	A	
平成30年度 (予定)	・町立幼稚園及び国府保育園、私立保育所等における園庭開放を実施。 ・町立幼稚園及び私立幼稚園・認定こども園において、体験入園、遊び場開放を実施。			
平成31年度 (予定)	・町立幼稚園及び国府保育園、私立保育所等における園庭開放を実施。 ・町立幼稚園及び私立幼稚園・認定こども園において、体験入園、遊び場開放を実施。			

評価Cの場合				
未着手等の理由と今後の対応等				

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			60
事業名	一時預かりの促進		子育て支援課
基本目標	4	地域が支える子育て環境づくり	
施策の方向	4-2	子育て支援の充実	

当初計画				
事業概要	・保護者の就労、通院、研修など、あるいは、病気や出産で入院する等、家庭での未就学児前の保育が一時的に困難となった場合に、民間保育所において一時的に保育を行います。 ・地域の実態や保護者の希望に応じて、教育標準時間の後に預かり保育を実施します。			
目標値	・一時保育事業を私立保育所において実施 ・延長保育を私立保育所・認定こども園・小規模保育施設において実施 ・病後児保育を認定こども園において実施 ・教育標準時間後の預かり保育として、公立幼稚園において週3回、私立幼稚園において週5回実施			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）			
年度	年度別事業目標	実績	評価	
平成27年度 (実績)	・一時保育事業を私立保育所において実施。 ・公立幼稚園、私立幼稚園において、預かり保育を実施。	・一時保育事業は、サンキッズ大磯において実施。非在園児の受入れも行い、年間延べ1,767人が利用。 ・町立幼稚園3園において、休業中を除く週3回実施。年間延べ1,463人が利用。 ・私立こいそ幼稚園において、一時預かり事業を実施。年間延べ2,728人が利用。	A	
平成28年度 (実績)	・一時保育事業を私立保育所において実施。 ・延長保育を私立保育所・認定こども園・小規模保育施設において実施。 ・公立幼稚園、私立幼稚園において、預かり保育を実施。 ・病後児保育を認定こども園において実施。	・一時保育事業は、サンキッズ大磯において実施。非在園児の受入れも行い、年間延べ1,637人が利用。 ・延長保育事業は、サンキッズ大磯、認定こども園あおばと及びもあなこびとのこやにおいて実施。年間延べ人数でサンキッズ大磯は4664人、認定こども園あおばとは651人、もあなこびとのこやは20人が利用。 ・預かり保育を町立幼稚園3園において、休業中を除く週3回、私立こいそ幼稚園及び認定こども園あおばとにおいて週5回実施。年間延べ人数で町立幼稚園3園は1,356人、こいそ幼稚園は2,998人、認定こども園あおばとは年間延べ65人が利用。 ・病後児保育を認定こども園あおばとにおいて実施。年間延べ34人が利用。	A	
平成29年度 (実績)	・私立保育所において、一時預かり事業を実施。 ・延長保育を私立保育所・認定こども園・小規模保育施設において実施。 ・公立幼稚園、私立幼稚園において、預かり保育を実施。 ・病後児保育を認定こども園において実施。	・一時保育事業は、サンキッズ大磯において実施。非在園児の受入れも行い、年間延べ1,686人が利用。 ・延長保育事業は、サンキッズ大磯、認定こども園あおばと及びもあなこびとのこやにおいて実施。年間延べ人数でサンキッズ大磯は6,652人、認定こども園あおばとは612人、もあなこびとのこやは213人が利用。 ・預かり保育を町立幼稚園3園において、休業中を除く週3回、私立こいそ幼稚園及び認定こども園あおばとにおいて週5回実施。年間延べ人数で町立幼稚園3園は1,192人、こいそ幼稚園は2,788人、認定こども園あおばとは年間延べ1,434人が利用。 ・病後児保育を認定こども園あおばとにおいて実施。年間延べ29人が利用。	A	
平成30年度 (予定)	・私立保育所において、一時預かり事業を実施。 ・延長保育を私立保育所・認定こども園・小規模保育施設において実施。 ・公立幼稚園、私立幼稚園において、預かり保育を実施。 ・病後児保育を認定こども園において実施。			
平成31年度 (予定)	・私立保育所において、一時預かり事業を実施。 ・延長保育を私立保育所・認定こども園・小規模保育施設において実施。 ・公立幼稚園、私立幼稚園において、預かり保育を実施。 ・病後児保育を認定こども園において実施。			

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			61
事業名	子育て短期支援事業の充実		子育て支援課
基本目標	4	地域が支える子育て環境づくり	
施策の方向	4-2	子育て支援の充実	

当初計画				
事業概要	・保護者が病気になった場合などに一時的に児童を短期間（7日間程度）預かる「ショートステイ」の施設を調整していきます。			
目標値	・設置数1か所（平成28年度）			
区分	新規	継続	拡充	完了 （事業終了） その他

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 （実績）	・子育て短期支援事業の実施に向けた環境整備を検討。	未設置	C
平成28年度 （実績）	・子育て短期支援事業の実施に向けた環境整備を検討。	未設置	C
平成29年度 （実績）	・子育て短期支援事業の実施に向けた環境整備を検討。	未設置	C
平成30年度 （予定）	・子育て短期支援事業の実施に向けた環境整備を検討。		
平成31年度 （予定）	・子育て短期支援事業の実施に向けた環境整備を検討。		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	平成30年度以降の開設については、利用者のニーズ等を含め、総合的に判断していく。

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			62
事業名	主任児童委員、民生委員・児童委員の活動		福祉課
基本目標	4	地域が支える子育て環境づくり	
施策の方向	4-2	子育て支援の充実	

当初計画				
事業概要	・子育ての不安を抱える保護者に民生委員・児童委員の役割を周知し、地域で子育てに関する相談のしやすい環境を整備します。 ・月2回親子が気軽にのんびり集まれる場として「にこにこクラブ」を開催し、親子遊びをしながら日常生活での困ったことなど身近な相談支援を行います。 ・「こんにちは赤ちゃん事業」として、児童委員が第2子以降の方を訪問し、育児の不安などを聞き、必要に応じて保健師等が訪問指導します。			
目標値	・継続実施			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	・親子が気軽に集える「にこにこクラブ」を月2回開催。 ・「こんにちは赤ちゃん事業」として、第2子以降の子どもが生まれた家庭を訪問。 ・「にこにこ子育て応援団」として、2歳児の子どもがいる家庭を訪問。 ・園児、児童、生徒の登下校時の街頭見守り。	・「にこにこクラブ」を23回開催し、相談のしやすい安心して集える子育ての場を提供した。 ・「こんにちは赤ちゃん事業」では56件、2歳児全戸訪問事業「にこにこ子育て応援団」では189件の家庭を訪問し、子育て情報を提供したり、身近な相談支援を図った。 ・春、秋の大磯町園児・児童・生徒の見守り重点期間に合わせて、登下校時の街頭見守りに協力した。	B
平成28年度 (実績)	・「こんにちは赤ちゃん事業」として、第2子以降の子どもが生まれた家庭を訪問。 ・「にこにこ子育て応援団」として、2歳児の子どもがいる家庭を訪問。 ・園児、児童、生徒の登下校時の街頭見守り。 ・身近な地域のつなぎ役として、活動の周知を図る。	・「こんにちは赤ちゃん事業」では60件、2歳児全戸訪問事業「にこにこ子育て応援団」では148件の家庭を訪問し、子育て情報を提供したり、身近な相談支援を図った。 ・春、秋の大磯町園児・児童・生徒の見守り重点期間に合わせて、登下校時の街頭見守りに協力した。 ・児童委員、主任児童委員の周知のチラシを保育園、幼稚園、小学校、中学校の保護者へ配布した。	B
平成29年度 (実績)	・「こんにちは赤ちゃん事業」として、第2子以降の子どもが生まれた家庭を訪問。 ・「にこにこ子育て応援団」として、2歳児の子どもがいる家庭を訪問。 ・園児、児童、生徒の登下校時の街頭見守り。 ・身近な地域のつなぎ役として、活動の周知を図る。	・「こんにちは赤ちゃん事業」では87件、2歳児全戸訪問事業「にこにこ子育て応援団」では178件の家庭を訪問し、子育て情報を提供したり、身近な相談支援を図った。 ・春、秋の大磯町園児・児童・生徒の見守り重点期間に合わせて、登下校時の街頭見守りに協力した。 ・地域家庭会や地区懇談会等へ出席し、地域・学校等との連携を図った。	B
平成30年度 (予定)	・「こんにちは赤ちゃん事業」として、第2子以降の子どもが生まれた家庭を訪問。 ・「にこにこ子育て応援団」として、2歳児の子どもがいる家庭を訪問。 ・園児、児童、生徒の登下校時の街頭見守り。 ・身近な地域のつなぎ役として、活動の周知を図る。		
平成31年度 (予定)	・「こんにちは赤ちゃん事業」として、第2子以降の子どもが生まれた家庭を訪問。 ・「にこにこ子育て応援団」として、2歳児の子どもがいる家庭を訪問。 ・園児、児童、生徒の登下校時の街頭見守り。 ・身近な地域のつなぎ役として、活動の周知を図る。		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			63
事業名	ネット等による情報発信		子育て支援課
基本目標	4	地域が支える子育て環境づくり	
施策の方向	4-3	子育て情報の発信	

当初計画				
事業概要	- 各種子育て支援サービスについての町ホームページの充実を図ります。 - 大磯町行政情報メール配信サービスを利用し、子育て関連の情報発信を行います。			
目標値	・継続実施			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	- 町ホームページでの子育て関連の情報発信 24件以上/年 - メール配信サービスでの子育て関連の情報発信 36件以上/年	- 町ホームページでの子育て関連の情報発信 25件/年 - メール配信サービスでの子育て関連の情報発信 53件/年	B
平成28年度 (実績)	- 町ホームページでの子育て関連の情報発信 24件以上/年 - メール配信サービスでの子育て関連の情報発信 36件以上/年	- 町ホームページでの子育て関連の情報発信 27件/年 - メール配信サービスでの子育て関連の情報発信 39件/年	B
平成29年度 (実績)	- 町ホームページでの子育て関連の情報発信 24件以上/年 - メール配信サービスでの子育て関連の情報発信 36件以上/年	- 町ホームページでの子育て関連の情報発信 24件/年 - メール配信サービスでの子育て関連の情報発信 41件/年	B
平成30年度 (予定)	- 町ホームページでの子育て関連の情報発信 24件以上/年 - メール配信サービスでの子育て関連の情報発信 36件以上/年		
平成31年度 (予定)	- 町ホームページでの子育て関連の情報発信 24件以上/年 - メール配信サービスでの子育て関連の情報発信 36件以上/年		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			64
事業名	子育て情報誌（ガイドブック）の発行		子育て支援課
基本目標	4	地域が支える子育て環境づくり	
施策の方向	4-3	子育て情報の発信	

当初計画				
事業概要	「子育てガイドブック」記載内容のさらなる充実をめざし、子育て中の母親だけでなく、父親や祖父母世代が子育て支援サービスを利用しやすくなるように努めます。			
目標値	継続実施			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	官民協働事業により、「子育てガイドブック」を平成27年6月に刷新。	子育てガイドブック3,000部発行。 (配布場所:本庁舎、子育て支援総合センター、国府支所、幼稚園、保育園、図書館等)	A
平成28年度 (実績)	「子育てガイドブック」記載内容の見直し。	次年度改定に向けて、記載内容の見直し及び情報の収集を実施。	B
平成29年度 (実績)	「子育てガイドブック」の刷新。	子育てガイドブック3,000部発行。 (配布場所:本庁舎、子育て支援総合センター、国府支所、幼稚園、保育園、図書館等)	A
平成30年度 (予定)	「子育てガイドブック」記載内容の見直し。		
平成31年度 (予定)	「子育てガイドブック」の刷新。		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			65
事業名	保育ボランティアの活動支援		子育て支援課
基本目標	4	地域が支える子育て環境づくり	
施策の方向	4-4	子育て世代の社会参加への支援	

当初計画				
事業概要	乳幼児を保育する保護者の社会参加の促進を手助けすることで、孤立しない子育て環境づくりに取り組みます。子育て中の親を対象とした事業を実施した場合に乳幼児の見守り保育等を行う子育て支援のボランティアを奨励するとともに、活動の担い手の育成を推進します。			
目標値	継続実施			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）			
年度	年度別事業目標	実績	評価	
平成27年度 (実績)	乳幼児を保育する保護者の社会参加の促進を手助けすることで、孤立しない子育て環境づくりに取り組む。子育て中の親を対象とした事業を実施した場合に、乳幼児の見守り保育等を行う子育て支援ボランティアを奨励するとともに、活動の担い手の育成を推進する。	- 年間依頼数 114回 - 保育ボランティア活動人数 延べ335人 - 子どもの預かり児童数 延べ494人	B	
平成28年度 (実績)	乳幼児を保育する保護者の社会参加の促進を手助けすることで、孤立しない子育て環境づくりに取り組む。子育て中の親を対象とした事業を実施した場合に、乳幼児の見守り保育等を行う子育て支援ボランティアを奨励するとともに、活動の担い手の育成を推進する。	- 年間依頼数 85回 - 保育ボランティア活動人数 延べ245人 - 子どもの預かり児童数 延べ368人	B	
平成29年度 (実績)	乳幼児を保育する保護者の社会参加の促進を手助けすることで、孤立しない子育て環境づくりに取り組む。子育て中の親を対象とした事業を実施した場合に、乳幼児の見守り保育等を行う子育て支援ボランティアを奨励するとともに、活動の担い手の育成を推進する。	- 年間依頼数 82回 - 保育ボランティア活動人数 延べ217人 - 子どもの預かり児童数 延べ298人	B	
平成30年度 (予定)	乳幼児を保育する保護者の社会参加の促進を手助けすることで、孤立しない子育て環境づくりに取り組む。子育て中の親を対象とした事業を実施した場合に、乳幼児の見守り保育等を行う子育て支援ボランティアを奨励するとともに、活動の担い手の育成を推進する。			
平成31年度 (予定)	乳幼児を保育する保護者の社会参加の促進を手助けすることで、孤立しない子育て環境づくりに取り組む。子育て中の親を対象とした事業を実施した場合に、乳幼児の見守り保育等を行う子育て支援ボランティアを奨励するとともに、活動の担い手の育成を推進する。			

評価Cの場合				
未着手等の理由と今後の対応等				

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			66
事業名	ファミリー・サポート・センター事業の促進		子育て支援課
基本目標	4	地域が支える子育て環境づくり	
施策の方向	4-4	子育て世代の社会参加への支援	

当初計画				
事業概要	・子どもを預けたい人と預かる人で会員組織を構成し、会員相互による育児援助活動を行うファミリー・サポート・センターの充実に努めます。また、事業の運営を民間へ委託することを視野に入れた検討を行います。			
目標値	・会員数の拡充			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	・子どもを預けたい人と預かる人で会員組織を構成し、会員相互による育児援助活動を行うファミリー・サポート・センターの充実に努める。また、事業の運営を民間へ委託することを視野に入れた検討を行う。	・活動回数 240回 ・活動時間 386時間 ・援助会員数 19人 ・依頼会員数 92人 ・両方会員 3人	B
平成28年度 (実績)	・子どもを預けたい人と預かる人で会員組織を構成し、会員相互による育児援助活動を行うファミリー・サポート・センターの充実に努める。	・活動回数 314回 ・活動時間 986時間 ・援助会員数 16人 ・依頼会員数 103人 ・両方会員 2人 ※事業の運営を民間に委託し、新たに援助内容として日常生活の支援を行う家事援助サービスを追加し、産前・産後の子育て支援の充実に図る取組を実施。	B
平成29年度 (実績)	・子どもを預けたい人と預かる人で会員組織を構成し、会員相互による育児援助活動を行うファミリー・サポート・センターの充実に努める。	・活動回数 429回 ・活動時間 1121時間 ・援助会員数 19人 ・依頼会員数 119人 ・両方会員 2人 ※事業の運営を民間に委託し、新たに援助内容として日常生活の支援を行う家事援助サービスを追加し、産前・産後の子育て支援の充実に図る取組を実施。	B
平成30年度 (予定)	・子どもを預けたい人と預かる人で会員組織を構成し、会員相互による育児援助活動を行うファミリー・サポート・センターの充実に努める。		
平成31年度 (予定)	・子どもを預けたい人と預かる人で会員組織を構成し、会員相互による育児援助活動を行うファミリー・サポート・センターの充実に努める。		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			67
事業名	待機児童解消（保育所・小規模保育の充実）		子育て支援課
基本目標	5	子育てと仕事の両立支援	
施策の方向	5-1	多様な保育サービスの提供	

当初計画				
事業概要	・民間の力を活用して、保育所若しくは認定こども園を設置し、待機児童の解消を図ります。 ・保育所の待機児童対策として、家庭的保育事業者及び小規模保育事業者を誘致します。 ・幼稚園における預かり保育の充実を進めて、短期間就労の保護者に対する子育て支援も図ります。			
目標値	・待機児童数〇人			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）			
年度	年度別事業目標	実績	評価	
平成27年度 (実績)	・平成28年度開園の認定こども園の施設整備を推進。 ・預かり保育事業の充実。 ・町立国府幼稚園の統廃合に伴う私立認定こども園の誘致に向けた取り組みを実施。	・認定こども園あおばとの開園に向け、施設整備にかかる費用の一部を補助。 ・町立幼稚園3園において、休業中を除く週3回実施。年間延べ3,956人が利用した。 ・私立こいそ幼稚園において、一時預かり事業を実施。年間延べ2,728人が利用した。 ・町立国府幼稚園の統廃合に伴う説明会を2回開催し、延べ85人の参加があった。 ・小規模保育施設「もあなこびとのこや」開所。年間延べ86人が利用した。	A	
平成28年度 (実績)	・預かり保育事業の充実。 ・町立国府幼稚園の統廃合に伴う私立認定こども園の誘致に向け、事業者選定を実施。	・町立幼稚園では、夏季休業中の3日間において、夏季保育を実施。延べ662人(66.7%)が利用した。 ・町立幼稚園3園において、休業中・夏季保育を除く週3回実施。年間延べ3,253人が利用した。 ・私立こいそ幼稚園において、一時預かり事業を実施。年間延べ2,998人が利用した。 ・新設の認定こども園あおばとにおいて、一時預かり事業を実施。年間延べ65人が利用した。 ・認定こども園設置運営事業者を公募し、選考委員会を2回開催し、選定した。	A	
平成29年度 (実績)	・預かり保育事業の充実。 ・決定した事業者による私立認定こども園の建設工事に対し、施設整備にかかる費用の一部等を補助。	・町立幼稚園では、夏季休業中の3日間において、夏季保育を実施。延べ560人(67.3%)が利用した。 ・町立幼稚園3園において、休業中・夏季保育を除く週3回実施。年間延べ3,056人が利用した。 ・私立こいそ幼稚園において、一時預かり事業を実施。年間延べ2,848人が利用した。 ・私立認定こども園あおばとにおいて、一時預かり事業を実施。年間延べ1,434人が利用した。 ・国府幼稚園北側園舎の解体工事及び私立認定こども園サンキッズ国府の新設工事に係る整備費補助を実施した。	A	
平成30年度 (予定)	・預かり保育事業の充実。 ・私立認定こども園の開園。 ・町立幼稚園において、試行的に満3歳児保育を実施。			
平成31年度 (予定)	・預かり保育事業の充実。 ・公立幼稚園・公立保育所のあり方についての検討。			

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			68
事業名	保育所・小規模保育等の事業実施の支援		子育て支援課
基本目標	5	子育てと仕事の両立支援	
施策の方向	5-1	多様な保育サービスの提供	

当初計画				
事業概要	国が定める基準により算定した公定価格に基づき、認定こども園、幼稚園、保育所に対する「施設型給付」及び小規模保育等に対する「地域型保育給付」として、財政支援を行います。			
目標値	民間保育所若しくは認定こども園 1 園誘致			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	児童保育委託料、地域型保育給付費、施設型給付費の支出。	- 保育を必要とする児童のうち、私立保育所及び管外の公立保育所に児童の保育を委託する際に「児童保育委託料」(25園、延べ2,129人)、小規模保育施設に対し「地域型保育給付費」(1園、延べ86人)を支出した。 - 子ども子育て支援新制度に移行した私立幼稚園（1号認定）及び認定こども園（1・2・3号）に在籍する児童の保育を委託する際に「施設型給付費」(29園、延べ985人)を支出した。	A
平成28年度 (実績)	- 児童保育委託料、地域型保育給付費、施設型給付費の支出。 - 町立国府幼稚園の統廃合に伴う私立認定こども園の誘致に向け、事業者選定を実施。	- 保育を必要とする児童のうち、私立保育所及び管外の公立保育所に児童の保育を委託する際に「児童保育委託料」(26園、延べ2,155人)、小規模保育施設に対し「地域型保育給付費」(1園、延べ96人)を支出した。 - 子ども子育て支援新制度に移行した私立幼稚園（1号認定）及び認定こども園（1・2・3号）に在籍する児童の保育を委託する際に「施設型給付費」(8園、延べ1,718人)を支出した。	B
平成29年度 (実績)	- 児童保育委託料、地域型保育給付費、施設型給付費の支出。 - 決定した事業者による私立認定こども園の建設工事に対し、施設整備にかかる費用の一部等を補助。	- 保育を必要とする児童のうち、私立保育所及び管外の公立保育所に児童の保育を委託する際に「児童保育委託料」(23園、延べ2,114人)、小規模保育施設に対し「地域型保育給付費」(1園、延べ110人)を支出した。 - 子ども子育て支援新制度に移行した私立幼稚園（1号認定）及び認定こども園（1・2・3号）に在籍する児童の保育を委託する際に「施設型給付費」(8園、延べ1,718人)を支出した。 - 国府幼稚園北側園舎の解体工事及び私立認定こども園サンキッズ国府の新設工事に係る整備費補助を実施した。	B
平成30年度 (予定)	- 児童保育委託料、地域型保育給付費、施設型給付費の支出。 - 私立認定こども園の開園。		
平成31年度 (予定)	児童保育委託料、地域型保育給付費、施設型給付費の支出。		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート				69	
事業名	認定こども園の普及				子育て支援課
基本目標	5	子育てと仕事の両立支援			
施策の方向	5-1	多様な保育サービスの提供			
当初計画					
事業概要	・ 民間の力を活用して、認定こども園の普及を進めていきます。				
目標値	・ 認定こども園 1 園誘致				
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)	その他
進捗状況					
評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）					
年度	年度別事業目標			実績	評価
平成27年度 (実績)	- 平成28年度開園の認定こども園の施設整備を推進。 - 町立国府幼稚園の統廃合に伴う私立認定こども園の誘致に向けた取り組みを実施。			- 認定こども園あおばとの開園に向け、施設整備にかかる費用の一部を補助。 - 町立国府幼稚園の統廃合に伴う説明会を2回開催し、延べ85人の参加があった。	A
平成28年度 (実績)	町立国府幼稚園の統廃合に伴う私立認定こども園の誘致に向け、事業者選定を実施。			認定こども園設置運営事業者を公募し、選考委員会を2回開催し、選定した。	A
平成29年度 (実績)	決定した事業者による私立認定こども園の建設工事に対し、施設整備にかかる費用の一部等を補助。			国府幼稚園北側園舎の解体工事及び私立認定こども園サンキッズ国府の新設工事に係る整備費補助を実施し、平成30年4月1日に国府幼稚園の廃止及びサンキッズ国府の開園に至る手続きを行った。	A
平成30年度 (予定)	私立認定こども園の開園。				
平成31年度 (予定)	公立幼稚園・公立保育所のあり方についての検討。				
評価Cの場合					
未着手等の理由と今後の対応等					

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			70
事業名	育休、産休明け保育の充実		子育て支援課
基本目標	5	子育てと仕事の両立支援	
施策の方向	5-1	多様な保育サービスの提供	

当初計画				
事業概要	・民間の力を活用して、保育所若しくは認定こども園の設置等による待機児童対策を図ることにより、産後休暇及び育児休業期間満了時からの円滑な保育の利用を確保するよう努めます。 ・保育施設等の情報提供や保護者の相談に対応する子育てコンシェルジュを配置し、円滑な保育の利用につなげていきます。			
目標値	・子育てコンシェルジュ3か所配置			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	・子育てコンシェルジュ3か所配置	・子育てコンシェルジュ2か所配置	B
平成28年度 (実績)	・子育てコンシェルジュ3か所配置	・子育てコンシェルジュ2か所配置	B
平成29年度 (実績)	・子育てコンシェルジュ3か所配置	・子育てコンシェルジュ2か所配置	B
平成30年度 (予定)	・子育てコンシェルジュ3か所配置		
平成31年度 (予定)	・子育てコンシェルジュ3か所配置		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			71
事業名	延長、夜間、休日保育		子育て支援課
基本目標	5	子育てと仕事の両立支援	
施策の方向	5-1	多様な保育サービスの提供	

当初計画				
事業概要	- 保護者の就労形態の多様化に対応するため、公立及び民間保育所において延長保育を行うとともに、休日における保育ニーズに応えるため、民間保育所の休日保育事業を推進します。 - 夜間保育事業については、保育ニーズを考慮した中で、検討します。			
目標値	・実施保育施設の増設			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	- 公立保育所における延長保育の実施。 - 私立保育所及び小規模保育施設における延長保育の実施。 - 私立保育所における休日保育の実施。	- 国府保育園において、延長保育を実施。年間延べ1,765人が利用。 - サンキッズ大磯において、延長保育事業を実施。年間延べ6,050人が利用。 - もあなこびとのこやにおいて、延長保育事業を実施。年間延べ245人が利用。 - サンキッズ大磯において、休日保育事業を実施。年間延べ72人が利用。	B
平成28年度 (実績)	- 公立保育所における延長保育の実施。 - 私立保育所及び小規模保育施設における延長保育の実施。 - 私立保育所における休日保育の実施。 - 実施保育施設の拡充。	- 国府保育園において、延長保育を実施。年間延べ1,637人が利用。 - サンキッズ大磯において、延長保育事業を実施。年間延べ4,664人が利用。 - もあなこびとのこやにおいて、延長保育事業を実施。年間延べ20人が利用。 - 認定こども園あおばとにおいて、延長保育事業を実施。年間延べ651人が利用。 - サンキッズ大磯において、休日保育事業を実施。年間延べ63人が利用。	A
平成29年度 (実績)	- 公立保育所における延長保育の実施。 - 私立保育所及び小規模保育施設における延長保育の実施。 - 私立保育所における休日保育の実施。 - 実施保育施設の拡充。	- 国府保育園において、延長保育を実施。年間延べ2,272人が利用。 - サンキッズ大磯において、延長保育事業を実施。年間延べ6,652人が利用。 - もあなこびとのこやにおいて、延長保育事業を実施。年間延べ213人が利用。 - 認定こども園あおばとにおいて、延長保育事業を実施。年間延べ612人が利用。 - サンキッズ大磯において、休日保育事業を実施。年間延べ186人が利用。 - 実施保育施設の拡充策として、私立認定こども園サンキッズ国府の整備費への補助を行った。	A
平成30年度 (予定)	- 公立保育所における延長保育の実施。 - 私立保育所及び小規模保育施設における延長保育の実施。 - 私立保育所における休日保育の実施。 - 実施保育施設の拡充。		
平成31年度 (予定)	- 公立保育所における延長保育の実施。 - 私立保育所及び小規模保育施設における延長保育の実施。 - 私立保育所における休日保育の実施。 - 実施保育施設の拡充。		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			72
事業名	病児、病後児保育		子育て支援課
基本目標	5	子育てと仕事の両立支援	
施策の方向	5-1	多様な保育サービスの提供	

当初計画				
事業概要	・ 児童が病気の回復期等において集団保育等が困難な期間、児童を一時的に預かる病児、病後児保育を導入します。			
目標値	・ 実施施設数 1 か所			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	・ 病後児保育事業の実施に向けた環境整備を実施。	・ 認定こども園あおばとの開園に向け、施設整備にかかる費用の一部を補助。 ・ 同認定こども園において、平成28年度6月から病後児保育を実施するための準備を行った。	A
平成28年度 (実績)	・ 病後児保育事業を開始。	・ 認定こども園あおばとにおいて平成28年6月より病後児保育事業を実施。 ・ 登録児童数35名 ・ 利用児童数34名	A
平成29年度 (実績)	・ 病後児保育事業を継続。 ・ 二宮町との連携を進める。	・ 引き続き、認定こども園あおばとにおいて病後児保育事業を実施。 ・ 登録児童数54名 ・ 利用児童数29名 ・ 二宮町との間に「病後児保育事業の広域利用に関する協定書」を締結し、平成30年度から二宮町児童の利用を可能とする手続きを行った。	A
平成30年度 (予定)	・ 病後児保育事業を継続。 ・ 二宮町児童の利用を開始。		
平成31年度 (予定)	・ 病後児保育事業を継続。		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			73
事業名	保育士の確保		子育て支援課
基本目標	5	子育てと仕事の両立支援	
施策の方向	5-1	多様な保育サービスの提供	

当初計画				
事業概要	・保育需要の増加に伴い、保育体制を支える保育士の確保に向け、国・県と連携し、体制づくりを進めていきます。			
目標値	・継続実施			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	・平成28年度開園の認定こども園の施設整備を推進 ・預かり保育事業の充実 ・町立国府幼稚園の統廃合に伴う私立認定こども園の誘致に向けた取り組みを実施	・認定こども園あおばとの開園に向け、施設整備にかかる費用の一部を補助。 ・町立幼稚園3園において、休業中を除く週3回実施。年間延べ1,463人が利用した。 ・私立こいそ幼稚園において、一時預かり事業を実施。年間延べ2,728人が利用した。 ・町立国府幼稚園の統廃合に伴う説明会を2回開催し、延べ85人の参加があった。	A
平成28年度 (実績)	・預かり保育事業の充実 ・町立国府幼稚園の統廃合に伴う私立認定こども園の誘致に向けた取り組みを実施	・町立幼稚園3園において、休業中を除く週3回年間延べ1,356人が利用した。 ・私立こいそ幼稚園において、一時預かり事業を実施。年間延べ2,998人が利用した。 ・私立認定こども園あおばとにおいて、一時預かり事業を実施。年間延べ65人が利用した。 ・大磯町認定こども園設置運営事業者の募集及び選定を行った。	A
平成29年度 (実績)	・預かり保育事業の充実 ・決定した事業者による私立認定こども園の建設工事に対し、施設整備にかかる費用の一部等を補助	・町立幼稚園3園において、休業中を除く週3回年間延べ3,056人が利用した。 ・私立こいそ幼稚園において、一時預かり事業を実施。年間延べ2,848人が利用した。 ・私立認定こども園あおばとにおいて、一時預かり事業を実施。年間延べ1,434人が利用した。 ・国府幼稚園北側園舎の解体工事及び私立認定こども園サンキッズ国府の新設工事に係る整備費補助を実施した。	A
平成30年度 (予定)	・預かり保育事業の充実 ・私立認定こども園の開園		
平成31年度 (予定)	・預かり保育事業の充実 ・公立幼稚園・公立保育所のあり方についての検討		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			74
事業名	利用者への支援（子育てコンシェルジュ等）		子育て支援課
基本目標	5	子育てと仕事の両立支援	
施策の方向	5-1	多様な保育サービスの提供	

当初計画				
事業概要	・教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の利用について情報集約と提供を行うと共に、子どもや保護者からのそれらの利用にあたっての相談に応じ、必要な情報提供、助言をし、関係機関との連絡調整を行う子育てコンシェルジュを配置します。また、各園等に勤務している子育て関係者を対象に、母子保健制度などを学ぶ認定講座などを開催し、コーディネーターを養成し、配置していきます。			
目標値	・子育てコンシェルジュ3か所配置 ・コーディネーター8人配置			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	・子育てコンシェルジュ3か所配置 ・コーディネーター8人配置	・子育てコンシェルジュ2か所配置 ・コーディネーター配置 未実施	C
平成28年度 (実績)	・子育てコンシェルジュ3か所配置 ・コーディネーター8人配置	・平成27年4月～子育てコンシェルジュを雇用し、子育て全般に関する相談業務等を実施（2か所配置）。 ・各園等に勤務している子育て関係者を対象に、子育て支援分野の各種事業に関する研修を実施。	B
平成29年度 (実績)	・子育てコンシェルジュ3か所配置 ・コーディネーター8人配置	・平成27年4月～子育てコンシェルジュを雇用し、子育て全般に関する相談業務等を実施（2か所配置）。 ・各園等に勤務している子育て関係者を対象に、子育て支援分野の各種事業に関する研修を実施。	B
平成30年度 (予定)	・子育てコンシェルジュ3か所配置 ・コーディネーター8人配置		
平成31年度 (予定)	・子育てコンシェルジュ3か所配置 ・コーディネーター8人配置		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			75
事業名	学童保育の充実		子育て支援課
基本目標	5	子育てと仕事の両立支援	
施策の方向	5-2	放課後児童対策の充実	

当初計画				
事業概要	・保護者が就労などの理由により昼間家庭にいない小学生に対し、学校の授業終了後等に適切な生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ります。 ・子どもの情緒面や安全性を配慮し、おおむね40人のグループに有資格者を含めて2名以上の職員を配置します。			
目標値	・継続実施			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）			
年度	年度別事業目標	実績	評価	
平成27年度 (実績)	・労働などにより昼間保護者が家庭にいない小学校の児童に対し、放課後や学校休業時の長期休暇中などに、保護者に代わって保育を実施。（小学校6年生までの保育を実施） ・子どもの情緒面や安全性を配慮し、おおむね40人のグループに有資格者を含めて2名以上の職員を配置する。	大磯学童クラブ105人 国府学童クラブ 79人	B	
平成28年度 (実績)	・労働などにより昼間保護者が家庭にいない小学校の児童に対し、放課後や学校休業時の長期休暇中などに、保護者に代わって保育を実施。（小学校6年生までの保育を実施） ・子どもの情緒面や安全性を配慮し、おおむね40人のグループに有資格者を含めて2名以上の職員を配置する。	大磯学童クラブ107人 国府学童クラブ 81人	B	
平成29年度 (実績)	・労働などにより昼間保護者が家庭にいない小学校の児童に対し、放課後や学校休業時の長期休暇中などに、保護者に代わって保育を実施。（小学校6年生までの保育を実施） ・子どもの情緒面や安全性を配慮し、おおむね40人のグループに有資格者を含めて2名以上の職員を配置する。	大磯学童クラブ120人 国府学童クラブ 85人	B	
平成30年度 (予定)	・労働などにより昼間保護者が家庭にいない小学校の児童に対し、放課後や学校休業時の長期休暇中などに、保護者に代わって保育を実施。（小学校6年生までの保育を実施） ・子どもの情緒面や安全性を配慮し、おおむね40人のグループに有資格者を含めて2名以上の職員を配置する。			
平成31年度 (予定)	・労働などにより昼間保護者が家庭にいない小学校の児童に対し、放課後や学校休業時の長期休暇中などに、保護者に代わって保育を実施。（小学校6年生までの保育を実施） ・子どもの情緒面や安全性を配慮し、おおむね40人のグループに有資格者を含めて2名以上の職員を配置する。			

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			76
事業名	全ての子どもの居場所づくりの推進		子育て支援課
基本目標	5	子育てと仕事の両立支援	
施策の方向	5-2	放課後児童対策の充実	

当初計画				
事業概要	・国の「放課後子ども総合プラン」に基づき、「放課後子ども教室推進事業」と「放課後児童健全育成事業（学童クラブ）」を一体的あるいは連携して実施する、総合的な放課後対策事業の実施に向けて（仮称）放課後子ども総合プラン連絡調整会議を設置し、検討を進める。			
目標値	・（仮称）放課後子ども総合プラン連絡調整会議2回/年			
区分	新規	継続	拡充	完了 （事業終了）

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）			
年度	年度別事業目標	実績	評価	
平成27年度 （実績）	放課後における児童の安全な居場所の確保として、小学校の教室、校庭、体育館などを活用し、地域の方々によるスポーツ、文化活動などの交流や学びの場を提供する。町立小学校2校において放課後子ども教室を実施する。また、仕事と子育ての両立支援の一つの事業として、小学校の始業前に、学童施設等を利用して、子どもたちが安全・安心に過ごすことができる居場所を設け、地域のボランティア等の協力のもと、心豊かで健やかに子どもたちが育まれる環境をつくる。	【放課後子ども教室】 ・大磯小学校 31日 参加人数延べ 1,993人 ・国府小学校 38日 参加人数延べ 3,881人 【朝の居場所づくり事業】（H28.1～3月） ・大磯小学校 50日 参加人数延べ 182人 ・国府小学校 51日 参加人数延べ 21人	B	
平成28年度 （実績）	放課後における児童の安全な居場所の確保として、小学校の教室、校庭、体育館などを活用し、地域の方々によるスポーツ、文化活動などの交流や学びの場を提供する。町立小学校2校において放課後子ども教室を実施する。また、仕事と子育ての両立支援の一つの事業として、小学校の始業前に、学童施設等を利用して、子どもたちが安全・安心に過ごすことができる居場所を設け、地域のボランティア等の協力のもと、心豊かで健やかに子どもたちが育まれる環境をつくる。	【放課後子ども教室】 ・大磯小学校 28日 参加人数延べ 2,350人 ・国府小学校 31日 参加人数延べ 3,361人 【朝の居場所づくり事業】 ・大磯小学校 196日 参加人数延べ 796人 ・国府小学校 197日 参加人数延べ 478人	B	
平成29年度 （実績）	放課後における児童の安全な居場所の確保として、小学校の教室、校庭、体育館などを活用し、地域の方々によるスポーツ、文化活動などの交流や学びの場を提供する。町立小学校2校において放課後子ども教室を実施する。また、仕事と子育ての両立支援の一つの事業として、小学校の始業前に、学童施設等を利用して、子どもたちが安全・安心に過ごすことができる居場所を設け、地域のボランティア等の協力のもと、心豊かで健やかに子どもたちが育まれる環境をつくる。	【放課後子ども教室】 ・大磯小学校 28日 参加人数延べ 3,015人 ・国府小学校 30日 参加人数延べ 3,734人 【朝の居場所づくり事業】 ・大磯小学校 197日 参加人数延べ 1,076人 ・国府小学校 198日 参加人数延べ 653人	B	
平成30年度 （予定）	放課後における児童の安全な居場所の確保として、小学校の教室、校庭、体育館などを活用し、地域の方々によるスポーツ、文化活動などの交流や学びの場を提供する。町立小学校2校において放課後子ども教室を実施する。また、仕事と子育ての両立支援の一つの事業として、小学校の始業前に、学童施設等を利用して、子どもたちが安全・安心に過ごすことができる居場所を設け、地域のボランティア等の協力のもと、心豊かで健やかに子どもたちが育まれる環境をつくる。			
平成31年度 （予定）	放課後における児童の安全な居場所の確保として、小学校の教室、校庭、体育館などを活用し、地域の方々によるスポーツ、文化活動などの交流や学びの場を提供する。町立小学校2校において放課後子ども教室を実施する。また、仕事と子育ての両立支援の一つの事業として、小学校の始業前に、学童施設等を利用して、子どもたちが安全・安心に過ごすことができる居場所を設け、地域のボランティア等の協力のもと、心豊かで健やかに子どもたちが育まれる環境をつくる。			

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			77
事業名	男女共同参画の講演会、講座		町民課・学校教育課 生涯学習課
基本目標	5	子育てと仕事の両立支援	
施策の方向	5-3	仕事と生活の調和の実現	

当初計画				
事業概要	町民	・『大磯町男女共同参画推進プラン』に基づき、男女共同参画を啓発します。		
	学校	・全ての教育活動において、男女がその個性と能力を発揮できるような教育を推進します。		
目標値	町民	・『大磯町男女共同参画推進プラン』の見直しおよび新プランの策定 ・男女共同参画講演会・講座を年1回以上実施		
	学校	・継続実施		
区分	生涯	・継続実施		
		新規	継続	拡充
			完了 (事業終了)	その他

進捗状況		評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度		年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	町民	・『大磯町男女共同参画推進プラン』の見直し ・男女共同参画講演会・講座の実施	・『大磯町男女共同参画推進プラン』の見直し ・男女共同参画講演会を1回開催。(参加人数:21名)	B
	学校	・全ての教育活動において、男女がその個性と能力を発揮できるような教育を推進する。	・全ての教育活動において、男女がその個性と能力を発揮できるような教育を推進した。	A
	生涯	・男女共同参画の視点で社会教育を推進する。	・ファミリー教室（年3回/計82人参加）において、男女が対等な家族の構成員として互いに協力する家庭教育を推進。	A
平成28年度 (実績)	町民	・『大磯町男女共同参画推進プラン』の見直し及び新プランの策定 ・男女共同参画講演会・講座の実施	・『第2次大磯町男女共同参画推進プラン』の策定 ・男女共同参画講演会を1回開催。(参加人数:36名)	B
	学校	・全ての教育活動において、男女がその個性と能力を発揮できるような教育を推進する。	・全ての教育活動において、男女がその個性と能力を発揮できるような教育を推進した。	B
	生涯	・男女共同参画の視点で社会教育を推進する。	・ファミリー教室（年3回/計56人参加）において、男女が対等な家族の構成員として互いに協力する家庭教育を推進。	B
平成29年度 (実績)	町民	・男女共同参画講演会・講座の実施	・『第2次大磯町男女共同参画推進プラン』の運用 ・男女共同参画講座を1回開催。(参加人数:23名)	B
	学校	全ての教育活動において、男女がその個性と能力を発揮できるような教育を推進する。	全ての教育活動において、男女がその個性と能力を発揮できるような教育を推進した。	B
	生涯	男女共同参画の視点で社会教育を推進する。	・ファミリー教室（年3回/計87人参加）において、男女が対等な家族の構成員として互いに協力する家庭教育を推進。	B
平成30年度 (予定)	町民	男女共同参画講演会・講座の実施		
	学校	全ての教育活動において、男女がその個性と能力を発揮できるような教育を推進する。		
	生涯	男女共同参画の視点で社会教育を推進する。		
平成31年度 (予定)	町民	男女共同参画講演会・講座の実施		
	学校	全ての教育活動において、男女がその個性と能力を発揮できるような教育を推進する。		
	生涯	男女共同参画の視点で社会教育を推進する。		

評価Cの場合				
未着手等の理由と今後の対応等				

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			78
事業名	男女が共に子育てに参加する環境づくりの推進		スポーツ健康課 生涯学習課
基本目標	5	子育てと仕事の両立支援	
施策の方向	5-3	仕事と生活の調和の実現	

当初計画						
事業概要	スポーツ 生涯	・父親が子育てについて積極的に参加できるような意識啓発を、マタニティ教室や研修会などを通じ実施します。				
目標値	スポーツ 生涯	・マタニティ教室6回/年 ・ファミリー教室3回/年				
区分		新規	継続	拡充	完了 (事業終了)	その他

進捗状況		評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）			
年度		年度別事業目標	実績	評価	
平成27年度 (実績)	スポーツ	・継続実施	マタニティ教室（沐浴4回、呼吸法・母乳育児6回、ぶれ パパぶれママクッキング2回、離乳食教室6回）計18回 延べ104名	B	
	生涯	・ファミリー教室を年3回開催する。	ファミリー教室を年3回開催。 ①「笑顔で子育て＆親育て」 5月9日 37人 ②「親子だいそう」 6月15日 19人 ③「コミュニケーション力をのばす」 9月10日 26人	B	
平成28年度 (実績)	スポーツ	・継続実施	マタニティ教室（沐浴4回、呼吸法・母乳育児6回、ぶれ パパぶれママクッキング2回、離乳食教室6回）計18回 延べ105名	B	
	生涯	・ファミリー教室を年3回開催する。	ファミリー教室を年3回開催。 ①「みんなで育てよう！地域の子どもたち」 5月14日 32人 ②「お家でできる自然療法の知恵」 7月5日 8人 ③「子どものコミュニケーション力を育てるために」 9月16日・ 23日 16人	B	
平成29年度 (実績)	スポーツ	・継続実施	マタニティ教室（沐浴4回、呼吸法・母乳育児6回、ぶれ パパぶれママクッキング2回、離乳食教室6回）計18回 延べ137名	B	
	生涯	・ファミリー教室を年3回開催する。	ファミリー教室を年3回開催。 ①「子どもの安全なインターネット・スマートフォンの利用方 法」 5月13日 35人 ②「思春期の子どものコミュニケーション術」 7月6日・13日 37人 ③「親子で楽しく歌いましょう」 11月23日 15人	B	
平成30年度 (予定)	スポーツ	・継続実施			
	生涯	・ファミリー教室を年3回開催する。			
平成31年度 (予定)	スポーツ	・継続実施			
	生涯	・ファミリー教室を年3回開催する。			

評価Cの場合					
未着手等の理由と 今後の対応等					

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			79
事業名	事業所への啓発		産業観光課
基本目標	5	子育てと仕事の両立支援	
施策の方向	5-3	仕事と生活の調和の実現	

当初計画				
事業概要	・町内事業所の育児休業実施状況について調査し、現状を把握するとともに町広報等による啓発を行います。 ・町内事業所に、従業員が育児休業を取得できるよう働きかけます。			
目標値	・70事業所			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了) その他

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	商工会と連携し、対象となる社員等を持つ事業所等に対する普及啓発を行う。	・町内68事業所にパンフレット等を配布し、対象となる社員等を持つ事業所等に対する普及啓発を行った。	B
平成28年度 (実績)	商工会と連携し、対象となる社員等を持つ事業所等に対する普及啓発を行う。	・町内69事業所にパンフレット等を配布し、対象となる社員等を持つ事業所等に対する普及啓発を行った。	B
平成29年度 (実績)	商工会と連携し、対象となる社員等を持つ事業所等に対する普及啓発を行う。	・町内69事業所にパンフレット等を配布し、対象となる社員等を持つ事業所等に対する普及啓発を行った。	B
平成30年度 (予定)	商工会と連携し、対象となる社員等を持つ事業所等に対する普及啓発を行う。		
平成31年度 (予定)	商工会と連携し、対象となる社員等を持つ事業所等に対する普及啓発を行う。		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			80
事業名	大磯町次世代育成支援対策特定事業主行動計画の推進		総務課
基本目標	5	子育てと仕事の両立支援	
施策の方向	5-3	仕事と生活の調和の実現	

当初計画				
事業概要	・町において、職員の仕事と子育ての両立を支援するため、特定事業主行動計画を推進します。			
目標値	・継続実施			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了) その他

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	・女性の職業生活における活躍の推進に関する法律等に基づく特定事業主行動計画の策定を行う。	女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画の策定について検討を行った。	C
平成28年度 (実績)	・女性の職業生活における活躍の推進に関する法律等に基づき策定した特定事業主行動計画との整合性を図り、計画の見直しについて検討	職員の仕事と子育ての両立を支援するため、女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画を策定した。 ※女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画（平成28年度～平成32年度）	B
平成29年度 (実績)	・仕事と子育ての両立のため、行動計画を推進する。	女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画を推進するとともに、取組実施状況の公表を行った。	B
平成30年度 (予定)	・仕事と子育ての両立のため、行動計画を推進する。		
平成31年度 (予定)	・仕事と子育ての両立のため、行動計画を推進する。		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			81
事業名	(発達)障がいのある子どもへの支援		スポーツ健康課・子育て支援課福祉課
基本目標	6	心配りが必要な子どもたちへの支援	
施策の方向	6-1	配慮が必要な子どもへの支援	

当初計画					
事業概要	スポーツ子育て福祉 ・乳幼児健診時に子ども発達相談員による子ども発達支援相談を併設し、子どものことば、生活習慣、社会性、親子関係などの相談に対応します。健診フォロー教室を開催し、遊びを通して子どもの発達を促し、より良い親子関係が築けるように支援を行います。				
	・発達障がい等を含む、特別な支援を必要とする幼児に対して、関係機関と連携した総合的な支援体制整備を図ります。 ・発達の遅れなどが懸念される児童に対して相談記録シート（はぐくみサポートファイル）を活用し、ネットワークの強化に努めます。				
	・県立総合療育相談センター主催の巡回リハビリテーションによりセンターの医師、理学療法士等が出張し、障がい児の機能回復・相談にあたります。 ・障がい児の在宅サービス（ホームヘルプサービス・ショートステイサービス）の推進を図ります。 ・障がいをもつ18歳未満の子どもの社会生活を身に付ける機会を確保し、障がい児を養育している家族の一時的な休息を図ります。				
目標値	スポーツ子育て福祉 ・継続実施				
	・子ども発達支援会議3回以上/年				
	・継続実施				
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)	その他

進捗状況		評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度		年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	スポーツ子育て福祉	継続実施	・乳幼児健診時子ども発達支援相談 延べ51件 ・なかよし教室 18回 延べ216人 相談延べ13件	B
	スポーツ子育て福祉	子ども発達支援会議を開催	・年3回	B
	福祉	・県立総合療育相談センター主催の巡回リハビリテーションによりセンターの医師、理学療法士等が出張し、障がい児の機能回復・相談にあたる。 ・障がいまたは療育が必要な児を養育している保護者の相談に乗り、ニーズに合わせた障がい福祉サービスを紹介し利用に繋げる。	・巡回リハビリテーション利用者 18名 ・短期入所支給決定者 7名 ・児童発達支援利用者 14名 ・放課後等デイサービス利用者 29名	B
平成28年度 (実績)	スポーツ子育て福祉	継続実施	・乳幼児健診時子ども発達支援相談 延べ46件 ・なかよし教室 18回 延べ303人 相談延べ15件	B
	スポーツ子育て福祉	子ども発達支援会議を開催	・年1回	B
	福祉	・継続実施	・巡回リハビリテーション利用者 17名 ・短期入所支給決定者 8名 ・児童発達支援利用者 18名 ・放課後等デイサービス利用者 32名	B
平成29年度 (実績)	スポーツ子育て福祉	継続実施	・乳幼児健診時子ども発達支援相談 延べ45件 ・なかよし教室17回 延べ216人 相談延べ14件	B
	スポーツ子育て福祉	子ども発達支援会議を開催	・年5回	B
	福祉	・継続実施	・巡回リハビリテーション利用者 17名 ・短期入所支給決定者 7名 ・児童発達支援利用者 18名 ・放課後等デイサービス利用者 35名	B
平成30年度 (予定)	スポーツ子育て福祉	継続実施		
	スポーツ子育て福祉	子ども発達支援会議を開催		
	福祉	・継続実施		
平成31年度 (予定)	スポーツ子育て福祉	継続実施		
	スポーツ子育て福祉	子ども発達支援会議を開催		
	福祉	・継続実施		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			82
事業名	園や学校における人材配置や相談体制		子育て支援課 学校教育課
基本目標	6	心配りが必要な子どもたちへの支援	
施策の方向	6-1	配慮が必要な子どもへの支援	

当初計画				
事業概要	子育て 学校	- 発達障がい等を含む、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒に対して、関係機関等と連携した総合的な支援体制整備を図ります。 - 臨床心理士等が、町内各幼稚園・保育所・小・中学校を巡回し、特別な支援が必要と思われる子どもの特性理解・対処方法などを助言し、発達促進を支援します。		
	学校	心理的・情緒的な問題を抱えて学校に登校できない児童・生徒及びその保護者に対する援助や指導を行うため「適応指導教室」を運営します。		
目標値	子育て 学校	継続実施		
	学校	継続実施		
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況		評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度		年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	子育て	子ども発達支援会議を開催	・年3回	B
	学校	- 発達障がい等を含む、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒に対して、関係機関等と連携した総合的な支援体制整備を図る。 - 臨床心理士等が、町内各幼稚園・保育所・小・中学校を巡回し、特別な支援が必要と思われる子どもの特性理解・対処方法などを助言し、発達促進を支援する。 - 心理的・情緒的な問題を抱えて学校に登校できない児童・生徒及びその保護者に対する援助や指導を行うため「適応指導教室」を運営する。	- 教育相談担当者連絡会を開催し、発達障がい等を含む、特別な支援を必要とする児童・生徒に対して、関係機関等と連携した総合的な支援体制の整備を図った。 - 教育研究所のスクールアドバイザー（臨床心理士）が小・中学校を巡回（小・中学校4校 計12回）し、また、各校の要請に応じて特別な支援が必要と思われる子どもの特性理解・対処方法などを助言し、発達促進を支援。 - 心理的・情緒的な問題を抱えて学校に登校できない児童・生徒及びその保護者に対する援助や指導を行うため「適応指導教室」を運営し、子ども達が再び学校に登校できるよう支援。	B
平成28年度 (実績)	子育て	子ども発達支援会議を開催	・年1回	B
	学校	- 発達障がい等を含む、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒に対して、関係機関等と連携した総合的な支援体制整備を図る。 - 臨床心理士等が、町内各幼稚園・保育所・小・中学校を巡回し、特別な支援が必要と思われる子どもの特性理解・対処方法などを助言し、発達促進を支援する。 - 心理的・情緒的な問題を抱えて学校に登校できない児童・生徒及びその保護者に対する援助や指導を行うため「適応指導教室」を運営する。	- 教育相談担当者連絡会を開催し、発達障がい等を含む、特別な支援を必要とする児童・生徒に対して、関係機関等と連携した総合的な支援体制の整備を図った。 - 教育研究所のスクールアドバイザー（臨床心理士）が小・中学校を巡回し、また、各校の要請に応じて特別な支援が必要と思われる子どもの特性理解・対処方法などを助言し、発達促進を支援。 - 心理的・情緒的な問題を抱えて学校に登校できない児童・生徒及びその保護者に対する援助や指導を行うため「適応指導教室」を運営し、子ども達が再び学校に登校できるよう支援。	B
平成29年度 (実績)	子育て	子ども発達支援会議を開催	・年5回	B
	学校	- 発達障がい等を含む、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒に対して、関係機関等と連携した総合的な支援体制整備を図る。 - 臨床心理士等が、町内各幼稚園・保育所・小・中学校を巡回し、特別な支援が必要と思われる子どもの特性理解・対処方法などを助言し、発達促進を支援する。 - 心理的・情緒的な問題を抱えて学校に登校できない児童・生徒及びその保護者に対する援助や指導を行うため「適応指導教室」を運営する。	- 教育相談担当者連絡会を開催し、発達障がい等を含む、特別な支援を必要とする児童・生徒に対して、関係機関等と連携した総合的な支援体制の整備を図った。 - 教育研究所のスクールアドバイザー（臨床心理士）が各学校を巡回し、また、各校の要請に応じて特別な支援が必要と思われる子どもの特性理解・対処方法などを助言し、発達促進を支援。 - 心理的・情緒的な問題を抱えて学校に登校できない児童・生徒及びその保護者に対する援助や指導を行うため「適応指導教室」を運営し、子ども達が再び学校に登校できるよう支援。	B
平成30年度 (予定)	子育て	子ども発達支援会議を開催		
	学校	- 発達障がい等を含む、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒に対して、関係機関等と連携した総合的な支援体制整備を図る。 - 臨床心理士等が、町内各幼稚園・保育所・小・中学校を巡回し、特別な支援が必要と思われる子どもの特性理解・対処方法などを助言し、発達促進を支援する。 - 心理的・情緒的な問題を抱えて学校に登校できない児童・生徒及びその保護者に対する援助や指導を行うため「適応指導教室」を運営する。		
平成31年度 (予定)	子育て	子ども発達支援会議を開催		
	学校	- 発達障がい等を含む、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒に対して、関係機関等と連携した総合的な支援体制整備を図る。 - 臨床心理士等が、町内各幼稚園・保育所・小・中学校を巡回し、特別な支援が必要と思われる子どもの特性理解・対処方法などを助言し、発達促進を支援する。 - 心理的・情緒的な問題を抱えて学校に登校できない児童・生徒及びその保護者に対する援助や指導を行うため「適応指導教室」を運営する。		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			83			
事業名	専門職による相談機能の充実		子育て支援課・スポーツ健康課 福祉課・学校教育課			
基本目標	6 心配りが必要な子どもたちへの支援					
施策の方向	6-1 配慮が必要な子どもへの支援					
当初計画						
事業概要	子育て支援課	- 子育て支援総合センターに専門の相談員を配置させることにより、子育て中で生じるさまざまな問題などに対して適切な対応を行います。 - 発達の違いなどが懸念される児童に対して相談記録シート（はぐくみサポートファイル）を作成し、ネットワークの強化に努めます。				
	スポーツ健康課	乳幼児について、随時保健師による健康相談・育児相談を行います。1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査時に子ども発達相談員による子ども発達相談を併設し、子どものことは、生活習慣などの相談に対応。健診フォロー教室を開催し、遊びを通して子どもの発達を促し、より良い親子関係が築けるように支援します。				
	福祉課	- 障がい児に関する全般的な生活相談を実施します。その他、児童相談所等と連携するとともに、障害福祉センターにおいて障がい児の相談支援事業を実施します。 - 県立総合療育相談センター主催によりセンターの医師、理学療法士等が出張し、障がい児の機能回復・相談にあたります。				
	学校教育課	- 心理的・情緒的な問題をもって学校に登校できない児童・生徒及びその保護者に対する援助や指導を行うため「適応指導教室」を運営します。 - 教育研究所に配置した臨床心理士により、教育相談を実施します。				
目標値	子育て支援課	相談件数100件/年				
	スポーツ健康課	継続実施				
	福祉課	継続実施				
	学校教育課	継続実施				
区分	新規	継続	拡充	完了（事業終了）	その他	
進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）					
年度	年度別事業目標			実績	評価	
平成27年度（実績）	子育て支援課	専門の相談員（臨床心理士、言語聴覚士）の配置			相談件数：192件/年	B
	スポーツ健康課	乳幼児について、随時保健師による健康相談・育児相談を実施。1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査時に子ども発達相談員による子ども発達相談を併設し、子どものことは、生活習慣などの相談に対応。健診フォロー教室を開催し、遊びを通して子どもの発達を促し、より良い親子関係が築けるように支援。			- 乳幼児健診時子ども発達支援相談 延べ51件 - なかよし教室 18回 延べ216人 相談延べ13件	B
	福祉課	- 療育を希望する親の相談に乗り、放課後等デイサービスや障がい福祉サービス事業所の利用に繋げる。 - 県立総合療育相談センター主催によりセンターの医師、理学療法士等が出張し、障がい児の機能回復・相談にあたる。			- 児童発達支援利用者 14名 - 放課後等デイサービス利用者 29名 - 巡回リハビリテーション利用者 18名	B
	学校教育課	- 心理的・情緒的な問題をもって学校に登校できない児童・生徒及びその保護者に対する援助や指導を行うため「適応指導教室」を運営。 - 教育研究所に配置した臨床心理士により、教育相談を実施。			- 心理的・情緒的な問題をもって学校に登校できない児童・生徒及びその保護者に対する援助や指導を行うため「適応指導教室」を運営し、子ども達が再び学校に登校できるよう支援。 - 教育研究所に配置した臨床心理士により、延べ87件の教育相談実施。	B
平成28年度（実績）	子育て支援課	専門の相談員（臨床心理士、言語聴覚士等）の配置			相談件数：218件/年	B
	スポーツ健康課	乳幼児について、随時保健師による健康相談・育児相談を実施。1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査時に子ども発達相談員による子ども発達相談を併設し、子どものことは、生活習慣などの相談に対応。健診フォロー教室を開催し、遊びを通して子どもの発達を促し、より良い親子関係が築けるように支援。			- 乳幼児健診時子ども発達支援相談 延べ46件 - なかよし教室 18回 延べ303人 相談延べ15件	B
	福祉課	- 療育を希望する親の相談に乗り、放課後等デイサービスや障がい福祉サービス事業所の利用に繋げる。 - 県立総合療育相談センター主催によりセンターの医師、理学療法士等が出張し、障がい児の機能回復・相談にあたる。			- 児童発達支援利用者 18名 - 放課後等デイサービス利用者 32名 - 巡回リハビリテーション利用者 17名	B
	学校教育課	- 心理的・情緒的な問題をもって学校に登校できない児童・生徒及びその保護者に対する援助や指導を行うため「適応指導教室」を運営。 - 教育研究所に配置した臨床心理士により、教育相談を実施。			「適応指導教室」を運営し、心理的・情緒的な問題をもって学校に登校できない児童・生徒が再び登校できるよう支援。 - 教育研究所に配置した臨床心理士により、教育相談を実施。	B
平成29年度（実績）	子育て支援課	専門の相談員（臨床心理士、言語聴覚士等）の配置			相談件数：265件/年	B
	スポーツ健康課	乳幼児について、随時保健師による健康相談・育児相談を実施。1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査時に子ども発達相談員による子ども発達相談を併設し、子どものことは、生活習慣などの相談に対応。健診フォロー教室を開催し、遊びを通して子どもの発達を促し、より良い親子関係が築けるように支援。			- 乳幼児健診時子ども発達支援相談 延べ45件 - なかよし教室17回 延べ216人 相談延べ14件	B
	福祉課	- 療育を希望する親の相談に乗り、放課後等デイサービスや障がい福祉サービス事業所の利用に繋げる。 - 県立総合療育相談センター主催によりセンターの医師、理学療法士等が出張し、障がい児の機能回復・相談にあたる。			- 児童発達支援利用者 18名 - 放課後等デイサービス利用者 35名 - 巡回リハビリテーション利用者 17名	B
	学校教育課	- 心理的・情緒的な問題をもって学校に登校できない児童・生徒及びその保護者に対する援助や指導を行うため「適応指導教室」を運営。 - 教育研究所に配置した臨床心理士により、教育相談を実施。			「適応指導教室」を運営し、心理的・情緒的な問題をもって学校に登校できない児童・生徒が再び登校できるよう支援。 - 教育研究所に配置した臨床心理士により、教育相談を実施。	B
平成30年度（予定）	子育て支援課	専門の相談員（臨床心理士、言語聴覚士等）の配置				
	スポーツ健康課	乳幼児について、随時保健師による健康相談・育児相談を実施。1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査時に子ども発達相談員による子ども発達相談を併設し、子どものことは、生活習慣などの相談に対応。健診フォロー教室を開催し、遊びを通して子どもの発達を促し、より良い親子関係が築けるように支援。				
	福祉課	- 療育を希望する親の相談に乗り、放課後等デイサービスや障がい福祉サービス事業所の利用に繋げる。 - 県立総合療育相談センター主催によりセンターの医師、理学療法士等が出張し、障がい児の機能回復・相談にあたる。				
	学校教育課	- 心理的・情緒的な問題をもって学校に登校できない児童・生徒及びその保護者に対する援助や指導を行うため「適応指導教室」を運営。 - 教育研究所に配置した臨床心理士により、教育相談を実施。				
平成31年度（予定）	子育て支援課	専門の相談員（臨床心理士、言語聴覚士等）の配置				
	スポーツ健康課	乳幼児について、随時保健師による健康相談・育児相談を実施。1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査時に子ども発達相談員による子ども発達相談を併設し、子どものことは、生活習慣などの相談に対応。健診フォロー教室を開催し、遊びを通して子どもの発達を促し、より良い親子関係が築けるように支援。				
	福祉課	- 療育を希望する親の相談に乗り、放課後等デイサービスや障がい福祉サービス事業所の利用に繋げる。 - 県立総合療育相談センター主催によりセンターの医師、理学療法士等が出張し、障がい児の機能回復・相談にあたる。				
	学校教育課	- 心理的・情緒的な問題をもって学校に登校できない児童・生徒及びその保護者に対する援助や指導を行うため「適応指導教室」を運営。 - 教育研究所に配置した臨床心理士により、教育相談を実施。				
評価Cの場合						
未着手等の理由と今後の対応等						

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			84
事業名	ネットワークの強化		子育て支援課
基本目標	6	心配りが必要な子どもたちへの支援	
施策の方向	6-2	児童虐待防止体制の充実	

当初計画				
事業概要	・「要保護児童対策地域協議会」を活用し、家庭及び地域社会において子どもが健やかに成長し、発達できるよう、育児不安を抱えた家庭の子育てを支援するとともに、児童虐待に対応ができるネットワーク体制の充実を図ります。 ・「大磯町児童虐待相談・通告対応マニュアル」に基づき、速やかな対応を行う体制を強化します。			
目標値	・要対協議会（代表者会議ほか）8回/年 ・研修会1回/年			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	要対協議会 8回/年 研修会 1回/年	要対協議会 8回/年 研修会 1回/年	B
平成28年度 (実績)	要対協議会 7回/年 研修会 1回/年	要対協議会 7回/年 研修会 1回/年	B
平成29年度 (実績)	要対協議会 7回/年 研修会 1回/年	要対協議会 7回/年 研修会 1回/年	B
平成30年度 (予定)	要対協議会 7回/年 研修会 1回/年		
平成31年度 (予定)	要対協議会 7回/年 研修会 1回/年		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			85
事業名	早期把握や支援（乳幼児訪問・養育支援訪問）		スポーツ健康課 子育て支援課
基本目標	6	心配りが必要な子どもたちへの支援	
施策の方向	6-2	児童虐待防止体制の充実	

当初計画	
事業概要	スポーツ 子育て ・妊娠届出時から出生後まで、虐待のリスクがある事例については、産科医療機関と母子保健担当が連携して支援します。初めて出産した方を助産師や保健師が訪問し、保健指導を行うとともに、心配りが必要な子どもについては継続して訪問等により支援します。 ・「こんにちは赤ちゃん事業」として、民生委員・児童委員や主任児童委員が第2子以降の方を訪問し、育児の不安などを聞き、必要に応じて保健師等が訪問指導します。 ・「大磯町児童虐待相談・通告対応マニュアル」に基づき、相談・通告を受け付け、速やかな対応を行う業務体制を強化します。 ・子育てに対して不安や孤立感などから養育支援が特に必要な家庭を訪問し、養育に関する指導・助言等を行い、養育支援が特に必要な家庭に対して育児や家事支援の実施を検討していきます。
目標値	スポーツ 子育て ・継続実施 ・養育支援訪問実施（平成28年度）訪問率100%
区分	新規 継続 拡充 完了 （事業終了） その他

進捗状況		評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度		年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 （実績）	スポーツ 子育て	継続実施	訪問件数 延べ97件 養育支援訪問 38件	B
	スポーツ 子育て	養育支援訪問実施（平成28年度）	未実施	C
平成28年度 （実績）	スポーツ	継続実施とともに、委託事業として訪問回数等を確保する。	訪問件数 103件 養育支援訪問 8人延べ18件（うち訪問看護ステーション委託：2人延べ3件、町保健師：8人延べ15件）	A
平成29年度 （実績）	スポーツ	継続実施とともに、委託事業として訪問回数等を確保する。	訪問件数 98件 養育支援訪問 3人延べ15件	B
平成30年度 （予定）	スポーツ	継続実施とともに、委託事業として訪問回数等を確保する。		
平成31年度 （予定）	スポーツ	継続実施とともに、委託事業として訪問回数等を確保する。		

評価Cの場合
未着手等の理由と今後の対応等

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			86
事業名	家事や育児への援助		子育て支援課
基本目標	6	心配りが必要な子どもたちへの支援	
施策の方向	6-2	児童虐待防止体制の充実	

当初計画				
事業概要	・ファミリー・サポート・センターの援助内容に家事援助を加えるとともに、援助会員の研修を充実させ、心配りが必要な子どもへの安全な対応ができるように努めます。			
目標値	・利用件数200件/年 ・会員数200人			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	・子どもを預けたい人と預かる人で会員組織を構成し、会員相互による育児援助活動を行うファミリー・サポート・センターの充実に努めます。また、事業の運営を民間へ委託することを視野に入れた検討を行う。	活動回数 240回 活動時間 386時間 援助会員数 19人 依頼会員数 92人 両方会員 3人	B
平成28年度 (実績)	・子どもを預けたい人と預かる人で会員組織を構成し、会員相互による育児援助活動を行うファミリー・サポート・センターの充実に努める。	活動回数 314回 活動時間 986時間 援助会員数 16人 依頼会員数 103人 両方会員 2人	B
平成29年度 (実績)	・子どもを預けたい人と預かる人で会員組織を構成し、会員相互による育児援助活動を行うファミリー・サポート・センターの充実に努める。	活動回数 429回 活動時間 1,121時間 援助会員数 19人 依頼会員数 119人 両方会員 2人	B
平成30年度 (予定)	・子どもを預けたい人と預かる人で会員組織を構成し、会員相互による育児援助活動を行うファミリー・サポート・センターの充実に努める。		
平成31年度 (予定)	・子どもを預けたい人と預かる人で会員組織を構成し、会員相互による育児援助活動を行うファミリー・サポート・センターの充実に努める。		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			87
事業名	地域の見守りの充実		子育て支援課
基本目標	6	心配りが必要な子どもたちへの支援	
施策の方向	6-2	児童虐待防止体制の充実	

当初計画				
事業概要	・「こんにちは赤ちゃん事業」として、民生委員・児童委員や主任児童委員が第2子以降の方を訪問し、育児の不安などを聞き、必要に応じて保健師等が訪問指導します。そのフォローとして、2歳児全戸訪問事業「にこにこ子育て応援団」を実施します。 ・11月の児童虐待防止月間やオレンジリボンキャンペーンでは、チラシやオレンジリボンを配布し、広く調印に周知を図っていきます。			
目標値	・こんにちは赤ちゃん事業（乳児全戸訪問事業）訪問率100% ・2歳児全戸訪問事業「にこにこ子育て応援団」訪問率100%			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	・こんにちは赤ちゃん事業・2歳児全戸訪問事業 訪問率100% ・妊婦や乳幼児の保護者を対象とした子育て講座やイクメン講座の開催 10回以上/年	・こんにちは赤ちゃん事業 訪問率74.7% ・2歳児全戸訪問事業 訪問率90.4% ・子育て講座「ベビーマッサージ」8回(4コース)/年 204人 ・健康に関する講座 5回/年 44人 ・イクメン講座 2回/年 28人	B
平成28年度 (実績)	・こんにちは赤ちゃん事業・2歳児全戸訪問事業 訪問率100% ・妊婦や乳幼児の保護者を対象とした子育て講座やイクメン講座の開催 10回以上/年	・こんにちは赤ちゃん事業 訪問率63.8% ・2歳児全戸訪問事業 訪問率87.7% ・子育て講座「ベビーマッサージ」8回(4コース)/年 184人 ・健康に関する講座 5回/年 49人 ・イクメン講座 3回/年 33人	B
平成29年度 (実績)	・こんにちは赤ちゃん事業・2歳児全戸訪問事業 訪問率100% ・妊婦や乳幼児の保護者を対象とした子育て講座やイクメン講座の開催 10回以上/年	・こんにちは赤ちゃん事業 訪問率87.8% ・2歳児全戸訪問事業 訪問率85.1% ・子育て講座「ベビーマッサージ」8回(4コース)/年 180人 ・健康に関する講座 4回/年 37人 ・イクメン講座 3回/年 49人	B
平成30年度 (予定)	・こんにちは赤ちゃん事業・2歳児全戸訪問事業 訪問率100% ・妊婦や乳幼児の保護者を対象とした子育て講座やイクメン講座の開催 10回以上/年		
平成31年度 (予定)	・こんにちは赤ちゃん事業・2歳児全戸訪問事業 訪問率100% ・妊婦や乳幼児の保護者を対象とした子育て講座やイクメン講座の開催 10回以上/年		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			88
事業名	児童虐待防止の予防		子育て支援課
基本目標	6	心配りが必要な子どもたちへの支援	
施策の方向	6-2	児童虐待防止体制の充実	

当初計画				
事業概要	・子どものしつけ等についての講義、講座を開催します。親が「どのように子どもとコミュニケーションをとっていか」という具体的な対応方法を身につけることにより、親が楽しく子育てに取り組むことを支援し、児童虐待の防止を図ります。			
目標値	・子どものしつけ等についての講義、講座の開催			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)

進捗状況	評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度	年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	・子どものしつけ等についての講義、講座の開催	・やさしい子育て練習講座(ダイジェスト版) 2回/年 23人 ・やさしい子育て練習講座(通常講座) 2期 12回/年 61人 ・大磯版お母さんのための^ハアソビ・トレーニング 9回/年 28人	B
平成28年度 (実績)	・子どものしつけ等についての講義、講座の開催	・お母さんのための^ハアソビ・トレーニング 8回/年 25人	B
平成29年度 (実績)	・子どものしつけ等についての講義、講座の開催	・お母さんのための^ハアソビ・トレーニング 8回/年 28人	B
平成30年度 (予定)	・子どものしつけ等についての講義、講座の開催		
平成31年度 (予定)	・子どものしつけ等についての講義、講座の開催		

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			89
事業名	相談者、スクールカウンセラーの配置		学校教育課 子育て支援課
基本目標	6	心配りが必要な子どもたちへの支援	
施策の方向	6-3	いじめや不登校への対応	

当初計画					
事業概要	学校	・心理的・情緒的な問題をもって学校に登校できない児童・生徒及びその保護者に対する援助や指導を行うため「適応指導教室」を運営します。 ・教育研究所に配置した臨床心理士により、教育相談を実施します。			
	子育て	・被害に遭った子どもに対して、専門の職員によるカウンセリングに努めます。			
目標値	学校	・継続実施			
	子育て	・継続実施			
区分	新規	継続	拡充	完了 (事業終了)	その他

進捗状況		評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）		
年度		年度別事業目標	実績	評価
平成27年度 (実績)	学校	・子どもが抱えている心の悩み・不安・ストレスなどの軽減及び解決を図るため、スクールカウンセラーや心の教室相談員による相談の充実や校内教育相談体制の整備を図る。 ・「大磯町いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの防止等の取組を町全体で円滑に進めていくことを目指し、すべての子どもの健全育成及びいじめのない子ども社会の実現を目指す。 ・不登校児童、生徒及びその保護者が抱える悩みなどの軽減を図るため「適応指導教室」を運営する。	・各中学校区に県から派遣されたスクールカウンセラーを1名、各中学校に心の教室相談員を2名ずつ配置し、校内教育相談体制の整備を図った。 ・「大磯町いじめ防止基本方針」に基づき、区長会や民生委員児童委員協議会、学校警察連絡協議会等、町内の様々な会議の場がいじめ防止に関わる連携協力や手立てについて周知した。 ・不登校児童、生徒及びその保護者が抱える悩みなどの軽減を図るため「適応指導教室」を運営し、子ども達が再び学校に登校できるよう支援した。	B
	子育て	・専門の相談員（臨床心理士等）が対応する。	・相談件数：0件	B
平成28年度 (実績)	学校	・子どもが抱えている心の悩み・不安・ストレスなどの軽減及び解決を図るため、スクールカウンセラーや心の教室相談員による相談の充実や校内教育相談体制の整備を図る。 ・「大磯町いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの防止等の取組を町全体で円滑に進めていくことを目指し、すべての子どもの健全育成及びいじめのない子ども社会の実現を目指す。 ・不登校児童、生徒及びその保護者が抱える悩みなどの軽減を図るため「適応指導教室」を運営する。	・各中学校区に県から派遣されたスクールカウンセラーを1名、各中学校に心の教室相談員を2名ずつ配置し、校内教育相談体制の整備を図った。 ・「大磯町いじめ防止基本方針」に基づき、区長会や民生委員児童委員協議会、学校警察連絡協議会等、町内の様々な会議の場がいじめ防止に関わる連携協力や手立てについて周知した。 ・「適応指導教室」を運営し、不登校児童、生徒達が再び学校に登校できるよう支援した。	B
	子育て	・専門の相談員（臨床心理士等）が対応する。	・相談件数：0件	B
平成29年度 (実績)	学校	・子どもが抱えている心の悩み・不安・ストレスなどの軽減及び解決を図るため、スクールカウンセラーや心の教室相談員による相談の充実や校内教育相談体制の整備を図る。 ・「大磯町いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの防止等の取組を町全体で円滑に進めていくことを目指し、すべての子どもの健全育成及びいじめのない子ども社会の実現を目指す。 ・不登校児童、生徒及びその保護者が抱える悩みなどの軽減を図るため「適応指導教室」を運営する。	・各中学校区に県から派遣されたスクールカウンセラーを1名、各中学校に心の教室相談員を2名ずつ配置し、校内教育相談体制の整備を図った。 ・「大磯町いじめ防止基本方針」に基づき、区長会や民生委員児童委員協議会、学校警察連絡協議会等、町内の様々な会議の場がいじめ防止に関わる連携協力や手立てについて周知した。 ・「適応指導教室」を運営し、不登校児童、生徒達が再び学校に登校できるよう支援した。	B
	子育て	・専門の相談員（臨床心理士等）が対応する。	・相談件数：0件	B
平成30年度 (予定)	学校	・子どもが抱えている心の悩み・不安・ストレスなどの軽減及び解決を図るため、スクールカウンセラーや心の教室相談員による相談の充実や校内教育相談体制の整備を図る。 ・「大磯町いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの防止等の取組を町全体で円滑に進めていくことを目指し、すべての子どもの健全育成及びいじめのない子ども社会の実現を目指す。 ・不登校児童、生徒及びその保護者が抱える悩みなどの軽減を図るため「適応指導教室」を運営する。		
	子育て	・専門の相談員（臨床心理士等）が対応する。		
平成31年度 (予定)	学校	・子どもが抱えている心の悩み・不安・ストレスなどの軽減及び解決を図るため、スクールカウンセラーや心の教室相談員による相談の充実や校内教育相談体制の整備を図る。 ・「大磯町いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの防止等の取組を町全体で円滑に進めていくことを目指し、すべての子どもの健全育成及びいじめのない子ども社会の実現を目指す。 ・不登校児童、生徒及びその保護者が抱える悩みなどの軽減を図るため「適応指導教室」を運営する。		
	子育て	・専門の相談員（臨床心理士等）が対応する。		

評価Cの場合		
未着手等の理由と今後の対応等		

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 進捗管理シート			90
事業名	保護者、児童の相談体制		学校教育課 子育て支援課
基本目標	6	心配りが必要な子どもたちへの支援	
施策の方向	6-3	いじめや不登校への対応	

当初計画						
事業概要	学校	- 子どもが抱えている心の悩み・不安・ストレスなどの軽減及び解決を図るため、スクールカウンセラーや心の教室相談員による相談の充実や校内教育相談体制の整備を図ります。 「大磯町いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの防止等の取組を町全体で円滑に進めていくことを目指し、すべての子どもの健全育成及びいじめのない子ども社会の実現を目指します。 - 不登校児童、生徒及びその保護者が抱える悩みなどの軽減を図るため「適応指導教室」を運営します。				
	子育て	被害に遭った子どもに対して、専門の職員によるカウンセリングに努めます。				
目標値	学校	継続実施				
	子育て	継続実施				
区分	新規		継続	拡充	完了 (事業終了)	その他

進捗状況		評価基準：A（概ね順調に進展）、B（現状維持）、C（未着手または成果があがっていない）				
年度	年度別事業目標			実績	評価	
平成27年度 (実績)	学校	- 子どもが抱えている心の悩み・不安・ストレスなどの軽減及び解決を図るため、スクールカウンセラーや心の教室相談員による相談の充実や校内教育相談体制の整備を図る。 「大磯町いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの防止等の取組を町全体で円滑に進めていくことを目指し、すべての子どもの健全育成及びいじめのない子ども社会の実現を目指す。 - 不登校児童、生徒及びその保護者が抱える悩みなどの軽減を図るため「適応指導教室」を運営する。			- 各中学校区に県から派遣されたスクールカウンセラーを1名、各中学校に心の教室相談員を2名ずつ配置し、校内教育相談体制の整備を図った。 「大磯町いじめ防止基本方針」に基づき、区長会や民生委員児童委員協議会、学校警察連絡協議会等、町内の様々な会議の場でいじめ防止に関わる連携協力や手立てについて周知した。 - 不登校児童、生徒及びその保護者が抱える悩みなどの軽減を図るため「適応指導教室」を運営し、子ども達が再び学校に登校できるよう支援した。	B
	子育て	専門の相談員（臨床心理士等）が対応する。			相談件数：〇件	B
平成28年度 (実績)	学校	- 子どもが抱えている心の悩み・不安・ストレスなどの軽減及び解決を図るため、スクールカウンセラーや心の教室相談員による相談の充実や校内教育相談体制の整備を図る。 「大磯町いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの防止等の取組を町全体で円滑に進めていくことを目指し、すべての子どもの健全育成及びいじめのない子ども社会の実現を目指す。 - 不登校児童、生徒及びその保護者が抱える悩みなどの軽減を図るため「適応指導教室」を運営する。			- 各中学校区に県から派遣されたスクールカウンセラーを1名、各中学校に心の教室相談員を2名ずつ配置し、校内教育相談体制の整備を図った。 「大磯町いじめ防止基本方針」に基づき、区長会や民生委員児童委員協議会、学校警察連絡協議会等、町内の様々な会議の場でいじめ防止に関わる連携協力や手立てについて周知した。 「適応指導教室」を運営し、不登校児童、生徒達が再び学校に登校できるよう支援した。	B
	子育て	専門の相談員（臨床心理士等）が対応する。			相談件数：〇件	B
平成29年度 (実績)	学校	- 子どもが抱えている心の悩み・不安・ストレスなどの軽減及び解決を図るため、スクールカウンセラーや心の教室相談員による相談の充実や校内教育相談体制の整備を図る。 「大磯町いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの防止等の取組を町全体で円滑に進めていくことを目指し、すべての子どもの健全育成及びいじめのない子ども社会の実現を目指す。 - 不登校児童、生徒及びその保護者が抱える悩みなどの軽減を図るため「適応指導教室」を運営する。			- 各中学校区に県から派遣されたスクールカウンセラーを1名、各中学校に心の教室相談員を2名ずつ配置し、校内教育相談体制の整備を図った。 「大磯町いじめ防止基本方針」に基づき、区長会や民生委員児童委員協議会、学校警察連絡協議会等、町内の様々な会議の場でいじめ防止に関わる連携協力や手立てについて周知した。 「適応指導教室」を運営し、不登校児童、生徒達が再び学校に登校できるよう支援した。	B
	子育て	専門の相談員（臨床心理士等）が対応する。			相談件数：〇件	B
平成30年度 (予定)	学校	- 子どもが抱えている心の悩み・不安・ストレスなどの軽減及び解決を図るため、スクールカウンセラーや心の教室相談員による相談の充実や校内教育相談体制の整備を図る。 「大磯町いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの防止等の取組を町全体で円滑に進めていくことを目指し、すべての子どもの健全育成及びいじめのない子ども社会の実現を目指す。 - 不登校児童、生徒及びその保護者が抱える悩みなどの軽減を図るため「適応指導教室」を運営する。				
	子育て	専門の相談員（臨床心理士等）が対応する。				
平成31年度 (予定)	学校	- 子どもが抱えている心の悩み・不安・ストレスなどの軽減及び解決を図るため、スクールカウンセラーや心の教室相談員による相談の充実や校内教育相談体制の整備を図る。 「大磯町いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの防止等の取組を町全体で円滑に進めていくことを目指し、すべての子どもの健全育成及びいじめのない子ども社会の実現を目指す。 - 不登校児童、生徒及びその保護者が抱える悩みなどの軽減を図るため「適応指導教室」を運営する。				
	子育て	専門の相談員（臨床心理士等）が対応する。				

評価Cの場合	
未着手等の理由と今後の対応等	

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 量の見込みと確保方策（幼児期の教育・保育）の進捗シート

1. 事業名	施設型給付の充実-1号認定子ども及び2号認定子どものうち幼児期の学校教育の利用希望が強い子ども
2. 事業概要	幼稚園、認定こども園において、教育ニーズが高い認定区分の子どもの保育を行う事業
3. 確保方策	平成28年度に認定こども園（幼保連携型）を1園新設し、保護者の就労状況の変化にも対応しやすい施設を整備します。 また、徐々に児童数が減少していることを踏まえ、公立幼稚園のあり方を検討していく必要があると考えており、公立幼稚園を統廃合し、1園を保育所または認定こども園へ移行します。（現段階では保育所への移行を予定。）併せて幼稚園定員の見直しも検討していきます。 現在、町外の幼稚園を利用している児童は約100名ですが、確保方策の人数は、町外幼稚園利用者も含めています。

1号認定について（当初計画）

1号認定 2号認定（教育ニーズのみ）		H25年度 実績		実施時期				
				H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
①量の見込み		549人		517人	505人	490人	482人	471人
②確保方策				567人	598人	598人	503人	503人
内 訳	幼稚園 （施設型給付：公立）			495人	495人	495人	400人	400人
	幼稚園 （施設型給付：私立）			72人	72人	72人	72人	72人
	認定こども園 （幼保連携型：私立）			－人	31人	31人	31人	31人
②－①				50人	93人	108人	21人	32人



1号認定について（H29実績）

1号認定 2号認定（教育ニーズのみ）		H25年度 実績	H26年度 実績	H27年度 実績	H28年度 実績	H29年度 実績	見込み	
							H30年度	H31年度
①実績・見込		549人	557人	560人	546人	497人	482人	471人
②確保方策				567人	598人	598人	503人	503人
②－①				7人	52人	101人	21人	32人

5. 自己点検・自己評価

1号認定及び2号認定のうち幼児期の学校教育の希望が強い保護者のニーズに対しては、幼稚園等において確保できる見込みであり、現状を維持していくよう努める。

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 量の見込みと確保方策（幼児期の教育・保育）の進捗シート

1. 事業名	施設型給付の充実—2号認定こどものうち幼児期の学校教育よりも保育の利用希望が強い子ども
2. 事業概要	保育の必要性があり、保育ニーズが高い認定区分の子どもを、保育所又は認定こども園において保育する事業
3. 確保方策	平成28年度に認定こども園（幼保連携型）を1園新設し、保護者の就労状況の変化にも対応しやすい施設を整備します。 また、徐々に児童数が減少していることを踏まえ、公立幼稚園のあり方を検討していく必要があると考えており、公立幼稚園を統廃合し、1園を保育所または認定こども園へ移行します。（現段階では保育所への移行を予定。）そのため、公立保育所は規模の縮小を進めていきます。 現在、町外の保育所を利用している児童は約20名ですが、確保方策の人数は、町外保育所利用者も含めています。

2号認定について（当初計画）

2号認定（保育ニーズのみ）		H25年度実績		実施時期				
				H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
①量の見込み		151人		167人	163人	158人	156人	152人
②確保方策				132人	156人	156人	156人	189人
内訳	認可保育所（公立）			62人	62人	62人	62人	25人
	認可保育所（私立）			70人	70人	70人	70人	140人
	認定こども園（幼保連携型：私立）			—人	24人	24人	24人	24人
②—①				▲35人	▲7人	▲2人	0人	37人



2号認定について（H29実績）

1号認定 2号認定（教育ニーズのみ）	H25年度実績	H26年度実績	H27年度実績	H28年度実績	H29年度実績	見込み	
						H30年度	H31年度
①実績・見込	151人	155人	170人	183人	194人	156人	152人
②確保方策			132人	156人	156人	156人	189人
②—①			▲38人	▲27人	▲38人	0人	37人

5. 自己点検・自己評価

2号認定の保育需要については、供給不足が見込まれることから、保護者の勤労状況等による多様なニーズへの対応を踏まえ、各年度の確保方策を達成できるよう、提供体制の確保を目指す。

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 量の見込みと確保方策（幼児期の教育・保育）の進捗シート

1. 事業名	施設型給付の充実—3号認定こども
2. 事業概要	保育の必要性がある、満3歳未満の子どもを保育所、認定こども園等において保育する事業
3. 確保方策	平成27年度に地域型保育事業のうち、小規模保育事業を1事業新設します。 平成28年度に認定こども園（幼保連携型）を1園新設し、保護者の就労状況の変化にも対応しやすい施設を整備します。 また、徐々に児童数が減少していることを踏まえ、公立幼稚園のあり方を検討していく必要があると考えており、公立幼稚園を統廃合し、1園を保育所または認定こども園へ移行します。（現段階では保育所への移行を予定。）そのため、公立保育所は規模の縮小を進めていきます。 なお、計画期間を通して地域型保育施設の整備を進め、確保量を増やしていきます。

3号認定について（当初計画）

3号認定			H25年度 実績	実施時期				
				H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
①量の見込み		0歳	8人	19人	19人	18人	18人	17人
		1～2歳	84人	120人	117人	113人	109人	105人
		小計	92人	139人	136人	131人	127人	122人
②確保方策		0歳		19人	24人	24人	24人	34人
		1～2歳		67人	82人	82人	82人	109人
		小計		86人	106人	106人	106人	143人
内 訳	認可保育所 （公立）	0歳		5人	5人	5人	5人	3人
		1～2歳		23人	23人	23人	23人	12人
		小計		28人	28人	28人	28人	15人
	認可保育所 （私立）	0歳		12人	12人	12人	12人	24人
		1～2歳		38人	38人	38人	38人	76人
		小計		50人	50人	50人	50人	100人
	認定こども園 （幼保連携 型：私立）	0歳		－人	5人	5人	5人	5人
		1～2歳		－人	15人	15人	15人	15人
		小計		－人	20人	20人	20人	20人
	小規模保育事 業（A型）	0歳		2人	2人	2人	2人	2人
		1～2歳		6人	6人	6人	6人	6人
		小計		8人	8人	8人	8人	8人
②－①			0歳	0人	5人	6人	6人	17人
			1～2歳	▲53人	▲35人	▲31人	▲27人	4人
			小計	▲53人	▲30人	▲25人	▲21人	21人



3号認定について（H29実績）

3号認定		H25年度実績	H26年度実績	H27年度実績	H28年度実績	H29年度実績	見込み	
							H30年度	H31年度
①実績・見込	0歳	8人	32人	23人	25人	33人	18人	17人
	1～2歳	84人	83人	90人	115人	112人	109人	105人
	小計	92人	115人	113人	140人	145人	127人	122人
②確保方策	0歳			19人	24人	24人	24人	34人
	1～2歳			67人	82人	82人	82人	109人
	小計			86人	106人	106人	106人	143人
②—①		0歳		▲4人	▲1人	▲9人	6人	17人
		1～2歳		▲23人	▲33人	▲30人	▲27人	4人
		小計		▲27人	▲34人	▲39人	▲21人	21人

5. 自己点検・自己評価

3号認定の保育需要については、供給不足が見込まれることから、保護者の勤労状況等による多様なニーズへの対応を踏まえ、各年度の確保方策を達成できるよう、提供体制の確保を目指す。

1. 事業名	① 利用者支援事業
2. 事業概要	「子育てコンシェルジュ」を配置し、子どもや保護者、妊娠している方が、身近な場所で多様な教育・保育施設や地域の子育て支援事業の中から、適切なものを選択し、確実かつ円滑に利用できるような支援や関係機関との連絡調整を行う事業で、現在大磯町では、子育て支援課窓口で幼稚園・保育所の利用支援及び、各種子育て支援事業の説明を職員が行う形で実施しています。
3. 確保方策	現在、子育て支援課窓口で、施設案内や連絡調整、各種サービスの利用支援は行っていますが、未就園児童の保護者が多く利用する「子育て支援総合センター」や「つどいの広場事業」において、このようなサービスが実施できるようにしていきます。 現在、東部地区は生涯学習館、高麗区民会館、東町福祉館、保健センターにおいて臨時的につどいの広場を週に4回程度開催していますが、常設設置については、平成29年度の設置を目指しているため、利用者支援事業の実施場所も合わせて平成29年度に増設となります。 また、各園に勤務されている子育て関係者などを対象に、母子保健制度などを学ぶ認定講座などを開催し、コーディネーターを養成して、配置していくことを検討しています。今後は、より多くの場所で利用者支援事業を進めていくとともに、事業の実施にあたっては、積極的に広報活動を行い、広くサービス利用者に周知を図っていきます。

4. 進捗状況

提供区域	大磯町全体		指数	実施場所数（か所数）				
実施時期	H25年度実績		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
①量の見込み			2か所	2か所	3か所	3か所	3か所	
②確保方策			2か所	2か所	3か所	3か所	3か所	
②－①			（確保）	（確保）	（確保）	（確保）	（確保）	



提供区域	大磯町全体		指数	実施場所数（か所数）			
実施時期	H25年度 実績	H26年度 実績	H27年度 実績	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 （見込み）	H31年度 （見込み）
①実績・見込			2か所	2か所	2か所	3か所	3か所
②確保方策			2か所	2か所	2か所	3か所	3か所
②－①			（確保）	（確保）	（確保）	（確保）	（確保）

5. 自己点検・自己評価

平成27年度より、子育て支援総合センター内に子育てコンシェルジュを配置し、計画通り進めている。現状、量の見込みに対し、確保はできているが、今後の対応方策として、個々のニーズに十分対応できるように、子育て支援等に係る施設や事業の情報について、より積極的な情報収集と効果的な情報提供を行い、必要に応じた相談・助言等を行いながら、関係機関との連絡調整等を進めていく。

1. 事業名	② 地域子育て支援拠点事業
2. 事業概要	地域の子育て支援拠点において、子育て中の親子が気軽に、自由に利用できる交流の場を開設し、子育てに関する悩みや育児不安等の相談、子育て情報の提供、助言その他の援助を行う事業で、現在、大磯町では、子育て支援総合センターにおいては常時（開所日のみ）、東部地区においては生涯学習館、高麗区民会館、東町福祉館、保健センターにおいて週4日程度「つどいの広場」開催し、自由遊びや育児相談を行っています。
3. 確保方策	実際にこのサービスを提供できる場所をどこにするかという観点から、確保方策を算出しています。現在、東部地区では臨時的につどいの広場を週4回程度開催していますが、平成29年度には常設設置を目指しています。また、子育て支援総合センターにおいては、相談機能への期待が大きいことから臨床心理士の配置等を充実させていきます。

4. 進捗状況

提供区域	大磯町全体		指数	年間延べ利用者数（人日） ※利用人数×利用回数×12月				
実施時期	H25年度 実績		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
①量の見込み	12,056人日		15,888人日	15,408人日	14,904人日	14,472人日	13,908人日	
②確保方策			常設1か所	常設1か所	常設2か所	常設2か所	常設2か所	
			15,888人日	15,408人日	14,904人日	14,472人日	13,908人日	
②－①			（確保）	（確保）	（確保）	（確保）	（確保）	



提供区域	大磯町全体		指数	年間延べ利用者数（人日） ※利用人数×利用回数×12月			
実施時期	H25年度 実績	H26年度 実績	H27年度 実績	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 （見込み）	H31年度 （見込み）
①実績・見込	常設1か所	常設1か所	常設1か所	常設1か所	常設1か所	常設2か所	常設2か所
	12,056人日	14,330人日	14,175人日	13,636人日	11,659人日	14,472人日	13,908人日
②確保方策			常設1か所	常設1か所	常設1か所	常設2か所	常設2か所
			15,888人日	15,408人日	14,904人日	14,472人日	13,908人日
②－①			（確保）	（確保）	（確保）	（確保）	（確保）

5. 自己点検・自己評価

子育て中の親子の交流、親子にとっての学び、情報交換、子育て相談などに気軽に利用ができる地域の子育て支援拠点として機能していると考え。新たにまだ利用したことのない親子への周知行動するとともに、引き続き本事業の周知に努め、利用しやすい環境の工夫を図っていく。 子育てアドバイザーによる育児相談のほか、専門職の育児相談日を設けたり、メールでの育児相談を行うことで、子ども達の健やかな成長を促していく。 また、東部地区については、常設で集える施設の開設に向けて、対応を進めていく。

1. 事業名	③ 妊婦健診
2. 事業概要	妊婦や胎児の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、①健康状態の把握、②検査計測、③保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施する事業です。大磯町では、母子健康手帳交付時に、妊婦健康診査費用を補助するため、14枚の補助券を交付し、基本的な妊婦健診と健診に伴う自費の検査費用を補助しています。
3. 確保方策	医療機関に委託して実施している事業ですが、委託契約されていない診療機関において受診した場合でも、本人には後から償還払いされる形で対応しています。補助額については、平成26年度に拡充しました。

4. 進捗状況

提供区域		大磯町全体		指数	年間延べ利用者数（人回） ※年間利用人数×利用回数			
実施時期	H25年度 実績		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
①実績・見込	2,252人回		2,492人回	2,408人回	2,324人回	2,296人回	2,184人回	
②確保方策	2,494人回		2,492人回	2,408人回	2,324人回	2,296人回	2,184人回	
②－①			（確保）	（確保）	（確保）	（確保）	（確保）	



提供区域	大磯町全体		指数	年間延べ利用者数（人回） ※年間利用人数×利用回数			
実施時期	H25年度 実績	H26年度 実績	H27年度 実績	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 （見込み）	H31年度 （見込み）
①実績	2,252人回	2,007人回	2,267人回	2,265人回	2,427人回	2,296人回	2,184人回
②確保方策	2,494人回	2,494人回	2,492人回	2,408人回	2,324人回	2,296人回	2,184人回
②－①			（確保）	（確保）	（確保）	（確保）	（確保）

5. 自己点検・自己評価

平成29年度も里帰り等で委託契約されていない診療機関を受診した場合は、本人には償還払いされる形で対応したり、妊娠届出後に転出や流早産等で未受診のケースが一定数いるものの、妊婦の健康管理を図る上で重要な事業であるため、受診についての周知を徹底し、妊婦の健康の保持及び増進が図られるよう本事業を継続実施していく。

1. 事業名	④ 乳児家庭全戸訪問事業
2. 事業概要	生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問することにより、子育てに関する情報の提供並びに乳児及びその保護者の心身の状況及び養育環境の把握を行うほか、療育についての相談に応じ、助言その他の援助を行う事業で、大磯町では「新生児訪問」「こんにちは赤ちゃん事業」として実施しています。 【新生児訪問】初めてのお子さんが生まれた時に、助産師が訪問し、発育の確認や育児などの相談を実施しています。 【こんにちは赤ちゃん事業】第2子以降のお子さんが生まれた時に、民生委員・児童委員（主任児童委員含む）が訪問し、4か月児健診の案内や子育て情報の提供、養育状況の確認を行っています。
3. 確保方策	乳幼児家庭全戸訪問事業は、生後4か月までの乳児のいる家庭への訪問ということで、全数を対象としており、引き続き実施していきます。現在、新生児訪問を実施している保健師、助産師数、また、こんにちは赤ちゃん事業は、民生委員・児童委員の活動で実施していただいていますので、現在の実施体制を継続していきます。

4. 進捗状況

提供区域		大磯町全体		指数	年間利用人数（人）				
実施時期		H25年度 実績		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
①量の見込み				178人	172人	166人	164人	156人	
②確保 方策	実施体制（保健師等）			8人	8人	8人	8人	8人	
	実施体制（民生委員・児童委員等）			54人	54人	54人	54人	54人	
②－①				（確保）	（確保）	（確保）	（確保）	（確保）	



提供区域		大磯町全体		指数	年間利用人数（人）			
実施時期		H25年度 実績	H26年度 実績	H27年度 実績	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 （見込み）	H31年度 （見込み）
①実績・見込み	年間利用人数	188人	160人	150人	167人	168人	164人	156人
	実施体制（保健師等）			8人	7人	7人	8人	8人
	実施体制（民生委員・児童委員等）			54人	54人	54人	54人	54人
	実施体制（保健師等）			8人	8人	8人	8人	8人
	実施体制（民生委員・児童委員等）			54人	54人	54人	54人	54人
②－①				（確保）	（確保）	（確保）	（確保）	（確保）

5. 自己点検・自己評価

平成29年度においても、第1子は助産師（委託）、第2子以降は民生委員・児童委員、未熟児は町保健師の訪問とし、量の見込みを確保できる体制を整えた。 乳児家庭全戸訪問は、生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問することにより、子どもの発育発達はもちろん、母親の心身の健康状態と育児環境を確認していく。訪問率100%を目指しているが里帰り出産等により、訪問が実施できていないケースが一定数いる。 今後も早期から適切な育児支援が受けられるよう、出産後すべての家庭に訪問し、育児不安の軽減や虐待防止予防に努めるため、本事業を継続実施していく。
--

1. 事業名	⑤-1 養育支援訪問事業、その他要支援・要保護児童等支援事業【養育支援訪問事業】
2. 事業概要	養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業です。大磯町では、養育支援訪問事業として、子育てに対して不安や孤立感などから養育支援が特に必要な家庭（児童虐待の可能性があるものも含む）を訪問し、育児相談を継続的に行っています。
3. 確保方策	現在は主に指導や相談業務を実施していますが、本事業は、養育に関する相談、指導、助言のほか、その他必要な支援を行なうことを目的としていますので、保護者の育児や家事といった養育能力を向上させる支援を展開していくことが望まれます。 将来的にはヘルパー等による育児・家事支援ができるように、事業を拡充していきます。

4. 進捗状況

提供区域		大磯町全体		指数	年間利用人数（人）				
実施時期		H25年度実績		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
①量の見込み				24人	24人	24人	24人	24人	
②確保方策	実施体制（保健師等）			6人	6人	6人	6人	6人	
②－①				（確保）	（確保）	（確保）	（確保）	（確保）	



提供区域		大磯町全体		指数	年間利用人数（人）			
実施時期		H25年度 実績	H26年度 実績	H27年度 実績	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 （見込み）	H31年度 （見込み）
①実績・見込	年間利用人数（人）	44人	68人	38人	18人	15人	24人	24人
	実施体制（保健師等）			6人	5人 +委託（2事業所）	5人 +委託（2事業所）	6人	6人
②確保方策	実施体制（保健師等）			6人	6人	6人	6人	6人
②－①				（確保）	（確保）	（確保）	（確保）	（確保）

5. 自己点検・自己評価

平成29年1月より養育支援訪問事業を産科、小児科、精神科等に精通する看護職の配置がある事業所に委託したことで、更なる量の見込みを確保できる体制整備を行い、平成29年度は当初より養育支援を必要とする家庭への訪問を委託の2事業所で実施することができた。 今後も養育支援が必要な家庭は一定数、想定されるため、関係機関との連携を強化し、家庭訪問や育児相談等を継続実施していく。
--

1. 事業名	⑤-2 養育支援訪問事業、その他要支援・要保護児童等支援事業【要保護児童対策地域協議会】
2. 事業概要	要保護児童対策地域協議会の機能強化を図るため、調整機関職員やネットワーク構成員（関係機関）の専門性強化と、ネットワーク機関との連携強化を図る取組を実施する事業です。大磯町では、「要保護児童対策地域協議会」を活用し、家庭及び地域社会において子どもが健やかに成長し、発達できるよう、育児不安を抱えた家庭の子育てを支援するとともに、児童虐待に対応ができるネットワーク体制を強化し、早期発見、適切な支援や保護、DV等への対応に努めています。
3. 確保方策	引き続き、事業を実施して、早期発見、適切な保護、対応に繋がっていきます。

4. 進捗状況

提供区域		大磯町全体		指数	要保護児童数、要支援児童数の合計（人）				
実施時期		H25年度 実績		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
①量の見込み		82人		30人	30人	30人	30人	30人	
② 確保 方策	実施体制 （コーディネーター）			3人	3人	3人	3人	3人	
②－①				（確保）	（確保）	（確保）	（確保）	（確保）	



提供区域		大磯町全体		指数	要保護児童数、要支援児童数の合計（人）			
実施時期		H25年度 実績	H26年度 実績	H27年度 実績	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 （見込み）	H31年度 （見込み）
①実績・見込		82人	114人	89人	64人	81人	30人	30人
② 確保 方策	実施体制 （コーディネーター）			3人	3人	3人	3人	3人
②－①				（確保）	（確保）	（確保）	（確保）	（確保）

5. 自己点検・自己評価

「要保護児童対策地域協議会」を活用し、児童虐待に対応ができるネットワーク体制を強化しながら早期発見、適切な支援や保護、DV等への対応に努めている。また、専門職のコーディネーターの配置し、今後は研修を受講し専門性の向上に努めながら、引き続き本事業を継続し、関係機関との連携を図り、早期発見、適切な保護、対応に繋がっていく。
--

1. 事業名	⑥ 子育て短期支援事業
2. 事業概要	保護者の疾病等の理由により、家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等に入所させ、必要な保護を行う事業（ショートステイ）及び、夜間養護等事業（トワイライトステイ事業）のことで、大磯町ではこれまで実施していません。
3. 確保方策	平成28年度から子育て短期支援事業（ショートステイ）のサービスが提供できるように進めます。

4. 進捗状況

提供区域		大磯町全体		指数	年間利用延べ人数（人日） ※年間利用人数×利用日数				
実施時期		H25年度 実績		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
①量の見込み		0人日		17人日	17人日	17人日	17人日	17人日	
②確保 方策	ショートステイ			0人日	17人日	17人日	17人日	17人日	
	トワイライトステイ			0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
②ー①					（確保）	（確保）	（確保）	（確保）	



提供区域		大磯町全体		指数	年間利用延べ人数（人日） ※年間利用人数×利用日数			
実施時期		H25年度 実績	H26年度 実績	H27年度 実績	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 （見込み）	H31年度 （見込み）
①実績・見込		0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	17人日	17人日
② 確保 方策	ショートステイ			0人日	0人日	0人日	17人日	17人日
	トワイライトステイ			0人日	0人日	0人日	0人日	0人日
②ー①				—	—	（確保）	（確保）	（確保）

5. 自己点検・自己評価

受け皿となる施設等がないことから平成29年度現在、事業を実施していない。平成30年度以降の事業の実施にあたっては、利用者のニーズ等を考慮したうえで、総合的に判断していきたい。
--

1. 事業名	⑦ ファミリー・サポート・センター事業
2. 事業概要	乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者〈子育ての手助けを望む人（依頼会員）〉と児童の預かり等の援助を行う者〈子育てをお手伝いしたい人（援助会員）〉が会員登録し、お互いに助け合うことができるよう、連絡調整を行う事業で、大磯町では「ファミリー・サポート・センター」として実施しています。会員の自発性と責任感を尊重するため、有償ボランティア制で実施しています。 依頼会員：町内在住の、生後3か月から小学校6年生までのお子さんがいる方 援助会員：町内在住で保育等に理解と情熱のある健康な方。（資格なし、研修あり）
3. 確保方策	ファミリー・サポート・センター事業は、現在、実施している事業であり、引き続き、依頼会員・援助会員による活動を促進していきます。また、援助会員数の拡充を目指すとともに、支援内容の充実や援助会員のスキルアップを図ります。 平成31年度に東部地区に設置予定の子育て支援センターを、東部地区における事業展開の拠点としていきます。さらに事業の運営を民間に委託することを検討します。

4. 進捗状況

提供区域	大磯町全体		指数	年間利用延べ人数（人日） ※年間利用人数×利用日数				
実施時期	H25年度 実績		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
①量の見込み	406人日		612人日	612人日	612人日	612人日	612人日	
②確保方策			612人日	612人日	612人日	612人日	612人日	
②－①			（確保）	（確保）	（確保）	（確保）	（確保）	



提供区域	大磯町全体		指数	年間利用延べ人数（人日） ※年間利用人数×利用日数			
実施時期	H25年度 実績	H26年度 実績	H27年度 実績	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 （見込み）	H31年度 （見込み）
①実績・見込	406人日	357人日	728人日	1,192人日	917人日	612人日	612人日
②確保方策			612人日	612人日	612人日	612人日	612人日
②－①			-116人日	-580人日	-305人日	（確保）	（確保）

5. 自己点検・自己評価

平成29年度において、ファミリー・サポート・センター事業の援助会員数は19人、依頼会員数は119人、両方会員数は2人まで確保することができ、多くの訪問が実現できた。しかしながら、援助活動は、年々増加傾向にあり、実際の依頼会員数から見れば、援助会員数が十分に確保されているとは言えず、今後も援助会員数の確保の強化に努める必要がある。なお、平成28年度より、事業の運営を民間に委託し、新たに援助内容として日常生活の支援を行う家事援助サービスを追加し、産前・産後の子育て支援の充実を図る取組を実施した。

1. 事業名	⑧-1 幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）：一時預かり
2. 事業概要	通常の教育時間の前後や、土曜・日曜・長期休業期間中に幼稚園が行う教育活動のことです。大磯町では、公立及び私立幼稚園、認定こども園にて実施しています。 公立幼稚園（3園）：週2回 14時～16時 私立こいそ幼稚園：平日 7時30分～9時 14時～17時30分まで（長期休暇期間中も実施） 認定こども園あおばと：平日 7時～9時 14時～18時まで（長期休暇期間中も実施）（平成28年度～） サンキッズ国府：平日 7時～9時 14時～19時まで（長期休暇期間中も実施）（平成30年度～）
3. 確保方策	町では、私立幼稚園が預かり保育を平日に実施しているため、一定の数は確保されていますが、公立で実施している週2回の実施を、週3回の実施に拡充することで就労支援に繋げていきます。 また、平成28年度以降、認定こども園2園の開園により、一時預かり事業の拡充を図っていきます。

4. 進捗状況

提供区域		大磯町全体		指数	年間利用延べ人数（人日） ※年間利用人数×利用日数				
実施時期		H25年度 実績		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
① ニ ー ズ 量	1号認定による利用	公立1,686人日		1,138人日	1,308人日	1,269人日	1,248人日	1,218人日	
		私立1,618人日							
	2号認定による利用			26,053人日	25,469人日	24,701人日	24,300人日	23,715人日	
	小計			27,191人日	26,777人日	25,970人日	25,548人日	24,933人日	
②確保方策				27,191人日	26,777人日	25,970人日	25,548人日	24,933人日	
②－①				（確保）	（確保）	（確保）	（確保）	（確保）	



提供区域		大磯町全体		指数	年間利用延べ人数（人日） ※年間利用人数×利用日数			
実施時期		H25年度 実績	H26年度 実績	H27年度 実績	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 （見込み）	H31年度 （見込み）
① ニ ー ズ 量	1号認定による利用	公立1,686人日	公立1,686人日	公立1,463人日	公立1,356人日	5,414人日	1,248人日	1,218人日
		私立1,618人日	私立1,618人日	私立2,728人日	私立3,063人日			
	2号認定による利用			0人日	0人日	0人日	24,300人日	23,715人日
	小計			4,191人日	4,419人日	5,414日	25,548人日	24,933人日
②確保方策				27,191人日	26,777人日	25,970人日	25,548人日	24,933人日
②－①				（確保）	（確保）	（確保）	（確保）	（確保）

5. 自己点検・自己評価

一時預かり事業については、提供体制が確保できており、現行の事業実施により対応ができています。また、平成28年度に開園した「認定こども園あおばと」において、一時預かり事業を新たに開始し、利用者が増えている。さらに、平成30年度に「サンキッズ国府」の開園により、供給量の確保に努めていく。

1. 事業名	⑧-2 幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）以外：一時保育
2. 事業概要	保護者の断続的・短時間の就労等や傷病、冠婚葬祭等、または育児等に伴う心理的・肉体的負担を解消するなどの通常保育所の対象外の児童に対し、一時的な保育サービスを実施する事業で、私立保育所サンキッズ大磯に加え、平成30年度より私立認定こども園サンキッズ国府においても一時保育を実施しています。 サンキッズ大磯：平日・土曜日 7時から20時まで 日曜日・祝日 8時から18時まで サンキッズ国府：平日 7時から19時まで
3. 確保方策	サンキッズ大磯に加え、認定こども園サンキッズ国府の開園により、一時保育事業の拡充を図っていきます。

4. 進捗状況

提供区域	大磯町全体		指数	年間延べ利用者数（人日） 年間利用人数×利用日数			
実施時期	H25年度 実績		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
①量の見込み	1,381人日		2,060人日	2,005人日	1,941人日	1,896人日	1,835人日
②確保方策			2,060人日	2,005人日	1,941人日	1,896人日	1,835人日
②-①			（確保）	（確保）	（確保）	（確保）	（確保）



提供区域	大磯町全体		指数	年間延べ利用者数（人日） 年間利用人数×利用日数			
実施時期	H25年度 実績	H26年度 実績	H27年度 実績	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 （見込み）	H31年度 （見込み）
①実績・見込	1,381人日	2,163人日	1,767人日	1,637人日	1,686人日	1,896人日	1,835人日
②確保方策			2,060人日	2,005人日	1,941人日	1,896人日	1,835人日
②-①			（確保）	（確保）	（確保）	（確保）	（確保）

5. 自己点検・自己評価

園に入園できない待機児童の利用者が多く、サンキッズ大磯に加え、平成30年度開園のサンキッズ国府においても一時保育事業を開始することにより、さらなる供給量の確保に努めていく。
--

1. 事業名	◎ 延長保育事業
2. 事業概要	保育認定を受けた子どもについて、通常の利用日以外の日や、利用時間以外の時間において、認定こども園や保育所にて保育を実施する事業で、大磯町では私立サンキッズ大磯と国府保育園、もあなこびとのこや、平成28年度より認定こども園あおばとにて延長保育として実施されています。 ・サンキッズ大磯 平日・土曜日 18:00～20:00まで延長保育実施 ・国府保育所 平日 18:00～19:00まで延長保育実施 ・もあなこびとのこや 平日・土曜日 18:30～19:00まで延長保育実施（平成27年度～） ・認定こども園あおばと 平日・土曜日 18:30～19:30まで延長保育実施（平成28年度～） ・サンキッズ国府 平日・土曜日 18:00～19:00まで延長保育実施（平成30年度～）
3. 確保方策	現在、延長保育を実施している園の在園者数であれば、延長保育の提供は可能であることから、引き続き、サービスを継続することとします。

4. 進捗状況

提供区域		大磯町全体		指数	年間利用実人数（人）				
実施時期		H25年度 実績		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
①量の見込み		149人		183人	179人	173人	169人	164人	
② 確保 方策	実施施設数			2か所	2か所	2か所	2か所	3か所	
	実施体制（人）			8人	8人	8人	8人	12人	
②－①				（確保）	（確保）	（確保）	（確保）	（確保）	



提供区域		大磯町全体		指数	年間利用実人数（人）			
実施時期		H25年度 実績	H26年度 実績	H27年度 実績	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 （見込み）	H31年度 （見込み）
①実績・見込	年間利用実人数（人）	149人	162人	171人	184人	115人	169人	164人
	実施施設数			2か所	4か所	4か所	2か所	3か所
	実施体制（人）			8人	8人	8人	8人	12人
②確保方策	実施施設数			2か所	4か所	4か所	2か所	3か所
	実施体制（人）			8人	8人	8人	8人	12人
②－①				（確保）	（確保）	（確保）	（確保）	（確保）

5. 自己点検・自己評価

延長保育事業については、提供体制が確保できており、現行の事業実施により対応ができています。平成27年度から「もあなこびとのこや」、平成28年度から認定こども園あおばとにて延長保育を開始。さらに、平成30年度開園のサンキッズ国府においても事業を開始し、さらなる供給量の確保に努めていく。

1. 事業名	⑩ 病児・病後児保育事業
2. 事業概要	児童が病気または病気の回復期にあって集団保育が困難な期間、保育所や医療機関等に付設された専用スペース等において保育及び看護ケアを行う事業のことです。
3. 確保方策	今年度実施場所の検討を進め、平成28年度からサービスの提供ができるように進めます。

4. 進捗状況

提供区域		大磯町全体		指数	年間利用延べ人数（人日） 年間利用人数×利用日数			
実施時期		H25年度 実績		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
①量の見込み				19人日	19人日	19人日	19人日	19人日
② 確保 方策	病後児保育事業			0人日	19人日	19人日	19人日	19人日
②－①					（確保）	（確保）	（確保）	（確保）



提供区域		大磯町全体		指数	年間利用延べ人数（人日） 年間利用人数×利用日数			
実施時期		H25年度 実績	H26年度 実績	H27年度 実績	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 （見込み）	H31年度 （見込み）
①実績・見込				19人日	34人日	29人日	19人日	19人日
② 確保 方策	病後児保育事業	0人日	0人日	0人日	19人日	19人日	19人日	19人日
②－①				－	15人日	10人日	（確保）	（確保）

5. 自己点検・自己評価

平成28年6月から認定こども園あおばとにおいて病後児保育事業を開始。子どもの病気回復期の集団保育が困難な時期に保育を行うことで、保護者の子育てと就労の両立の支援を実施した。今後は、広報等で病後児保育事業の周知に努めていく。なお、平成30年度からは、本事業について、二宮町児童の利用を開始していく。

大磯町子ども笑顔かがやきプラン 量の見込みと確保方策（地域子ども・子育て支援事業）の進捗シート

1. 事業名	⑪ 放課後児童クラブ
2. 事業概要	就労等により昼間保護者のいない家庭の児童に対し、授業終了後や長期休暇期間中の適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業で、大磯町では大磯学童保育クラブ及び国府学童保育クラブの2箇所で開催しています。
3. 確保方策	現在の施設でニーズ量は満たされますが、子ども・子育て支援新制度のもと、町では放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を新たに条例で定めました。今後は、条例に基づき事業を進めていきます。なお、保護者の多様な就労形態やニーズに対応できるよう、引き続き運営委託先の事業者と連携を図るとともに、全児童を対象とした放課後子ども教室との連携、一体化について検討を進めます。

4. 進捗状況

【大磯学童保育クラブ】

提供区域	大磯町全体		指数	実利用者数				
実施時期	H25年度実績		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
①ニーズ量	低学年	68人	80人	80人	80人	80人	80人	80人
	高学年	27人	33人	33人	33人	33人	33人	33人
	合計	95人	113人	113人	113人	113人	113人	113人
②確保方策			123人	123人	123人	123人	123人	123人
②-①			10人	10人	10人	10人	10人	10人



提供区域	大磯町全体		指数	実利用者数				
実施時期	H25年度実績	H26年度実績	H27年度実績	H28年度実績	H29年度実績	H30年度（見込み）	H31年度（見込み）	
①ニーズ量	低学年	68人	59人	71人	71人	89人	80人	80人
	高学年	27人	24人	24人	22人	31人	33人	33人
	合計	95人	83人	95人	93人	120人	113人	113人
②確保方策			123人	123人	123人	123人	123人	123人
②-①			28人	30人	3人	10人	10人	10人

【国府学童保育クラブ】

提供区域	大磯町全体		指数	実利用者数				
実施時期	H25年度実績		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
①ニーズ量	低学年	40人	46人	46人	46人	46人	46人	46人
	高学年	20人	24人	24人	24人	24人	24人	24人
	合計	60人	70人	70人	70人	70人	70人	70人
②確保方策			74人	74人	74人	74人	74人	74人
②-①			4人	4人	4人	4人	4人	4人



提供区域	大磯町全体		指数	実利用者数				
実施時期	H25年度実績	H26年度実績	H27年度実績	H28年度実績	H29年度実績	H30年度（見込み）	H31年度（見込み）	
①実績・見込	低学年	39人	46人	50人	60人	61人	46人	46人
	高学年	20人	23人	26人	17人	24人	24人	24人
	合計	59人	69人	76人	77人	85人	70人	70人
②確保方策			74人	74人	74人	74人	74人	74人
②-①			-2人	-3人	-11人	4人	4人	4人

5. 自己点検・自己評価

現在、すべての小学校区に放課後児童クラブを設置しており、職員体制や児童の安全性の確保を考慮した上で、小学校の空き教室等を活用しながら、保護者の多様な就労形態やニーズに対応できるよう努めている。今後についても、受託先の事業者と連携を図り、引き続き事業を実施していく。

大磯町子ども笑顔かがやきプラン

進行管理書《平成29年度》

平成31年 3 月

大磯町子育て支援課

〒255-8555 神奈川県中郡大磯町東小磯183

Tel0463(61)4100 内線305・306